

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

第 1 基本方針	1
第 2 主要事業	4
第 3 実施事項	
基本目標 1 地域福祉を支える仕組みづくり	
実施目標 1 住民主体による地域力の強化を推進します	1 9
実施目標 2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します	2 3
実施目標 3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します	3 1
基本目標 2 地域福祉を支える組織・人づくり	
実施目標 1 社会福祉事業者等を支援します	3 4
実施目標 2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します	3 7
基本目標 3 災害福祉支援体制づくり	
実施目標 1 災害に備えた支援体制を構築します	5 5
実施目標 2 災害時の市町社協を支援します	5 7
基本目標 4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり	
実施目標 1 組織・経営強化を図ります	5 9
実施目標 2 「人財」育成を図ります	6 5
事業報告の附属明細書	6 7

本報告書は別途作成した「第五次活動推進計画」の理念・体系に基づいて作成しています。

基 本 方 針

第1 基本方針

1 第五次活動推進計画 基本理念

| 本県における地域福祉を取り巻く現状と課題

最も大きな課題は人口減少への対応	現在 364 万人 →2025 年 推計 348 万人(約 16 万人減少)
超高齢社会への対応	一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加 ⇒日常生活を支える仕組みづくり
価値観の多様化や地域のつながりの希薄化	社会的孤立、地域の福祉力が脆弱化 ⇒福祉教育、地域づくり(多分野連携)
課題の複合化・複雑化、制度の狭間	各分野の関係機関の連携が必要(包括的な支援体制の整備、協働の中核機能)
福祉・介護人材の安定的な確保 (2025 年の介護職員 8 千人不足)	イメージアップ、高齢者・外国人の介護人材確保等

誰一人取り残さない社会の形成と高齢者、女性、外国人など、これまで以上に多様な人材の活躍が不可欠



めざす社会の姿「地域共生社会の実現」

制度・分野の『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、世代や分野を超えて『丸ごと』つながり、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとともに創っていく社会の実現

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

※基本理念とは、組織の姿勢や進むべき方向性を明確化するものである。(組織の存続原点、使命)

| 地域福祉の推進を目的とする県社協の役割(機能)

1 広域機能

社会全体として取り組んでいくべき重要な課題や、市町段階では容易に取り組めないような困難性の高い課題への対応

2 専門機能

地域における利害調整等を行う「第三者機関」の役割や、単独の事業体では完結できないような専門的な課題への対応(経営支援、人材確保・育成)

3 政策提言・連絡調整機能

地域間格差を解消していくような情報提供と調整、情報共有の場づくり、政策提言

4 情報提供機能

全国各地の情報や新たな課題への対応事例、そのノウハウなどを収集し、提供

計画推進機関：令和2年(2020年)4月～令和7年(2025年)3月の5年間

2 第五次活動推進計画 推進体系

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

<p>基本目標 1 地域福祉を支える 仕組みづくり</p> <p>地域共生に資する住民主体の地域力強化及び包括的な支援体制の構築を、広域的な見地から推進します</p>	<p>実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します 地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みる体制づくりを推進します</p> <p>実施目標2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します 総合相談体制を構築するとともに、問題を解消するための伴走型支援の拡充や官民協働による支援活動を推進します</p> <p>実施目標3 地域共生の基盤となる市町社協を支援します 地域の最前線で地域福祉の推進をリードする、市町社協の経営基盤の強化及び総合力を活かした活動の活性化を支援します</p>
<p>基本目標 2 地域福祉を支える 組織・人づくり</p> <p>地域共生に資する福祉サービスの質の向上及び福祉・介護人材の確保・育成支援を推進します</p>	<p>実施目標1 社会福祉事業者等を支援します 社会福祉事業者等の経営基盤の強化とともに、複数の社会福祉法人等が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図ります</p> <p>実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します 福祉の仕事のイメージアップを図ると共に、関係団体との連携を深め、多様な人材確保や就労環境の改善に資する担い手の育成の支援に努めます</p>
<p>基本目標 3 災害福祉支援 体制づくり</p> <p>地域共生に資する総合的な福祉救援活動の体制整備を平時から推進します</p>	<p>実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します 県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制を構築します</p> <p>実施目標2 災害時の市町社協を支援します 市町社協が災害支援活動に専念できるよう、社協ネットワークを活かした重層的な支援体制を構築します</p>
<p>基本目標 4 地域福祉を支える 県社協の基盤づくり</p> <p>地域共生に資する県域の地域福祉推進の中核として、基盤づくりを推進します</p>	<p>実施目標1 組織・経営強化を図ります 多様な主体の参画による組織体制、ガバナンス、安定的な経営基盤の強化とともに、様々な媒体を活用した情報収集と広報力の強化を図ります</p> <p>実施目標2 「人財」育成を図ります 職員を「人財」として大切に、目指す職員像・行動目標を作成し、職員のキャリアアップを支援する計画的な人材育成を図ります</p>

大切にする視点

- ・「SDGs（持続可能な17の開発目標）」（貧困、保健、教育、ジェンダーなど）
- ・5つの特徴：普遍性、包摂性（誰一人取り残されない）、参画型（全てに役割を）、統合性、透明性

3 SDGs（持続可能な開発指標）と第五次活動推進計画の関係

- 1 持続可能な社会の実現を目指し、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「SDGs」では、2030年に向けて、すべての国々に普遍的に適用される17の目標に基づき、経済・社会・環境をめぐる広範な課題への統合的な取組が求められています。
- 2 第五次活動推進計画に掲げる基本目標に基づく取組の推進が、SDGsの目標につながります。

- 普遍性** 先進国を含め、**全ての国が行動**
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「**誰一人取り残さない**」
- 参画型** **全てのステークホルダーが役割を**
- 統合性** 社会・経済・環境に**統合的に取り組む**
- 透明性** **定期的にフォローアップ**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



| SDGsの目標（一部）

- ① 貧困（あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ）
- ② 保健（あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する）
- ③ 教育（すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する）
- ④ ジェンダー（ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る）
- ⑤ 成長・雇用（生産的な完全雇用及び働きがいのある人間らしい仕事を推進する）
- ⑥ 平和（持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進）
- ⑦ 実施手段（持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化）

第五次活動推進計画基本目標	①貧困	②保健	③教育	④ジェンダー	⑤成長・雇用	⑥平和	⑦実施手段
①地域福祉を支える仕組みづくり	○	○	○	○	○	○	○
②地域福祉を支える組織・人づくり		○	○	○	○	○	○
③災害福祉支援体制づくり		○		○		○	○
④地域福祉を支える県社協の基盤づくり		○		○	○		○

主 要 事 業

第2 主要事業

基本目標 1 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標 1 住民主体による地域力の強化を推進します

重点事項 福祉以外の分野との協働促進及び地域福祉教育の推進

「地域共生社会」の実現を目指し、全ての世代の人々が地域、暮らし、生きがいと共に創り高め合う地域共生社会の実現と教育、農林水産、多文化共生など福祉以外の分野との協働促進を図るとともに、“社会的包摂”に向けた地域を基盤とした福祉教育を推進した。

	事業内容
1	ふじのくに「地域共生」大賞の実施 (1) 県社協地域づくり推進委員会の開催 (5/9、11/28) 応募総数 17 件 最優秀賞 1 件、優秀賞 3 件 (2) ふじのくに「地域共生」大賞活動発表会 (表彰式) の開催 (8/4 開催 96 名参加※うちリモート参加 61 名)
2	生活支援体制整備の構築 (1) 生活支援コーディネーター養成研修の開催 (県委託事業) 7/12 開催 160 名参加 (2) 生活支援体制整備スキルアップ研修の開催 (県委託事業) 12/5 開催 167 名参加 (3) 生活支援コーディネーターガイドブックの制作 (県委託事業)
3	「福祉教育副読本・プログラム集」「地域福祉教育の手引き」の活用促進 (1) 新たな地域福祉教育副読本の作成【赤い羽根共同募金助成事業】 (作業部会：第 9 回 4/15、第 10 回 5/20、第 11 回 6/24、第 12 回 7/26 第 13 回 9/16、第 14 回 10/20、第 15 回 11/25、第 16 回 2/13、第 17 回 3/2) (2) 地域福祉教育担当者会議の開催 (7/27 開催、42 名参加)、地域福祉教育推進セミナーの開催 (2/10 開催、64 名参加) 全国福祉教育推進員研修受講生(県内)意見交換会 (8/24) 10 名参加 (3) 地域福祉教育推進委員会の開催 (第 1 回 8/2、第 2 回 3/22 開催) (4) 福祉の思い・ココロを育む講師の派遣

【進捗状況及び成果】

平成 24 年度に作成した地域福祉教育副読本を令和 4 年 3 月にリニューアルした。対象は県内の中学生とし、地域を基盤とした地域福祉教育の展開が実践できるよう、社会福祉協議会から地域住民への活用を促し、地域づくりにつながる地域福祉教育実践を目指した地域福祉教育副読本を作成した。

生活支援コーディネーター関連研修は参加者が多く、事業に対する興味や関心の高さが伺える。住民と生活支援コーディネーターや関係機関が協働し、地域の助け合いを推進する上で必要な協議体の意思決定や合意形成の手法を学び、地域での実践力を身につけることができた。



新たな地域福祉教育副読本
【赤い羽根共同募金助成事業】



ふじのくに「地域共生」
大賞活動発表会



生活支援コーディネーター
養成研修

実施目標 2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

重点事項 市町における包括的な支援体制の構築の推進

住民が抱える生活課題の内容は様々で複雑化・複合化しているため、高齢、障がい、児童、生活困窮者などの属性に関わらず、住民が抱える生活課題の解決と繋がり続ける支援活動に向け、支援機関がチームとなり包括的な支援体制を構築する取組を支援した。

	事業内容
1	多機関協働による包括的支援体制の構築支援 ※県委託事業 (1) 市町へのアドバイザー派遣 (6市町、15回) (2) 市町の体制整備に係る相談支援 (6市町) (3) 包括的相談支援体制構築推進部会の開催 (6/8、3/3) (4) 地域別研究会の開催 (全体会 6/23、地域別 7/13, 7/19, 7/22, 8/2, 8/4) (5) 中核機関担当職員養成講座 (前期：講義 WEB 配信、後期 4回)
2	市町社協における総合相談体制づくりの推進 (1) 相談事業部会の開催 (10/25、2/6) (2) 相談事業担当者研修会の開催 (6/1)
3	新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急小口資金等特例貸付の実施 【R2.3～R4.9月末までの累計】 ・緊急小口資金 申請：30,478件 5,451,990千円 決定：27,627件 4,911,760千円 ・総合支援資金 申請：19,869件 9,593,005千円 決定：16,862件 8,091,755千円
4	児童養護施設等を退所し自立生活を送る学生に対する「夢みらい応援資金」助成事業の実施 (1) 学生12人に応援資金を贈呈 (1人あたり100,000円) (2) 令和4年度“赤い羽根”課題解決プロジェクト募金活動の実施 募金額 4,734,615円

【進捗状況及び成果】

令和4年度時点で包括的な相談を受け止める体制の有無については19市町において「有」と回答している。

包括的相談支援体制を構築するための重層的支援体制整備事業の実施は函南町に加えて、令和5年度からは熱海市の2市町となる。また、前段となる移行準備事業については令和5年度は11市町が実施予定であり、体制構築の取組が進みつつある。

実施目標3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

重点事項 市町社協の基盤強化と活動支援

地域共生社会づくりにむけて、「社協・生活支援活動強化方針」に基づく事業展開を進めるために市町社協連絡協議会の部会運営や市町社協個別支援・担当制の導入により市町社協の組織・事業基盤の強化を図り活動を支援した。

	事業内容
1	市町社協連絡協議会及び部会の開催 (1) 幹事会の開催 (7/5) (2) 各部会の開催 総務部会(10/5)相談事業部会(12/6、2/6)介護保険部会(2/15)広報啓発部会(2/2)
2	市町社協個別支援の実施 ・社会福祉法人等ネットワーク化協働推進事業の実施市町社協への担当配置による支援の実施。 (12市町)
3	市町社協役職員研修・会議の開催 (1) 市町社協監事研修会の開催 (4/11～6/17 動画視聴による限定配信) 監査体制や監事の役割を確認し、監査による組織基盤の強化を図る (2) 市町社協新任職員研修会の開催 (5/26～5/27 会場開催) 63名参加 (3) 市町社協事務局長会議の開催 (5/20) 35市町参加 社協を取り巻く状況や本会主要事業の説明及び社協運営課題について協議。 (4) 市町社協会計実務研修会の開催 (8/5～11/30 まで動画視聴による限定配信) 基礎的な会計実務など全般的な知識と会計処理の習得を図る (5) 市町社協会長会議の開催 (3/6 32市町参加) (6) 市町社協決算実務研修会の開催 (2/20～6/30 動画視聴による限定配信) 決算実務を習得することにより、経理事務の適正化を図る (7) 市町社協ミドルマネジメント(中間管理職)研修会の開催(7/27 43名参加) 中間管理職に求められる役割とセルフマネジメントについて習得を図った。 (8) 地域福祉を考えるブロック会議の開催 ・全体会 (6/23) ・地域別会議(5地区にて開催) (9) 地域福祉担当者会議の開催(2/14 18市町 33名参加)
4	コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修会の開催 Step1 (7月)、Step2 (2月) 開催予定 (WEB配信) (前期: 7/15～7/16 オンライン開催、後期: 2/17～2/18 集合開催) 27名参加 コミュニティソーシャルワーク実践者スキルアップ研修会 (WEB配信) 及び各地区の連絡会の開催 (8/22 オンライン開催) 25名参加
5	コミュニティワーク研修会の開催(12/16、2/14、2/20開催) (1) コミュニティワーク研修会 (地域アセスメント編 12/16開催 19人参加) (基礎編 (地域・相談担当合同会議) 2/14開催 33名参加) (応用編 (プレゼンテーション) 2/20開催 25名参加)
6	社会福祉法人等と共同した地域公益活動の推進 (1) 社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施 ・市町担当者会議の開催 (4/28 12市町社協出席) ・BCP策定支援アドバイザー派遣養成講座 (2/13 10名参加) ・「地域における公益的な取組」実践事例報告会 (3/13 58名参加) ・事業実施市町のICT導入及び運用に関する支援事業(1/20、2/7、2/16、2/22)

【進捗状況及び成果】

市町社協新任職員研修会では、社協の法的位置づけ、使命、課題と期待など社協の基本的な説明や社協が実施する各種事業を理解し、接遇やファシリテーションに関するグループワークを行うことで社協職員に必要なスキルを身に付けることができた。

コミュニティソーシャルワーク研修では、地域住民や各関係者と協働し、円滑に課題解決につなげられるよう、コミュニティソーシャルワーク技術の習得を図った。

市町域における社協と社会福祉法人等との連携による地域課題解決、人材確保に関する取組を実施する市町は30か所に拡大した。



コミュニティソーシャルワーク
実践者養成研修会



市町社協新任職員研修会



コミュニティワーク研修会
(応用編 (プレゼンテーション))

基本目標 2 地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標 1 社会福祉事業者等を支援します

重点事項 自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人等が常に利用者の立場に立って、良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令順守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

事業内容	
1	民間社会福祉施設運営基金助成事業の実施 社会福祉事業振興のための助成金を交付 決定件数 56 件 助成額 8,746,000 円
2	福祉施設経営指導事業の実施 社会福祉法人等が行う運営の取組に対し、専門相談員による助言、指導及び支援を実施 ・福祉施設経営指導事業による専門相談の実施 相談件数 266 件
3	経営に関する研修会・セミナー等の開催 社会福祉法人・施設の経営基盤の強化、利用者へより質の高いサービスを提供 ・経理、労務、施設運営に関するWEB研修の開催 (監事監査研修会ほか 11 本 1,320 施設参加)
4	ソーシャルアクションの実施 ア 社会福祉に関する県への要望 イ 児童虐待防止静岡の集いへの参画 講演会の開催(YouTube 動画配信) ウ 障害を理由とする差別解消推進県民会議への参画 エ 「ウクライナ希望のつばさ SHIZUOKA」 共同団体参画(4/1) オ 「ロシア軍によるウクライナ侵攻」に対する声明(4/18)

【進捗状況及び成果】

福祉施設経営指導事業（公認会計士、社会保険労務士、弁護士等の専門相談等）及び経理、労務、施設運営等に関するWEB研修の開催等により、社会福祉法人・施設の法人経営、施設運営の強化に寄与した。

社会全体で取り組むべき課題について、多様な団体と連携してソーシャルアクションを展開した。



社会福祉法人・施設経理応用講座



ウクライナ希望のつばさ SHIZUOKA
発足会議

実施目標 2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

重点事項 福祉サービスの担い手の確保の推進

福祉の仕事のイメージアップを図ると共に、関係団体との連携を深め、多様な人材確保や就労環境の改善に資する担い手の育成を支援した。

	事業内容
1	<p>社会福祉人材センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) 無料職業紹介所の運営 (本所・東部支所) (目標就職者数 全県 1,000 人)</p> <p>ア 福祉・介護求人者や求職者からの相談、就労・就職あっせん等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規求人登録数 12,051 人 ・新規求職登録数 3,703 人 ・就職者数 (東部、静岡) 497 人 全県 668 人 ※全国 1 位 <p>(2) 社会福祉人材センター運営委員会の開催 社会福祉人材センターの運営を円滑、効果的に実施するために開催 (オンライン併用) 日時 令和 4 年 7 月 14 日 (木) 場所 静岡県総合社会福祉会館シズウエル</p> <p>(3) 福祉人材マッチング機能強化事業の推進</p> <p>ア キャリア支援専門員の設置 5 人 (本所 4 人、東部支所 1 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設訪問 214 か所 ・マッチング就職者件数 303 件 ・マッチング支援者件数 668 件 <p>イ 専門アドバイザーの設置 (公認会計士、社会保険労務士に委嘱)</p> <p>ウ 社会福祉人材センター情報発信事業の実施 (10 回 265 人参加)</p> <p>エ ミニ就職相談会の開催 (21 回 337 人参加)</p> <p>オ 求職者向けの施設見学 (オンライン) の実施 (15 回 150 人参加)</p> <p>(4) 福祉の就職相談会の開催</p> <p>【他業種からの転職者や学生等、幅広いターゲット向け】</p> <p>ア 就職相談会 (対面式 6 回 + オンライン開催 2 回 287 人参加)</p> <p>イ 求人 PR サイトの運営 (通年)</p> <p>ウ 合同企業説明会 (5 会場)</p> <p>【大学生向け (大学での出前講座)】</p> <p>大学等での出前説明会 (事業所説明会や福祉職セミナー等) (11 回)</p>
2	<p>事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施</p> <p>(1) 事業所の採用担当者等との WEB 会議の開催</p> <p>8/4 福祉系養成校・福祉施設等意見交換会【高校】</p> <p>8/19 福祉系養成校・福祉施設等意見交換会【大学・専門学校】</p> <p>2/10 福祉施設から養成校への提案 (連携できること)</p> <p>(2) 課題解決に向けた実践</p> <p>ア 調査研究の実施</p> <p>4 月 福祉系養成校進路実態調査の実施</p> <p>6 月 有料職業紹介・人材派遣利用調査及び就職活動に向けた動機調査の実施</p> <p>イ 大学生の福祉施設でのアルバイト・インターンシップに係るポータルサイトの作成</p> <p>(3) 福祉人材確保実践セミナーの開催 (ZOOM、年 1 回以上)</p> <p>7/22 福祉機器を用いた腰痛対策・環境整備 WEB セミナー (PC 74 台)</p> <p>10/17 介護・福祉業界の採用 PR・情報発信力向上 WEB セミナー (PC 76 台)</p> <p>1/17 介護・福祉業界の採用 PR・情報発信力向上研修 (WEB) (PC 32 台)</p>

3	<p>他機関との連携による外国人福祉人材等の雇用・定着支援</p> <p>(1)外国人介護人材サポート事業</p> <p>ア 職場訪問 (53 か所、52 人)</p> <p>イ 研修交流会の開催 (16 回開催、132 人)</p> <p>ウ 支援策検討会議の開催 (年4回)</p>
4	<p>保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進</p> <p>(1)保育士・保育所支援センターの運営 (就職支援コーディネーターの配置 4 人)</p> <p>保育所就職者数 90 人※保育補助含む (目標就職者数 全県 100 人)</p> <p>(2)保育士就職説明会の開催 県内7回 ※内3回 WEB 開催</p> <p>潜在保育士及び新卒保育士等に対する就職相談の場として開催</p> <p>保育所就職者数 13 人</p> <p>(3)潜在保育士現場復帰研修の開催 ※保育士就職説明会と同日開催</p> <p>県内7回※内3回 WEB 開催 341 人参加 (内 WEB 115 人)</p> <p>(4)出張相談会の開催 (13 回)</p> <p>・静岡県委託分 6 回 ・静岡市委託分 7 回</p> <p>(5)保育所等見学・現場体験の実施</p> <p>静岡県委託分 体験 44 人 48 日</p> <p>静岡市委託分 体験 8 人 21 日・見学 1 人</p> <p>(6)離職保育士届出制度の促進</p> <p>保育人材確保につなげるため、潜在保育士や離職予定の保育士に対して、「保育士・保育所支援センター」への届出勧奨を実施</p> <p>周知用チラシの作成・配布 10,000 部</p> <p>令和5年3月末登録者 213 人</p> <p>(7)放課後児童支援員の人材確保支援</p> <p>保育資格を有する放課後児童支援員の人材確保について、求職者と求人者からの相談対応や勤務条件等のマッチングを実施</p> <p>求職相談件数 11 件 就職者数 1 人</p> <p>(8)保育士養成施設連絡会の開催</p> <p>保育士を取り巻く状況の共有、早期離職の解消に向けた仕組みの検討や保育士の職場定着を目的とした情報共有を実施(8/8、3/13)</p> <p>※調査の実施(5/2～6/13)</p> <p>・県内保育所等(公立園除く)対象 「新卒採用内定後の「事前研修」現状調査」</p> <p>・新卒採用職員対象 「就職先選びのポイントアンケート」</p> <p>(9)【新規】SNS(LINE)による相談窓口の設置、情報発信</p> <p>相談の新たな窓口として、SNS(LINE)のアカウントを開設した。必要に応じて社会保険労務士など、専門家が助言を行った。併せて、登録者に対して、保育に関する制度や資格、就労等の情報発信を実施</p> <p>・登録者数 166 人</p> <p>・相談件数 102 件 ※内7件 社会保険労務士による助言</p> <p>・情報発信 45 件</p> <p>(10)保育現場の魅力発信(HP、SNSによるコラム配信等)</p> <p>・コラム配信 配信回数 12 回</p> <p>・【新規】(静岡市)中高生向け冊子の作成・配布 10,000 部</p>

5	<p>福祉教育・仕事理解の講座等による若年層や教員、保護者等への浸透</p> <p>(1)福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施（目標講座回数 150回）</p> <p>ア 県内の学校を訪問し、福祉・介護の仕事について興味・関心、理解を深める出前講座を実施</p> <p>実施数 191回（小学校59校109回、中学校25校62回、高校13校20回）</p> <p>生徒数 7,122人</p> <p>イ セミナーの資質向上のための講師意見交換会を開催(2/27実施)</p> <p>(2)保護者向け啓発資料の作成・配布（10,000部）</p>
6	<p>福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施</p> <p>(1)福祉のしごと学び体験ツアーの実施</p> <p>浜松会場（サーラシティ浜松）7/28 21人、沼津会場（プラサヴェルデ）8/2 23人、静岡会場（シズウェル）、東部8/5 19人 参加者63人</p> <p>介護ロボットや情報通信技術（ICT）活用の福祉機器の見学と体験、リモート施設見学会、現役の福祉系大学・専門学校生からのメッセージを通して、福祉の仕事の魅力や、やりがい等を発信した。</p>

【進捗状況及び成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設での職場見学や体験等が十分に行えない状況が続いている中、施設見学会のリモート実施や社会保険労務士とのオンライン相談の他、LINE相談(保育分野)を開始するなど、WEBを活用した就職支援を行い、全国的に福祉分野の求職者数が低迷する中でも497人の就職者を確保した。

浜松市福祉人材バンクと合わせた県全体では688人となり、全国1位を維持している。

また、将来の人材確保につなげるための小・中・高校生に向けた福祉の仕事の魅力を伝える取組は、介護現場の職員等を外部講師として招き、福祉・介護職に関する正しい情報提供とイメージアップを図っている。オンラインによる開催も併用し、目標の150回に対して、191回実施した。



福祉の就職相談会
チラシ・ポスター



福祉のしごと学び体験ツアー
＜中部地区：7月28日＞
（サーラシティ浜松）

基本目標 3 災害福祉支援体制づくり

実施目標 1 災害に備えた支援体制を構築します

重点事項 静岡県災害ボランティア本部・情報センター及び静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化

県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制の構築に取り組んだ。

	事業内容
1	<p>静岡県災害ボランティア本部・情報センターの機能強化</p> <p>(1) 台風第 8 号による松崎町雲見地区被害に係る「静岡県災害ボランティア本部・情報センター」(以下「県 V 本部」)の設置(8/15 日～)【赤い羽根助成金事業】</p> <p>松崎町社協への県 V 本部スタッフ・市町社協の職員派遣の実施(～8/31)</p> <p>派遣実人員 56 名、延べ 178 人日(県 V 本部 48 人日、市町社協 130 人日)</p> <p>(2) 台風第 15 号による被災市町支援のための県 V 本部の設置。(設置は松崎町災害 VC 支援からの継続されており、3/31 をもって通常ボランティアセンターへ体制を戻した)【赤い羽根助成金事業】</p> <p>県内市町社協応援派遣：派遣実人員 189 名、延べ 508 人日</p> <p>関東ブロック応援派遣：派遣実人員 260 名、延べ 1268 人日</p> <p>(静岡県、島田市、川根本町、浜松市天竜区に災害 VC 開設)</p> <p>(3) 活動資機材・機器のストックヤード設置(県内 6 ケ所目：富士市)と保守点検(8/31 芙蓉会みぎわ園に設置)【赤い羽根共同募金助成事業】</p> <p>(4) 県本部・情報センターの体制整備</p> <p>ア 県、県ボランティア協会との運営に関する検討会の実施(通年)</p> <p>イ 県域の支援団体との情報交換会の開催(3/16)</p> <p>ウ 台風 15 号災害対応に係る県 V 本部支援検証会議の開催(3/8)</p> <p>県 V 本部の支援活動について、県 V 本部設置運営者及び支援者で成果と課題を共有し、県 V 本部に求められる機能と役割について検証した。</p> <p>(5) IT 支援協定に基づく平時の取組の実施</p> <p>ア 市町社協通常事業でのキントーン活用推進支援 「防災サミット in 島田」への参加(4/22)</p> <p>災害に備え社協職員と IT 企業を結ぶ交流事業として開催。ICT 導入やファイリング等職場の業務改善に積極的に取り組む島田市社協のオフィス見学を実施した。</p> <p>イ サイボウズ災害支援チームと市町社協職員との定例情報共有ミーティング(毎週月曜日)</p> <p>(6) 災害 VC 運営効率化のためのアプリ開発、WEB サイトの充実及び情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none">・被害状況収集アプリの稼働、市町被害状況共有 view の公開・台風第 8 号、15 号災害における市町災害ボランティアセンター業務支援アプリの導入と運用 <p>(7) 太陽建機レンタル(株)との協定締結</p> <p>(8) 市町社協との災害ボランティアセンター開設・運営合同訓練の実施</p> <p>西伊豆町・松崎町(7/18)、静岡市(8/27)、9/4 県総合防災訓練(島田市、牧之原市、川根本町、菊川市) 浜松市北区(11/19)、河津町(12/18)、富士市(1/14)、下田市(3/11)</p>

- 2 静岡県災害派遣福祉チーム（静岡 DWAT）の体制強化
- (1) 静岡県災害福祉広域支援ネットワークの運営
- ア 静岡 DWAT 登録員養成研修の開催（1/24、2/15/27 名参加）
 - イ スキルアップ研修の開催（東部 11/1/25 名参加、中西部：11/2/14 名参加）
 - ウ 平常時の支援活動展開（出前講座）
 - エ 県内 3 地域（東部・中部・西部）における支部活動検討会の開催
（東部：6/20/47 名参加、中部：6/14/26 名参加、西部：6/16/36 名参加）
 - オ エリア別情報交換会（全体会）の開催（8/12/17 名）
 - カ ネットワーク会議の開催（3/8）
 - キ 医療・保健・福祉分野における災害支援団体連絡会の開催（6/28、10/1）
 - ク 広域相互支援ネットワークの構築（近隣県事務局との意見交換/2/6）

【進捗状況及び成果】

活動資機材・機器のストックヤード設置では、西部地区（袋井市）、東部地区（長泉町）、中部地区（藤枝市）、東部地区（伊豆市）、中遠地区（森町）に続き、県内 6ヶ所目の設置となり、迅速に被災地の復旧活動ができる体制を構築した。



松崎町災害ボランティアセンターの運営支援(8/15～8/31)



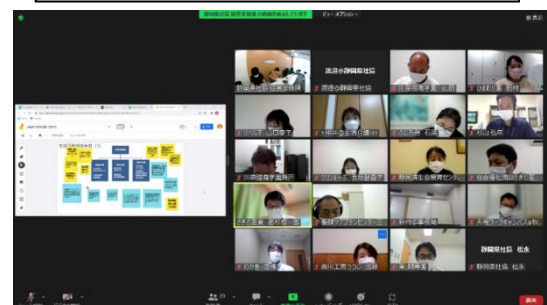
活動機器のストックヤード設置
【赤い羽根共同募金助成事業】



災害支援団体連絡会での
初動シミュレーション訓練（10月1日）



支部活動検討会
（中部会場）



情報交換会
（全体会）

実施目標 2 災害時の市町社協を支援します

重点事項 市町社協と被災者支援

市町社協が災害支援活動に専念できるよう支援活動を展開し、大規模災害発生時に支援が必要な被災者に対する支援体制の整備を図った。

	事業内容
1	<p>・県災害ボランティア本部・情報センターの体制整備</p> <p>(1) 台風 8 号による松崎町雲見地区被害に係る「静岡県災害ボランティア本部・情報センター」(以下「県 V 本部」)の設置(8/15～) 【赤い羽根助成金事業】 松崎町社協への県 V 本部スタッフ・市町社協の職員派遣の実施(～8/31) 派遣実人員 56 名、延べ 178 人日(県 V 本部 48 人日、市町社協 130 人日)</p> <p>(2) 台風第 15 号による被災市町支援のための県 V 本部設置。(設置は松崎町災害 VC 支援からの継続されており、3/31 に通常ボランティアセンターへ体制を戻した) 【赤い羽根助成金事業】 ※再掲 県内市町社協応援派遣：派遣実人員 189 名、延べ 508 人日 (静岡市、島田市、川根本町、浜松市天竜区に災害 VC 開設) 関東ブロック応援派遣：派遣実人員 260 名、延べ 1268 人日</p> <p>(3) 市町社協災害ボランティア担当者研修・会議の開催 ア 市町社協災害ボランティア担当者会議(災害対応研修会と同日開催) 【赤い羽根共同募金助成事業】 (5/30 47 名参加) イ 市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修会の開催 【赤い羽根共同募金助成事業】 第 1 回：実践編(6/22 開催 58 名参加) 第 2 回：12 月予定 第 3 回：連携・協働編(3/10 開催 47 名参加)</p>
2	<p>・円滑な生活福祉資金(特例貸付)の実施 生活福祉資金特例貸付の実施を想定した体制整備の構築 被災者への生活支援</p>
3	<p>・災害時における日常生活自立支援事業の利用者支援 利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備の構築 災害時運営マニュアルの検証</p>
4	<p>・災害時における介護保険事業の利用者支援 サービス利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備 災害時対応マニュアルの策定支援</p>
5	<p>・静岡県熱海地域支え合い支援センターの運営 熱海市伊豆山ささえ逢いセンターの事業支援(統括生活支援相談員 1 名 231 日派遣) 被災者見守り・相談支援事業の市町社協への周知(3/6 被災者見守り・相談支援事業研修会の実施)</p>

【進捗状況及び成果】

熱海市伊豆山ささえ逢いセンターにおいては、重点的な見守りが必要な A 判定世帯が 10 世帯となっており、支援対象世帯の状況確認が進んだ。また、弁護士会との協力による被災者宅への戸別訪問など新たな支援の取組も進みつつある。



市町社協災害ボランティア担当者会議・
市町社協災害対応研修会（5/30）
【赤い羽根共同募金助成事業】



市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修会
（6/22） 【赤い羽根共同募金助成事業】



熱海市ささえ逢いセンター相談員

基本目標4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標1 組織・経営強化を図ります

重点事項 安定的な法人運営の実施

本会の会員サービスの充実に向けた検討を行うとともに、未加入の県内事業所等に対し、加入促進を行った。

また、経営基盤を強化するために、事業の効率化、財源の確保、ITの高度化を進めるとともに、組織体制・ガバナンスの強化を図った。

事業内容	
1	<p>会員サービスの充実</p> <p>(1) 会員サービスの充実に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント対策講座の開催 (10/24) <p>参加者数：当日 Zoom 配信接続数 71 台、アーカイブ配信再生回数 122 回</p> <p>(2) 未加入事業所・賛助会員の加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略対象(保育所・放課後等デイサービス)とした未加入事業所に働きかけを行い、保育所 14 件・放課後等デイサービス 18 件が加入した。 ・8月を「賛助会員加入促進強化月間」とし、業務上関係のある会社・団体等に対して、賛助会員の募集活動を各課で実施し、8社17口の加入があった。
2	<p>連絡協議会、部会、委員会活動の充実</p> <p>ア 総務部会幹事会の開催 (※災害対応のため、各幹事へ個別に協議)</p> <p>イ 総務担当者研修会の開催 (12/6、701 会議室) 参加者数：54 名</p> <p>ウ 企画調査委員会の開催 (第1回 9/26※書面審議に変更、第2回 3/2)</p> <p>第五次活動推進計画の中間年評価の実施</p>
3	<p>理事会・評議員会等の運営</p> <p>新規事業の補正予算、理事・評議員の選任等に対応するため、定例開催のほか社会福祉法に基づく決議の省略の方法により行うなど、迅速な意思決定を行った。</p> <p>ア 理事会 7 回開催</p> <p>イ 評議員会 6 回開催</p> <p>ウ 評議員選定委員会 2 回開催</p> <p>エ 監事監査 1 回開催</p>
4	<p>経営基盤の強化</p> <p>ア 長期にわたる安定的な利息収入の確保のため、財政調整基金を新規債券にて運用</p> <p>イ 令和3年度の決算分析を実施し、理事会及び評議員会に報告</p> <p>ウ 印刷機の利用状況を調査し、1月に入れ替えを実施</p> <p>エ 勤怠管理システムの稼働により、書面での勤怠関係申請を廃止</p>
5	<p>任意監査の実施</p> <p>ア 決算監査 (5/17～18)</p> <p>イ 上半期出納監査 (11/16～17)</p> <p>ウ 下半期予算執行監査 (2/13～14) ※いずれも、重大な指導事項なし</p>
6	<p>政策提言の実施</p> <p>(1) 県知事との面談 8/18</p> <p>出席者 知事・健康福祉部長 会長・副会長 他</p> <p>内容 地域福祉に関する提案 3項目を説明</p>

	(2) 県健康福祉部長との懇談会 9/6 出席者 県健康福祉部長、部理事、各局長 会長、県域各福祉団体 (約 30 団体) 内 容 県内各社会福祉団体から、取組・課題を県幹部に説明
7	県総合社会福祉会館 (シズウエル) の管理運営 指定管理期間 平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
8	静岡県社会福祉協議会災害対策本部の運営 ア 災害対策実施計画を包含し、事業継続計画 (BCP) として策定 (8/31 施行) イ 事業継続計画 (BCP) に基づき、災害対策本部立ち上げ訓練を実施 (9/5)
9	広報力の強化 ア 広報戦略委員会や SNS 運用ミーティングを適宜開催し、継続的な情報発信に努め、県社協ホームページの 1 か月平均訪問回数は 4 万回超となった。 イ 他県・政令指定都市社協 (計 7 社協) との情報交換会を開催 (2/8)

【進捗状況及び成果】

会員獲得のため、未加入事業所への働きかけを進めるとともに、「賛助会員加入促進月間」を設定し、各課において新規の会員獲得の取り組みを強化した。

また、会員向けサービスの充実を図るため会員向け研修会を開催し、アンケートでは、その内容について 100%の満足度を得た。

災害対策については、地震災害以外の様々なリスクに対応できるよう、災害対策実施計画を包含した形で、新たに「社会福祉法人静岡県社会福祉協議会事業継続計画」を策定した。

また、同計画に基づき災害対策本部立ち上げ訓練を実施し、発災直後の初動対応の確認ができた。

実施目標 2 「人財」育成を図ります

重点事項 安心して働ける職場づくり

本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合った働き方ができるような環境を整備するとともに、計画的な職員の人材育成を図っている。

事業内容	
1	<p>働きやすい職場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応による職員の夏季休暇取得の遅れを考慮し、取得期限を9月末から11月末に延長 ・業務の状況を考慮しながら、各部各課において時差出勤・テレワークを実施
2	<p>職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修制度の創設 本会研修課で実施する研修のうち、社協職員として特に受講して欲しい17研修を推奨研修として指定し、1人1研修の受講を推奨した。 ・専門研修として、全国社会福祉協議会会計実務講座に参加（入門・初級）3人 ・外部からの依頼による講師の派遣 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議運営支援者研修(全社協) 災害福祉支援ネットワークブロック会議(事例報告) 名古屋市教育委員会講座 徳島県社協研修 生協連研修会 岐阜県災害V C運営支援者研修 高知DWA T研修会 山梨県経営協講演会 静岡大学講義 牧之原市市民後見人養成講座事前説明会 福岡DWA T研修会 施設長・管理者等研修会(小山町社協) など

【進捗状況及び成果】

職員が安心して働ける職場環境のため、災害対応を念頭に夏季休暇取得期間の延長、時差出勤・テレワーク、新型コロナウイルス感染症に対応した職務専念義務免除制度など、ワーク・ライフ・バランスに配慮しながら各制度を運用した。

また、各種健康診断の実施や、人間ドック等の費用助成等を通じ、職員の健康保持をすることができた。

職員研修については、階層別研修、専門研修（テーマ別）、自発的な資格取得支援を組み合わせる体系的な人材育成を進めるとともに、新たにスキルアップ研修制度を創設し、職員全員に1人1講座以上の受講を義務付け、職員個々の能力開発を支援した。

实施事项

第3 実施事項

基本目標1 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します

推進事項1 地域住民が支え合う地域づくりの推進

市町において地域力強化や生活支援体制整備するにあたり、市町間の情報共有の場づくりや人材育成などの市町への支援、及び広域で推進していく必要がある取組を関係機関と協働して推進した。

事業の実績	効果・評価
(1) ふじのくに「地域共生」大賞の実施 ・ 県社協地域づくり推進委員会の開催 (5/9、11/28) 応募総数 17 件 最優秀賞 1 件、優秀賞 3 件 ・ ふじのくに「地域共生」大賞活動発表会 (表彰式) の開催 (8/4 96 名参加※うちリモート参加 61 名) ・ ふじのくに地域共生フォーラムの開催 (10/11 121 名参加※うちリモート参加 75 名)	・ 多分野連携における取組の情報発信 ・ 全ての世代の参画における地域づくりに寄与
(2) 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制整備の支援 ア 地域福祉推進ブロック会議の開催 全体会 (6/23) 地域別研究会 (7/19, 22, 8/4) イ 国モデル事業等の先進事例情報提供	・ 包括的支援体制構築の必要性の理解を深めた。
(3) 生活支援体制整備の構築 ア 生活支援コーディネーター養成研修の開催 7/12 開催 160 名参加 イ 生活支援体制整備スキルアップ研修の開催 12/5 開催 167 名参加 ウ 生活支援コーディネーターガイドブックの制作	・ 地域の助け合いを推進する上で必要な協議体の意思決定や合意形成の手法を学び、実践力を身につけた。
(4) ふじのくに型福祉サービスの推進 ア 居場所事例紹介ブックの作成 コロナ禍においても感染対策等に工夫して運営している居場所を取材し、事例集として作成した。(配布は下半期に実施) イ 実践者派遣事業の実施 (5 件派遣実施) ウ 居場所運営者交流会の実施 (2/28 39 名参加) 函南町・熱海市合同で居場所運営者同士の情報共有やネットワークづくりの場として実施	・ コロナ禍における居場所運営について、好事例を収集、分析することにより、活動再開の目途が立たなかったり、これから立ち上げたいと考えている居場所実践者に有益な情報を提供できた。
(5) 子どもの居場所づくりへの支援 ・ 子どもの居場所応援基金事業 募集 (7/13-8/31 消印有効)、申請 60 件、決定 60 件、確定 55 件 (辞退 5 件) 補助金額 5,168 千円	・ 子どもの居場所、子ども食堂を運営する団体に、活動が促進するように助成を実施した。



ふじのくに「地域共生」大賞活動発表会 (8/4)







ふじのくに地域共生フォーラム (10/11)

推進事項2 地域福祉教育及びボランティア・市民活動の推進

全県的な福祉啓発活動の推進とともに、市町社協と協働して、地域を基盤とした福祉教育を推進している。

また、ボランティア・市民活動を推進するため、中間支援組織との関係づくりとともに、広域の中間支援組織として、新たな担い手や社会資源の確保・マッチング、情報提供、人材育成に対する支援に取り組んでいる。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 地域福祉教育の推進</p> <p>静岡県地域福祉教育推進計画の推進</p> <p>ア 静岡県地域福祉教育推進委員会の開催（2回） （第1回：8/2開催、第2回：3/22開催）</p> <p>イ 地域福祉教育推進セミナーの開催（1回） （2/10開催、64名参加）</p> <p>ウ 市町社協担当者会議の実施（1回） （7/27開催）43名参加 ・福祉教育推進員意見交換会（8/24開催）10名参加</p> <p>エ 新たな地域福祉教育副読本作成事業（随時） （作業部会：第9回4/15、第10回5/20、第11回6/24、第12回7/26、第13回9/16、第14回10/20、第15回11/25、第16回2/13、第17回3/2） 【赤い羽根助成金事業】</p> <p>オ 福祉の思い・ココロを育む講師の派遣（随時）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の地域福祉への関心、地域活動への参加機運の醸成 ・住民の地域活動への参加拡大 ・中学生を対象に、地域を基盤とした地域福祉教育副読本を制作した。 <p>※令和5年3月27日完成</p>  <p>地域福祉教育推進委員会</p>
<p>(2) 全県的な福祉啓発の推進</p> <p>ア 暮らし・安心・支え合い”福祉のまちづくり県民運動の実施 （主に9～10月）県民福祉の日に関する広報啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県民福祉の日」啓発用チラシ10,000部、ポスター3,000部の作成・配布 ・他団体が実施する行事等への協賛依頼 ・啓発用のぼり旗の設置（9/21～10/20掲示） <p>イ 福祉のまちづくり絵画コンクールの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する絵画作品の募集（6/6～9/5 739件の応募） ・最優秀賞、優秀賞等の選定（9/20） ・表彰式（健康福祉大会）（11/4） ・展示会（入選作品の展示）※東、中、西部各1か所 中部：県庁別館21階11/18～11/27 西部：磐田アミューズ豊田12/5～12/19 東部：サンウェルぬまづ1/11～1/24 <p>ウ 福祉カレンダーの作成・配布（4,500冊作成） 上記コンクール入賞作品を使用してカレンダーを作成、配布 ※カレンダーには福祉に関する日（県民福祉の日や介護の日等）を書き入れ、その周知と福祉教育等に活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の「県民福祉の日」制定意義の再確認 ・住民の気づきや地域活動への参加機運の醸成 ・福祉の諸問題に対する社会的関心の喚起、理解の促進 ・多様な機関との連携・協働  <p>令和5年度版福祉カレンダー</p>

<p>エ マスコミを活用した広報・啓発活動の実施 オ 静岡県健康福祉大会の開催（11/4開催） カ 各福祉週間等啓発事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 児童福祉週間（5月） 児童福祉週間の横断幕掲揚（4/20～5/11） ② 老人週間（9月） 広報誌9月号、HP、メールマガジンに掲載 ③ 児童虐待防止月間（11月） 広報誌11月号にて講演会等を周知。啓発グッズの配布。 ④ 障害者週間（12月） HPに掲載 	 <p style="text-align: center;">福祉のまちづくり 絵画コンクール募集チラシ</p>
<p>(3) ボランティア・市民活動の推進 ア 地域づくり推進委員会の開催（2回）【再掲】</p> <p>イ 市町社協ボランティア担当者会議の実施（1回） ウ 市町社協ボランティア担当者研修会の実施（1回） 2/27開催 20名参加 エ 地域アセスメント等のスキルアップの向上【再掲】</p>	<p>・県内ボランティアコーディネーター、ボランティア団体等の資質向上</p>  <p style="text-align: center;">市町社協ボランティア 担当者会議兼 ボランティア担当者研修会</p>
<p>(4) ふれあい基金による活動支援の実施 ア ふれあい基金運営委員会の開催 第1回開催：6/7 Web(Zoom ミーティング併用) 下記助成先決定の承認を受けた。 第2回開催：3/7開催（シズウェル104会議室） 令和4年度の実績見込みの報告と令和5年度の 予定を報告、承認を受けた。</p> <p>イ 県ボランティア協会への助成</p> <ol style="list-style-type: none"> ①リフトバス運行事業 ②ボランティア研究集会事業 ③市民活動推進事業 ④「ケアする人のケア」事業 ⑤TOMOSHIBIツアー事業 <p>ウ 地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業 エ 広域的な防災推進助成事業 オ しずおかの居場所助成事業 ウ～オ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①募集開始：市町社協、NPO等への周知（令和4年4月～） 県内52団体から申込 ②助成先の審議：第1回ふれあい基金運営委員会 39団体の助成先を決定 ・活動推進助成（18団体：先駆的助成0団体） 	<p>・在宅福祉・ボランティア活動等民間社会福祉団体が行う地域福祉活動の充実と発展に寄与した。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・セルフヘルプグループ活動支援助成 (3 団体) ・広域的な防災推進助成事業(4 団体) ・しずおかの居場所助成事業(14 団体) <p>③助成決定総額 6,030 千円</p> <p>④実績：36 団体に助成、3 件の辞退があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動推進助成 (18 団体：先駆的助成 0 団体) ・セルフヘルプグループ活動支援助成(2 団体、辞退 1 件) ・広域的な防災推進助成事業(4 団体) ・しずおかの居場所助成事業(12 団体、辞退 2 件) <p>⑤助成確定総額 5,350 千円</p> <p>カ ふじのくに「地域共生」大賞【再掲】</p> <p>キ 災害ボランティア本部体制整備事業</p> <p>ク 福祉文化作品展奨励事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設協議会 (5/2～5/20 作品展開催) 19 日間 ・身体障害者福祉会 (11/9～11/15 作品展開催) 7 日間 ・肢体不自由児協会 (1/17～2/10 作品展開催) 24 日間 <p>ケ 地域課題解決に向けたデジタルトランスフォーメーション 検討事業</p> <p>防災サミット in 島田 (4/22)</p> <p>防災サミット in 徳島 (9/22)</p>	<p>・災害に備えて社協と IT 企業が連携するための土壌ができた。</p>
<p>(5) ABC しあわせ基金車両贈呈事業の実施</p> <p>申込 78 団体について「ABC しあわせ基金運営委員会」(5/16)で審議し、東部・中部・西部から 3 団体を決定し、車両贈呈式を開催した。(12/16)</p>	 <p>ABC しあわせ基金車両贈呈式</p>
<p>(6) 教員免許取得に係る介護等体験事業の実施</p> <p>ア 介護等体験実施連絡協議会開催への働きかけ</p> <p>イ 介護等体験の実施</p> <p>(新型コロナウイルスの感染拡大により、介護等体験が実施できなくなったため、文部科学省の代替措置を活用する大学の連絡調整・情報提供を行った。)</p>	<p>・実施方法の変更等について情報提供し、教員免許取得のための支援ができた。</p>

実施目標2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

推進事項1 包括的支援体制の構築に向けた相談支援事業の実施支援

多様化・複合化した生活課題を抱える人や家族に対し、分野を超えて総合的に相談に応じ、関係機関との調整を行う体制を構築できるよう、アドバイザーの派遣や地域別の研究会を行い、市町の包括的相談支援体制の構築を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 多機関協働による包括的支援体制構築事業の実施推進</p> <p>ア 市町へのアドバイザー派遣（6市町・15回）</p> <p>イ 市町の体制整備に係る相談支援（6市町）</p> <p>ウ 包括的相談支援体制構築推進部会の開催（6/8、3/3）</p> <p>エ 地域別研究会の開催 （全体会 6/23、地域別 7/13, 7/19, 7/22, 8/2, 8/4）</p> <p>オ 人材養成研修事業 （前期：講義 WEB 配信 8/1～8/19 後期：10/5、11/8、12/7、1/20 前期後期あわせて 102 名参加）</p>	<p>・社会福祉法改正で努力義務となった包括的支援体制整備の取組を支援することが出来た。</p> 
<p>(2) ひきこもり支援強化事業の推進</p> <p>ア 個別ヒアリング（10市町）</p> <p>イ 勉強会や事例検討会（6回）</p> <p>ウ 多職種・多機関連携ネットワークの構築支援（4回）</p> <p>エ 家族向け交流会・相談会等の実施（3回）</p> <p>オ その他関連する事業</p> <p>① ひきこもりサポーター養成（3回）</p> <p>② 当事者の実態把握調査に関する相談（1回）</p> <p>③ 静岡県ひきこもり支援体制構築のための市町会議 （6/2 30市町ひきこもり支援担当者 59名参加）</p>	<p>・市町会議を実施し、基礎的な情報共有を図ることにより自治体の関心が高まり具体的な支援方法の質問や事例をもとにした質問が増加した。また多制度と連携した支援を希望する自治体が増加した。地域性や資源等、個別具体的なニーズを把握し、派遣ができた。</p> 
<p>(3) 市町社協における総合相談体制の構築</p> <p>ア 相談事業部会の開催（10/25、2/6）</p> <p>イ 相談事業担当者研修会の開催（6/1）</p> <p>目的：相談支援事業の基礎的知識を習得する</p> <p>内容：講義「相談支援事業に係る基礎知識」</p> <p>講師：コミュニティネットハピネス 土屋 幸己氏</p> <p>対象：静岡県内社会福祉協議会相談支援事業従事者</p> <p>参加：29名</p>	<p>・相談支援事業従事者養成研修を実施し、相談支援事業における基礎的な知識や普段の相談技術の振り返りの機会となった。</p>

(4) 生活困窮者自立支援事業の実施支援

ア ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム

県社協、NPO 及び 12 町社協の 14 法人によるコンソーシアム方式での郡部における生活困窮者自立支援事業の受託
(自立相談支援事業、家計改善支援事業、一時生活支援事業)

- ① 各町社協による相談受付及びプラン作成並びにプランに基づいた支援の実施 (適宜)

タブレットの活用、ペーパーレス化の実施

- ② 定期的な支援調整会議の開催 計 85 回

【支援実施 (12 町合計)】

自立相談支援事業

内容		件数
相談受付件数	新規	493 件
プラン作成件数	新規	203 件
一般就労件数	実就労者件数	85 件
支援調整会議	12 町	85 回

家計改善支援事業

内容		件数
相談受付件数	新規	42 件
プラン作成件数	新規	53 件

一時生活支援事業

内容		件数
宿泊日数		248 日
プラン作成件数	新規	12 件

- ③ 運営委員会の開催 2/8
 ④ コンソーシアムブロック会議の開催
 東部 4/26, 中部 4/27, 賀茂 5/12
 ⑤ コンソーシアム勉強会の開催
 参加者：14 団体 (9、2 月は全自立支援機関対象)
 回数：毎月 1 回開催、全 9 回
 内容：多頭飼育、精神障害者の理解、不当要求や威圧的な来館者への対応等
 ⑥ 新型コロナウイルス感染症自立支援金受付業務 事業開始から令和 4 年 12 月末まで 153 件

イ 主任相談支援員養成研修修了者連絡会 (6 回)

4/8, 6/3, 8/5, 11/18, 12/9, 3/3 すべて WEB 開催

ウ 生活困窮者自立支援事業従事者養成研修の実施 (6 回)

4/22 WEB 開催 53 名参加



支援調整会議タブレットの活用

- ・構成団体の強みを活かし、個別支援及び事業を実施した。
- ・例えば、相談者には就労に向けて準備が必要な方、一定の継続的な支援や、また柔軟な働き方が必要な方がいる。就労に結びつくまでに時間がかかる。さらに、コロナ禍が拍車をかけた。構成団体である NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡と町社協が丁寧な伴走型支援を行った。
- ・相談支援員のフォローアップを行い、生活に関する多様な困りごとの相談の解決に結びつけた。



迷惑防止チラシ

- ・研修企画チームによる研修企画、アンケート調査に基

<p>5/19 WEB 開催 48 名参加 7/15 WEB 開催 15 名参加 9/16 WEB 開催 19 名参加 1/20 WEB 開催 42 名参加 2/3 WEB 開催 43 名参加</p> <p>エ 生活困窮者自立支援ネットワーク事業</p> <p>① 自立相談支援機関連絡会の開催 (2 回) ② 多機関多組織による連絡会の開催 (1 回)</p> <p>オ ふじのくに生活困窮者自立支援基金事業の実施 就労に係る経費の給付 (随時) 就労支度金 19 件、就労活動応援金 1 件、生活環境改善 0 件、 生活維持改善 9 件 ひとり親世帯 2 件 ※3 月 31 日時点</p>	<p>づいた研修企画により、相談員の実態に即した研修を企画できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた計画的な研修により相談員のスキルアップの機会を設けることができた。 
<p>(5) 生活福祉資金貸付事業の実施</p> <p>① 生活福祉資金貸付事業の実施</p> <p>ア 総合支援資金 (生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費)</p> <p>イ 福祉資金(福祉費、緊急小口資金)</p> <p>ウ 教育支援資金(教育支援費、就学支度費)</p> <p>エ 不動産担保型生活資金 (不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金)</p> <p>② 臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施 (住居を失った離職者が公的給付又は公的貸付の交付を受けるまでの生活費の貸付)</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の実施 (令和 2 年 3 月 25 日～令和 4 年 9 月末日まで)</p> <p>④ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催 (書面 : 3 月)</p> <p>⑤ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会、不動産担保型生活資金審査委員会の開催 (6/15、8/2、9/9)</p> <p>⑥ 市町社協新任担当職員研修会の開催</p> <p>⑦ 市町社協担当職員研修会(会議)の開催 (5/31、10/7、11/24、2/24)</p> <p>⑧ 生活福祉資金の実務的課題に関する作業委員会の開催(中止)</p> <p>⑨ 利用促進のための広報の実施</p> <p>⑩ 債権管理・償還相談の実施</p> <p>ア 滞納者等含めた借受者に対する残額のお知らせの送付(9月、3月)</p> <p>イ 滞納者への訪問調査の実施 (随時)</p> <p>ウ 所在不明者の調査(住民票調査)の実施 (随時 : 3, 314 件)</p> <p>エ 滞納債権整理推進等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者への償還・生活相談の実施 (随時) ・民事訴訟・調停・支払督促等の提起 (民事訴訟 : 7 件、支払督促 : 76 件) <p>オ 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の償還免除及び償還開始に向けた手続き等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯等の経済的自立及び生活意欲の助長促進 ・在宅福祉及び社会参加の促進 ・住居を失った離職者の一時的な生計維持 ・福祉事務所やハローワーク等関係機関・団体との連携強化 ・借受世帯の自立促進、不良債権の発生防止 ・貸付原資の有効活用 ・事業実施体制の強化

<p>(6) 児童や障がい者などの自立支援</p> <p>ア 神谷基金障がい者自立支援事業の実施</p> <p>① 障害者福祉施設への助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選考委員会の開催 (9/9) ・ 助成申請 18 件 ・ 助成先 17 件 <ul style="list-style-type: none"> (一社) ロバのみみ ロバのみみ (福) あしたか太陽の丘 クリエイト太陽 (福) 復泉会 くるみ共同作業所 (特非) 富士宮市手をつなぐ育成会 にこにこサポートくればす 2 号棟 (医) 新光会(社団) サニープレイスカんなみ (特非) 六星 ウイズ蜷塚 (福) なごみかぜ なごみかぜ工房 (福) デンマーク牧場福祉会 いぶき (一社) 陽だまり 陽だまり (特非) 風楽 おっけい (福) 共生会 ライク (特非) こころ あじさい (福) 静岡手をつなぐ育成の会 ラポール・ファーム (特非) たからじま テラス・あとリエ (一社) ユースエイド ユースエイド (公財) 復康会 ワークショップまごころ クリーム・ド・クオーレ (福) 青い鳥 日本平学園 <p>② 専門家派遣事業</p> <p>2 事業所へ派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> (福) 宏寿会 ゆうほうのさと (福) 明光会 安倍野工房 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の地域生活移行や就労・社会参加等の促進することができた。
<p>イ 県里親連合会の事務受託</p> <p>正副会長会議 (第 1 回 9/3、第 2 回 10/15、第 3 回 2/18)</p> <p>理事会 (第 1 回 5/21、第 2 回 3/4)</p> <p>総会・里親研修会 (6/4、61 名参加)</p> <p>講師：近藤卓 氏 (ウェルネススポーツ大学 教授)</p> <p>「こどもの自尊感情をどう理解し育むか～共有体験の大切さ～」</p> <p>里親月間記念講演会 (10/15、95 名参加)</p> <p>講師：北川聡子 氏 (社会福祉法人麦の子会 理事長)</p> <p>「里親の魅力」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里親制度の普及発展や里親の資質向上、会員相互の親睦を図った。 <div data-bbox="1075 1626 1433 1890" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1117 1899 1366 1951" data-label="Caption"> <p>里親研修会 (6/4)</p> </div>

<p>ウ 県肢体不自由児協会の事務受託 理事会(第1回: 書面審議、第2回: 3/14) あり方検討会(6/21) 第17回意見交換会(10/29、33名参加) 療育図書の刊行(療育読本第15集「発達障害の基礎知識(改訂版)」 第38回「手足の不自由な子どもの絵画展」 (表彰式: 1/18、展示: 1/17~2/10) ・70周年記念事業検討会の開催(第1回: 8/30、第2回: 3/7)</p>	<p>・肢体不自由児に対する理解促進</p>  <p>意見交換会(10/29)</p>
<p>エ 児童養護施設等を退所し自立生活を送る学生に対する「夢みらい応援資金」交付事業の実施 【赤い羽根共同募金助成事業】 ・静岡県共同募金会の課題解決プロジェクト募金で集まった寄附をもとに、12名の学生に夢みらい応援資金を交付 ・県児童養護施設協議会および県里親連合会等関係機関と連携した、募金活動の実施(1月~3月/募金額: 4,734,615円)</p>	<p>・制度の隙間となっている学生への支援</p>
<p>(7) 民生委員・児童委員活動の支援 ア 相談技法に関する研修会の開催(8/9中・西部、8/10 東部) イ 法定地区民児協会会長研修会の開催(9/28) ウ 主任児童委員研修会の開催(1/25中・西部、1/26 東部) エ 全国大会等参加経費助成事業の実施 オ 市町法定地区民生委員児童委員協議会への訪問指導活動(6/14 沼津戸田地区訪問、10/13 東伊豆地区訪問) カ 県民生委員児童委員協議会の事務受託</p>	<p>・民生委員・児童委員の資質向上 ・住民の地域活動の活性化 ・民生委員児童委員活動の負担感の軽減</p>

推進事項2 意思決定支援を主体とした権利擁護の推進

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの方々が、地域において自立した生活を安心して送ることができるよう、福祉サービスの利用支援を市町社協と協働して行っている。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 日常生活自立支援事業の実施</p> <p>ア 事業利用の可否決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局内審査会の開催（毎月） ・契約締結審査会の開催（4, 7, 8, 10, 11, 1, 2, 3月） ※業務システム切替に伴い令和4年5月のみ中止 <p>イ 事業利用者への支援</p> <p>市町社協による定期・臨時支援の実施（随時）</p> <p>ウ 支援者の育成支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現任専門員研修(3/1)（Zoom、YouTube 配信） 33市町社協専門員対象（参加者49名） 内容：知的障害や精神障害のある利用者の日常的な金銭管理 ・専門員連絡会(5/10)（Zoom、YouTube 配信） 33市町社協専門員対象（参加者35名） 内容：新業務システム操作方法について、今後の流れについて ・新任生活支援員研修（11月）DVD 配布 内容：利用者理解と支援方法（参加者76名） 先輩生活支援員の生きた声をきこう～支援のコツとは？～ ・現任生活支援員研修（2/1）（Zoom、参加者168名） 内容：精神障害の利用者に対する日常生活自立支援事業 ・意思決定支援研修への参加（Zoom、YouTube 配信） 【基礎編】(8/9) 74名、【高齢者編】(9/6) 89名、 【障害者編】(10/4) 88名 <p>エ 権利擁護事業あり方検討委員会（年2回） 法人後見業務システム切替に伴う協議 菊川市社協視察（6/28）</p> <p>オ 県内共通の項目で市町社協による事業体制に係る自己点検の実施（年1回）【新規】 4月末までに33市町社協すべて実施（全53項目） 市町社協事務局長会議で概要を説明</p> <p>カ 市町社協の運営状況の確認・本事業からの成年後見制度の移行促進のための訪問調査の実施（県内市町社協を3年に1回訪問）【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磐田市社協（9/21）、裾野市社協（9/28） 	<ul style="list-style-type: none"> ・判断能力の不十分な方が自身の意思に基づく地域での暮らしを実現させるための支援を推進するとともに権利侵害や財産侵害の未然防止などに寄与している。 ・利用者が安心してサービスを受けられるように支援者の専門性の向上及び支援者間のネットワークの構築を図っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・書類整備体制、決裁状況の項目は93%が問題なし。利用者の40%が専門員対応であり困難事例を抱えていることが明確となった。

<p>富士市社協（11/21）、森町社協（11/28） 袋井市社協（12/5）、伊豆市社協（12/15） 島田市社協（12/23）、松崎町社協（1/12） 西伊豆町社協（1/13）、川根本町社協（11/26） 沼津市社協（1/31）、湖西市社協（2/15） 課職員が2～3名で訪問調査実施、後見制度の移行 困難案件について協議</p> <p>キ 業務の適正化・効率化を図るための業務システム 改修の実施（適宜）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月より kintone へ業務システム切替 ・7月より支援変更の様式、提出方法等の簡素化を図 った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月から支援変更に係る業務の簡 素化を図り、変更審査案件が伸び た。
<p>(2) 成年後見制度利用促進の実施</p> <p>ア 成年後見実施機関設置・運営等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度市町申立に係る実務研修【後日映像配 信有】（基礎編 6/7 当日視聴 99 人 [241 人申込]、 応用編 6/22 当日視聴 89 人 [241 人申込]） ・成年後見制度 意思決定支援に係る実務研修【後日 映像配信有】（基礎編当日視聴 70 人 [173 人申込]、 高齢者編 9/6、障害者編 10/4） <p>イ 成年後見制度利用促進協議会の開催（東部①9/2、 東部②9/7、中部 9/13、西部 9/15、賀茂 3/9）</p> <p>ウ 成年後見制度利用促進のための人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい成年後見制度テキスト改訂 ・成年後見制度理解促進研修会の実施（1/6、1/24） ・成年後見制度理解促進出前講座（4回） <p>エ 持続可能な権利擁護支援モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な権利擁護支援モデル事業企画運営会議 （6/15、8/26、1/12） ・持続可能な権利擁護支援モデル事業企画運営会議・ 実務部会（8/10、12/5） ・静岡家庭裁判所下田支部との意見交換会（2/28） <p>オ 法人後見・市民後見実施社協担当者会議（2/2）</p> <p>【取組報告】社協法人後見と権利擁護支援事業の展開 【基調講義】社会福祉協議会の後見監督に求められる 視点 【研究協議】法人後見・市民後見業務について （参加者 40 名）</p> <p>カ 業務の適正化・効率化を図るための業務システム 改修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の中核機関設置は 31 市町と なっており、制度を必要とする人 が適切に制度に繋がる体制作り を支援出来た。 ・市町社会福祉協議会の法人後見 の業務支援のための業務支援シ ステム等の提供で支援出来た。

<p>(3) 福祉サービス運営適正化委員会事業の実施</p> <p>ア 運営適正化委員会（全体会）の開催 (6/17) 3年度事業報告、4年度事業計画の承認 (12/9) 委員改選後 新委員人事案件 4年度事業報告</p> <p>イ 運営監視合議体の開催 第1回 6/17、第2回 8/26 第3回 12/9、第4回 3/6</p> <p>ウ 福祉サービス利用援助事業実施状況調査 基幹社協（政令市2）、県社協委託市町社協 11</p> <p>エ 苦情解決合議体の開催 第1回 6/17、第2回 8/26、第3回 10/6、 第4回 12/9、第5回 3/6</p> <p>オ 苦情解決申出及び相談等件数（前年比+15） 苦情解決申出 97件(+22)、相談等 35件(△7)</p> <p>カ 事業所に対する苦情解決の巡回支援（通年1回）</p> <p>キ 福祉サービス従事者に対する苦情解決研修会開催 11/11：中部、11/29：東部、11/14：西部 計91名</p> <p>ク 関東ブロック委員長等連絡会・相談員連絡会 10/7 WEB開催に参加（委員長等3名参加）</p> <p>ケ 運営適正化委員会事業研究協議会参加 10/24～11/4 WEB開催に参加（事務局2名）</p> <p>コ 啓発活動の実施（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設等へ掲示、利用者への配布等 配布：ポスター752枚(+187)、リーフレット等774(+159)枚 印刷：ポスター1,000枚 ・運営監視の課題、苦情相談事例等を加えた委員会の「業務の状況及び成果に関する報告（3年度版）」の冊子を作成・配布し広報した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県・市町社協等に対する運営監視業務により、福祉サービス利用援助事業の適正な運営の確保に寄与した。 ・苦情解決申出を受付け、これに対して、助言、話し合いの推奨による解決の支援を行うとともに、必要に応じて事情調査、改善の申入れや行政への通知等を行い、福祉サービスの改善と利用者の権利擁護に寄与した。 ・苦情相談件数は、コロナ感染の鎮静化に伴い、福祉施設・サービスの利用に関する意識が活発化してきたことや適正委員会の知名度の上昇に加え、県内保育園での死亡事故による保育等への危機感の上昇などによるものとみられる。一方、相談件数は生活福祉資金特例貸付の終了により減少した。 ・苦情解決研修会及び啓発活動を通じ、事業者の苦情解決の体制づくりを支援すること等により福祉サービスの質向上に寄与した。 ・苦情解決研修会では、回答者のうち「満足98.8%、やや満足27.4%」の結果を得た。
---	---

実施目標3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

推進事項1 市町社協相互の連絡調整及び基盤強化


市町社協の体制強化、基盤整備を図るとともに、地域福祉を協働して進めるための基礎調査及び個別訪問支援等を進めた。

また、各市町の地域福祉推進における現状や課題、今後の取組について、近隣の市町の関係機関による意見交換の場を設定し、連携強化に努めた。

事業の実績	効果・評価
(1) 市町社協連絡協議会及び部会の開催 ア 幹事会の開催 (7/5) ※Zoom イ 介護保険部会 (2/15) 介護保険事業実態把握のためのアンケート調査実施 ウ 広報啓発部会 (2/2) エ 総務部会 (10/5) オ 相談事業部会 (12/6, 2/6)	<ul style="list-style-type: none"> ・市町社協が抱える課題把握の共有と、市町社協が必要とする研修内容の検討、市町社協の体制強化と基盤整備を行った ・包括的支援体制の構築状況について県内外の事例報告と、地域福祉活動計画の取組状況について意見交換を行い、市町間の進捗を共有した。
(2) 市町社協の基盤強化と活動支援 ア 地域福祉推進ブロック会議の開催【再掲】 (県内5圏域で市町行政と社協が地域福祉推進に向けた協議) 全体会 (6/23) 「包括的支援体制の構築にあたっての参加支援、地域づくりに向けた支援について」 地域別研究会(7/19, 22, 8/4) 「包括的支援体制の構築状況について」 イ 市町社協活動実態調査の実施 (4/1 時点) ウ 市町社協役員便覧の作成 (200部、4月) エ みんなで支える地域福祉促進事業 市町社協における小地域福祉活動に係る担い手づくりへの助成(対象5市町:裾野市、函南町、長泉町、藤枝市、菊川市) オ 地域福祉担当者会議の開催(2/14 18市町33名参加) 「生活福祉資金特例貸付担当者地域福祉担当者による合同会議」 カ 市町社協会長会議の開催(3/6 32市町参加)	<ul style="list-style-type: none"> ・貸付担当と地域福祉担当が一同に会することで借受人へのフォローアップ支援について検討することができた。 ・会長会議では、各市町社協の重点事業を共有し、各市町の今後の人口推移や世帯構成の変化も踏まえた事業実施に向けて助言を受けた。
(3) 調査研究、政策提言の実施 ・県への地域福祉についての提言(8/18)	
(4) 市町社協の個別支援・地区担当制の導入	
(5) 会計処理の適正化とコンプライアンスの徹底 (市町社協監事支援事業の実施)	

推進事項2 人材確保と専門性向上の推進

地域福祉の担い手となる市町社協役職員の人材確保と専門性向上を目的とした体系的な研修を実施した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 階層別、分野別研修及び会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 監事研修会の開催(4/11～6/17 動画視聴による限定配信) イ 新任職員研修の開催 (5/26～5/27 会場開催) 63名参加 ウ 新任事務局長研修の開催(4/21) エ 事務局長会議の開催 (5/20) オ 地域福祉・相談担当者合同会議の開催 (2/14) 33名参加 カ 市町社協会長会議の開催 (3/6) キ 市町社協会計実務研修会の開催(8/5～11/30 まで 動画視聴による限定配信) ク 市町社協決算実務研修会の開催(2/20 より動画視聴による限定配信) ケ市町社協ミドルマネジメント(中間管理職)研修会の開催 (7/27 43名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な組織運営及び事業推進のために職員のスキルアップ ・役員は経営者として組織を牽引するための共通認識が醸成 ・住民主体の地域福祉活動の活性化 ・新たな援助技法習得者と実践成果の増加 ・地区単位におけるコミュニティソーシャルワーク実践者のネットワーク構築
<p>(2) コミュニティワーク研修、コミュニティソーシャルワーク研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ア コミュニティワーク実践者研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・地域アセスメント力等の向上 (12/16) 19名参加 ・課題解決力の向上(担当者会議と合同開催)(2/14) 33名参加 ・プレゼンテーション力の向上 (2/20) 25名参加 イ コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修の開催 (前期:7/15～7/16 オンライン開催、後期:2/17～2/18 集合開催 27名参加) ウ コミュニティソーシャルワーク研修受講者継続研修の実施 (連絡会・スキルアップ研修) (8/22 オンライン開催) 25名参加 	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> コミュニティソーシャルワーク 実践者養成研修会 </div>
<p>(3) 市町社協人事交流及び社会福祉法人と連携した福祉人材確保の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市町社協間人事交流事業の周知 	



地域福祉・相談担当者合同会議(2/14)

推進事項3 社会福祉法人等と協働した地域公益活動の推進

市町社会福祉協議会が核となるネットワーク化の促進により、法人間連携による地域における公的な取組の推進と福祉人材確保の取組を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 市町域のネットワーク構築支援 社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施(12市町)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町担当者会議の開催 (4/28 12市町社協出席) ・BCP 策定支援アドバイザー派遣養成講座 (2/13 10名参加) ・「地域における公益的な取組」実践事例報告会 (3/13 58名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協と複数の社会福祉法人等が参画するネットワークを構築し、制度の狭間にある地域課題解決や、福祉人材確保事業に取り組んだ。 ・市町の事業において運用しているクラウドシステムのアプリ作成や運用について専門家による助言を行い、事業の円滑な実施に寄与した。



西伊豆町社会福祉法人等連携
ネットワーク会議(6/29)




伊豆市社会福祉法人等連絡会
「若者向け人材パンフレットづくり
ワークショップ」(7/6)

基本目標2 地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標1 社会福祉事業者等を支援します

推進事項1 自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人が良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

事業の実績	効果・評価
(1) 社会福祉法人経営者協議会の事務局運営 ア 社会福祉法人経営者協議会の事務受託 正副会長会議（第1回 2/27） 理事会（第1回 5/16、第2回 3/17） 総会の開催（6/23） 経営セミナーの実施（前期 8/29、後期 3/6） 委員会の開催等 イ 県社協事業との連携強化 地域における公益的な取組（部会：第1回 6/30、第2回 2/16） 外国人介護人材の確保、定着 外国人介護人材受入れに係る情報交換会（1/23）	・会員法人の課題把握及び経営全般にわたる質の向上  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 静岡県社会福祉法人 経営者協議会総会 セミナー (6/23) </div>
(2) 福祉施設経営指導事業による専門相談の実施 ア 経営相談の実施（会計、法律、施設サービス、労務：計 266 件） イ 福祉施設経営指導連絡協議会の開催（1/25 開催）	・施設の経営全般にわたる質の向上 ・客観的視点からの事業所経営及び安定化
(3) 経理、労務、施設運営等に関する WEB 研修の開催 ア 社会福祉法人監事監査研修会（4/22WEB 配信 250 施設） イ 社会福祉法人簿記入門講座（6/18WEB 配信 74 施設） ウ 社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座（7/14WEB 配信 97 施設） エ 社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座（8/17WEB 配信 128 施設） オ 社会福祉施設人事・労務管理研修会（8/22WEB 配信 142 名） カ 社会福祉法人予算管理基礎講座（9/16WEB 配信 123 施設） キ 社会福祉法人・施設事務職員会計実務専門講座（10/18WEB 配信 87 施設） ク 社会福祉施設運営管理研修会（3/16WEB 配信 85 名） ケ 社会福祉法人・施設職員税務実務講座（11/15WEB 配信 83 施設） コ 社会福祉法人財務管理講座（12/14WEB 配信 93 施設） サ 社会福祉法人決算実務講座（2/8WEB 配信 152 施設） シ 新設社会福祉法人等運営管理説明会の開催（2/21、5 名）	・社会福祉法人・施設の経営基盤強化と質の高いサービス提供のための、社会福祉法人制度改革も踏まえた、適正な運営管理
(4) 施設借入金元金・利子助成事業の実施 元金助成 153 件、493,678,550 円 利子助成 160 件、21,737,218 円	・新規 3 施設に元金助成を行い、社会福祉施設の整備促進に寄与した。

<p>(5) 社会福祉振興資金貸付事業の実施 特別整備貸付資金 償還元金 1件 8,001,743円 貸付金利子 1件 227,496円</p>	
<p>(6) 民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業の実施 決定件数 56件 助成額 8,746,000円</p>	<p>・地域貢献や人材育成、法人間連携の促進に寄与した。</p>
<p>(7) 福祉サービス第三者評価事業及び社会的養護関係施設第三者評価事業の実施 ア 第三者評価の実施 10件 イ 評価委員会の開催 (5/20、9/14、11/18、12/12、1/30)</p>	<p>・福祉サービス第三者評価事業の適正な実施</p>
<p>(8) 感染症発生施設への応援体制構築事業の実施 ア クラスター対応会議の開催 (4月19日、7月29日、8月4日) イ 派遣調整団体との連携促進 ウ 応援職員派遣時のコーディネート業務 (介護老人保健施設/1名・5日間) エ クラスター発生施設に係る対応映像の作成</p>	

推進事項2 地域における公益的な取組の推進

複数の社会福祉法人が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図るため、社会福祉法人や他法人（医療法人及びNPO法人等）の連携の中核として、特に広域及び市町域の連携を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 県域、広域、市町域における複数法人間連携の推進 ア 地域における公益的な取組等推進 部会の開催(地域における公益的な取組、災害支援体制の構築、人材確保・育成・定着など) ・第1回部会 (6/30) ・第2回部会 (2/16) イ 実践事例の収集、ホームページ、広報紙等による実践事例の発信 ・実践事例報告会 (3/13)</p>	<p>・複数の社会福祉法人が連携・協働して、地域の多様なニーズを把握し、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図った。</p>
<p>(2) 法人単位における取組の強化 ア 実践事例の収集、ホームページ、広報紙等による実践事例の発信 ・ホームページでの実践事例の発信(2件)</p>	<p>・法人単位または複数法人で連携・協働をした取組を報告し、地域における公益的な取組の推進を図った。</p>

推進事項3 社会福祉関係団体への支援

福祉関係団体が、民間性を発揮した活動を展開できるよう支援するとともに、各団体の課題や情報を共有し、お互いの強みや特性を活かし合うことができるよう、広域的な観点から「協働の場づくり」を推進した。

事業の実績	効果・評価
(1) 社会福祉団体等の連携強化 ア 社会福祉団体連絡協議会の開催 ・県健康福祉部長と県社会福祉協議会連絡協議会との懇談会の開催 (9/6) イ 県障害者社会参加推進協議会への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体で取り組んでいくべき重要な課題に対し、解決に向けて協働できる関係性の構築 ・各団体の運営・活動基盤を充実・強化することにより、地域福祉の向上を図った。
(2) 社会福祉団体への財政支援 ア 県民間社会福祉団体運営費の助成 イ 県民間社会福祉活動促進事業費の助成	
(3) ソーシャルアクションの実施 ア 社会福祉に関する県への要望 イ 児童虐待防止静岡の集いへの参画 ・講演会の開催(YouTube 動画配信) ウ 障害を理由とする差別解消推進県民会議への参画 エ「ウクライナ希望のつばさ SHIZUOKA」共同団体参画(4/1) オ「ロシア軍によるウクライナ侵攻」に対する声明(4/18)	



県健康福祉部長との懇談会

実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

推進事項1 福祉サービスの担い手の確保と定着に向けた支援

社会福祉人材センター及び保育士・保育所支援センターの更なる周知を行い、求職者の確保と個別支援の強化を図った。

また、施設・事業所や行政、養成校等の関係機関と連携強化を図り、壮年世代や外国人などを含めた多様な人材確保や就労環境改善に向けた方策の検討及び実践等の取組をとおして、福祉業界が一丸となり、福祉人材の確保を進めた。

事業の実績	効果・評価																		
<p>1 社会福祉人材センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) 無料職業紹介所の運営（本所・東部支所）</p> <p>ア 福祉・介護求人者や求職者からの相談、就労・就職あっせん等 求人・求職登録・就職状況</p> <p>新規求人登録数 12,051人 新規求職登録数 3,703人 就職者数 497人（浜松バンク含む全県668人） （新規）</p> <p>臨時窓口の設置（1月～3月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日時間外（～19:30）11回 窓口来所2人、電話相談7件 土曜日（8:30～17:00）5回 窓口来所5人、電話相談21件 <p>イ 無期雇用就職者の離職状況の確認 （令和3年度就業者）</p> <p>福祉サービス事業所と期間の定めのない労働契約を締結した者が、就職した日から6か月以内に解雇以外の理由で離職したか否かについて確認した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就職から6か月以内に解雇以外の理由で離職した者の数</td> <td>54人</td> <td>16.7%</td> </tr> <tr> <td>在職中</td> <td>227人</td> <td>70.1%</td> </tr> <tr> <td>期間（就職から6か月）の最終日以降に離職した者の数</td> <td>42人</td> <td>12.9%</td> </tr> <tr> <td>解雇により離職した者の数</td> <td>1人</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>324人</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（有効回答数、率：324人、100%）</p> <p>(2) 社会福祉人材センター運営委員会の開催</p> <p>社会福祉人材センターの運営を円滑、効果的に実施するために開催（オンライン併用）</p> <p>日時 令和4年7月14日（木）10:00～12:00</p> <p>場所 静岡県総合社会福祉会館シズウエル</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 委員長の選任について イ 静岡県内の雇用情勢と無料職業紹介事業の実績について ウ 人材課事業について エ 研修課事業について オ 有料職業紹介・人材派遣利用調査結果について カ 保育施設における新卒採用者に関するアンケート調査結果について 	区分	人数	率	就職から6か月以内に解雇以外の理由で離職した者の数	54人	16.7%	在職中	227人	70.1%	期間（就職から6か月）の最終日以降に離職した者の数	42人	12.9%	解雇により離職した者の数	1人	0.3%	計	324人	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に福祉・介護人材の確保が厳しくなっている中、497人の就職者を確保できた。 ※浜松市福祉人材バンクを含め668人 全国1位 ・就職活動が本格化する時期に臨時窓口を設置し、勤務の都合で時間が取れない方等の利便性を図ることができた。
区分	人数	率																	
就職から6か月以内に解雇以外の理由で離職した者の数	54人	16.7%																	
在職中	227人	70.1%																	
期間（就職から6か月）の最終日以降に離職した者の数	42人	12.9%																	
解雇により離職した者の数	1人	0.3%																	
計	324人	100.0%																	

(3) 福祉人材マッチング機能強化事業の実施

求職者のニーズに適した職場開拓や従事者が働きやすい職場環境作りのための事業者支援などを行っている。

ア キャリア支援専門員の設置 5人

ハローワークや他機関の就職フェア等での出張相談、施設・事業所訪問、求職者・求人者への個別支援等を実施

- ・施設訪問： 214 か所
- ・マッチング就職者数： 303 件
- ・マッチング支援者数： 668 件

<ハローワーク出張相談会>

開催場所	開催回数	求人相談(件)	求職者相談(件)	求職票受理(件)	採用人数(人)
下田	3	0	1	1	1
伊東	6	0	16	2	0
三島	12	0	29	13	2
沼津	12	0	53	7	4
御殿場	6	0	26	9	6
富士	12	0	43	17	2
富士宮	6	0	15	6	0
清水	12	5	25	8	4
静岡	12	2	142	50	9
焼津	12	0	36	18	4
島田	12	0	24	5	2
榛原	6	0	18	7	3
掛川	6	0	11	6	4
磐田	6	1	12	6	0
計	123	8	451	155	41

<福祉の仕事ガイダンスの実施>

- ・静岡県立短期大学（1回 参加者 47人）
- ・静岡福祉大学（2回 参加者 153人）
- ・静岡英和学院大学（1回 参加者 22人）
- ・ハローワークの求人者向け（53回 参加者 610人）
- ・ニチイ学館沼津教室（2回 参加者 23人）
- ・介護労働安定センター（1回 参加者 42人）
- ・介護職員実務者研修受講者（1回 参加者 41人）
- ・静岡市介護職員初任者研修受講者（2回 参加者 38人）

・キャリア支援専門員により求人者や求職者への個別支援による人材確保の促進に取り組んだ。

・就職氷河期世代、シニア世代、UIJターン希望者を含めた求人、求職者を開拓した。

<合同説明会（その他の相談会）>

内容	主催	人数
介護・福祉のお仕事ミニ相談会	NEXT ワークしずおか	26
静岡まるごと移住フェア	静岡県	201
第1回大学生等就職フェア	静岡労働局	29
ぬま JOB フェア	沼津市	44
第2回大学生等就職フェア	静岡労働局	62
シニア向け仕事相談会	起雲閣（熱海市）	32
介護労働講習受講生向け介護施設説明会	静岡労働局	53
若年者のための地元就職フェア	静岡労働局	130
三島市シニア向けお仕事相談会	静岡県・三島市・ジョブステーション	43
高校生 JOB フェア	静岡労働局	221
沼津市シニア向けお仕事相談会	沼津商工会議所	25
若年者就職フェア	静岡労働局	55
世話人等業務セミナー&合同説明会	静岡県知的障害者福祉協会	25
外国人のための介護の仕事の面接会	静岡県労働雇用政策課	6
計		952



中山間地域以外の情報発信事業
介護・福祉のお仕事ミニ相談会
NEXT ワークしずおか主催
<札の辻クロスホール>
(6/25 静岡市)

イ 専門アドバイザーの設置

（公認会計士、社会保険労務士に委嘱）

人事管理や労務管理及び経理事務等に関する専門的な相談会の実施

<相談件数>

（単位：件）

区 分		東部	中部	西部	計
公認会計士	事業所	-(68)	131(51)	-(12)	131
社会保険労務士(3名)	事業所	5	31	14	50
	従事者	4	3	2	9
計		9	165	16	190

- ・公認会計士相談 月1回（中部地区のみ）計12回
- ・社会保険労務士相談 東部・西部隔月1回、中部月1回 計24回
- ・相談件数は、相談会場別件数、（事業所所在地別件数）の順で記載

・介護補助等の求人を出す法人が出展した「NEXT ワークしずおか」が主催する働きたいシニア向けの介護・福祉のお仕事ミニ相談会に参加した。また、「ふじのくにに住みかえる推進本部構成団体」として参画し、行政等と連携し、静岡県への移住・定住の促進に向けて、県外での相談会に参加した。

・人事、労務、経理事務の正しい理解と職場環境改善を促進した。

・社会保険労務士相談は、令和3年度から、オンラインでの相談も可能となり、今年度は昨年より1件多い10件の利用があった。

ウ 社会福祉人材センター情報発信事業の実施

伊豆の国市社協が開催する福祉・保育のおしごとフェアや社会福祉法人天竜厚生会が開催している静岡県生活困窮者支援事業等の協力を得て、地域住民に向け社会福祉人材センターの取組みの紹介や介護補助業務等の紹介を行った。

また、他機関が実施する初任者研修や関係機関のイベント等での周知活動も行った。

・県内広い地域における社会福祉人材センターの周知と求職者の確保に取り組んだ。

・新型コロナウイルス感染症予防対策によって、市町村社協が開催する事業等の機会が少なかったが、働きたいシニアや生活困窮者等を対象にした事業の他に行政等が実施する初任者研修等の機会を通じて周知活動を実施した。

◎ 中山間地域

市町名	開催名称	開催日	参加人数
伊豆の国市	令和4年度福祉・保育のおしごとフェア(伊豆の国市社協主催)	6/25	19人
浜松市天竜区	静岡県生活困窮者等就労準備支援事業「就労意欲向上合宿」	9/20	2人
御殿場市	シニア面接会	9/27	36人
浜松市天竜区	静岡県生活困窮者等就労準備支援事業「就労意欲向上合宿」	11/21	3人
浜松市天竜区	静岡県生活困窮者等就労準備支援事業「就労意欲向上合宿」	2/6	4人
御殿場市	2023 春御殿場市合同企業ガイダンス	3/3	110人
	計		174人



中山間地域情報発信事業
 <伊豆の国市アクセスかつらぎ>
 (6/25)

◎ 中山間地以外

市町名	開催名称	開催地	参加人数
静岡市	第1回静岡市介護職員初任者研修講座	10/13	22人
静岡市	第2回静岡市介護職員初任者研修講座	11/28	16人
沼津市	ギャラリー展示沼津産業ビル1階	11/1~10	30人
静岡市	介護に関する入門的研修「介護講座」	11/10	23人
	計		91人

エ ミニ就職相談会の開催

小規模な相談会を開催し、求職者が求めている詳細な労働条件や施設・事業所の雰囲気を伝えることにより、求人・求職のマッチングを図った。

地区	開催回数	参加法人	求職者数	延相談数	採用人数
中部	7回	45法人	203人	270件	38人
東部	9回	65法人	118人	197件	15人
西部	2回	11法人	9人	20件	6人
オンライン	3回	7法人	7人	7件	0人
計	21回	128法人	337人	494件	59人

オ 求職者向けの施設見学(オンライン)の実施

事業所の協力のもと求職者施設の説明を聴き見学できる場を提供し、福祉への理解を深め求職者が自分に適する就労先を検討することを目的にZOOMや動画による施設見学等を企画・実施した。

(採用者数 7人)

開催日	地区	会場	参加人数
5/24	静岡市	シズウエル	15人
6/16	藤枝市	Bivi 藤枝	5人
6/29	三島市	三島商工会議所	9人
8/6	浜松市	サーラシティ浜松	10人
8/20	沼津市	プラサヴェルデ	13人
9/27	静岡市	シズウエル	11人
10/21	静岡市	清水テルサ	3人
11/15	島田市	ハローワーク島田	6人
11/25	焼津市	焼津文化会館	9人
12/16	富士宮市	きらら富士宮	8人
12/21	磐田市	ハローワーク磐田	10人
1/24	静岡市	シズウエル	5人
1/25	掛川市	ハローワーク掛川	21人
2/26	静岡市	グランシップ	10人
3/11	沼津市	プラザヴェルデ	15人
		合計	150人

(4) 福祉の就職相談会の開催

【他業種からの転職者や学生等、幅広いターゲット向け】

① 就職相談会(対面式6回+オンライン開催2回)

ア 対面方式開催

7月17日(日) グランシップ(参加者103名)

8月6日(土) サーラシティ浜松(参加者58名)

8月20日(土) プラサヴェルデ(参加者69名)

2月26日(日) グランシップ(参加者86名)

3月9日(木) 浜松市福祉交流センター(参加者72名)

3月11日(土) プラサヴェルデ(参加者92名)



ミニ就職相談会
＜シズウエル＞
(10/5)

- ・参加者からは、「コロナ禍で制限がある中、現場で働く職員の話の聞いた。職員と利用者の関わり方が見れた。」「施設の違いがよく分かった。」などの声が多く好評だった。
- ・新規にハローワークで開催したこともあり参加人数が前年より30人余り増え、採用人数も4割増えた。



求職者向け施設見学会
ZOOMを利用した施設内紹介
＜シズウエル＞
(5/24)



福祉の就職相談会
＜グランシップ 海＞
(7/17)

- ・従来の対面式相談会の開催に加え、昨年度からオンラインイベントツールを

イ オンライン開催

リアルイベントのような雰囲気、相談ブースへの選択や着席、セミナーやプレゼンテーションの聴講等をオンライン上で実施できるようにした。

10/22 GALIMO (参加者 16 名) 2/4 GALIMO (参加者 21 名)

② 求人PRサイトの運営(通年)

③ 合同企業説明会(5回)

- ・企業PRでのプレゼンテーションの実施
- ・「福祉のお仕事紹介コーナー」のブース出展

使った相談会も企画し、遠方の学生の参加を促進した。

- ・多業種の就職相談会等にも参加し、福祉の仕事に元々関心がない層に魅力をPRした。



新卒のかんづめ相談ブース
<グランディエール>
(6/12)

	開催日	内容	会場	対象	PRタイム参加 (ブース参加)
①	5/23	新卒のかんづめ	グランシップ	大学4年生	20人(3人)
②	6/12		グランディエール	大学3年生	104人(13人)
③	10/10		グランシップ	大学3年生	34人(4人)
④	11/2.7	就活カフェ	NANA-SHOKU	大学生	8人
⑤	11/11.18	就活カフェ	NANA-SHOKU	大学生	9人
		計			175人(20人)

【大学生向け(大学での出前講座)】

大学等と連携して、学生が福祉職に興味を持てるような内容のセミナーや就職相談会を開催する。(ゲストスピーカーの派遣、出張相談会等)

- ・大学等の授業に、福祉施設職員や市町社協職員をゲストスピーカーとして派遣し、福祉の仕事の魅力を直接学生に伝えた。

	開催日	学校・学科	区分	人数
①	4/12	浜松学院大学子どもコミュニケーション学科	セミナー	4年生 18人
②	7/1	静岡県立大学短期大学部	相談	1年生 1人
③	7/6	小田原短期大学保育学科	セミナー	1年生 42人
④	7/14	静岡英和学院大学	セミナー	1~3年生 82人
⑤	10/28	湘南日本語学園浜松校	セミナー	留学生 31人
⑥	11/7	静岡県立大学短期大学部	セミナー	2年生 23人
⑦	11/9	常葉大学教育学部生涯学習学科	セミナー	2年生 43人
⑧	11/14	静岡県立大学短期大学部	セミナー	2年生 23人
⑨	11/16	常葉大学教育学部生涯学習学科	セミナー	2年生 43人
⑩	12/7	静岡県立大学経営情報学部	セミナー	3年生 50人
⑪	3/7	中央歯科衛生士専門学校	セミナー	1年生 34人
		計		390人



- ・福祉系大学の学生には、福祉現場で活躍する先輩から話を聞き、より一層福祉現場への入職を後押しする機会となった。

- ・福祉学科以外の学生には、福祉の仕事に関心を持つきっかけとなった。

(5) 福祉の職場体験事業の実施（目標 1,000 人日）

福祉・介護の職場に就職を希望・検討する求職者
や福祉系学校に進学希望・関心のある中学生以上の学生を対象に
した職場体験を実施した。

地 区	東部	中部	西部	合計
延受入施設（箇所）	57	171	18	246
体験人数（実人数）	53	151	17	221
延体験日数（日）	149	368	41	558

(6) 介護職員復職支援事業

結婚、出産等で離職した介護職経験者の掘り起こしを行い、
復職希望者の復職支援を実施

- ・介護職経験者の掘り起こしのための広報
- ・介護職復職者の事例動画の作成
- ・介護福祉士等の届出システムへの登録促進
- ・復職前研修の開催
- ・復職希望者の希望に沿った事業所との個別マッチング
- ・復職後のサポート(早期離職防止)

ア リーフレット等による制度の周知

- ・セミナー周知用チラシの作成、配布（21,000 枚）
- ・事業周知用リーフレットの作成、配布（5,000 枚）

・動画広告

スマートホン、タブレット、YouTube 動画広告

10/1（金）～11/30（火）

- ・静岡新聞夕刊中部版広告掲載（11/10 発行）

配布部数 235,800 部

島田市、静岡市、焼津市、藤枝市、川根本町、牧之原市、
吉田町

- ・むるぶ広告掲載（令和 4 年 11 月号）

配布部数 82,000 部 10/25 発行

焼津市、藤枝市新聞朝刊折込

- ・テレビ CM 放映 11/1～11/30

民法 2 局 112 本 パブリシティ 4 本

- ・情報誌アイデムへの掲載（セミナー周知）

令和 4 年 7 月 24 日発行 各 100,000 部

浜松市・湖西市・磐田・袋井・掛川・浜北区周辺

令和 4 年 8 月 7 日発行 各 100,000 部

富士・富士宮・沼津・三島・御殿場・伊豆周辺

・求職者の希望を反映した職場体験を調整し、きめ細かな就労支援につなげるとともに、中高生からは、将来の職業選択肢の 1 つとして、福祉職の魅力を感じ、前向きに捉える感想が多くあった。

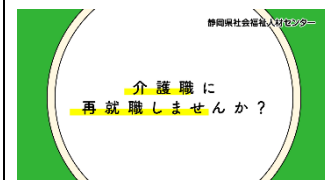
・コロナ禍の影響で、実績は 558 日にとどまったが、申込日数は 978 日であり、コロナ禍前と同水準の申込があった。

・離職介護経験者の復職支援による介護職員の確保に寄与した。

・新たにテレビ CM や、実際の復職者の紹介動画を制作し、WEB 広告等で幅広く県民に、事業の周知、利用促進を図った。



事例集



動画広告



テレビCM

イ 復職前研修

「介護のシゴト復職応援セミナー」の実施 (30回)

- ・中部 4/21、6/23、7/15、8/25、10/5、10/22、11/22、12/20
2/4、2/26、3/2、3/14
- ・東部 5/18、5/20、7/15、7/20、7/19、8/20、9/17、9/21、
11/16、1/18、1/20、3/11、
- ・西部 5/23、7/21、8/6、9/22、11/10(木)、3/9(木)

ウ マッチングの実施と復職後のサポート

	支援者数	採用数	復職者数
人数(人)	1,508	114	112

(7) 静岡県福祉職合同入職式(～入職者のための合同研修会～)の開催

ア 合同入職式：3月

県内福祉施設に次年度4月採用の新規入職者を対象にした入職式・研修会の開催

地区	会場	開催日
東部	プラサヴェルテ	3月3日
中部	グランディエールブケトカイ	3月7日
西部	ホテルクラウンパレス浜松	3月10日

イ フォローアップセミナー

令和2年、令和3年及び令和4年開催の合同入職式参加者を対象としたセミナーの開催

地区	会場	開催日
東部	プラサヴェルテ	11月17日
中部	シズウエル	11月24日
西部	サーシティ浜松	12月15日

2 事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施

(1) 事業所の採用担当者等とのWEB会議の開催

- 8/4 福祉系養成校・福祉施設等意見交換会【高校】
- 8/19 福祉系養成校・福祉施設等意見交換会【大学・専門学校】
- 2/10 福祉施設から養成校への提案(連携できること)

(2) 課題解決に向けた実践

ア 調査研究の実施

- 4月 福祉系養成校進路実態調査の実施
- 6月 有料職業紹介・人材派遣利用調査及び、就職活動に向けた
動機調査の実施

イ 大学生の福祉施設でのアルバイト・インターンシップに係るポータルサイトの作成



復職前研修の様子

(8/25)

- ・3年ぶりにオンラインから対面での開催となり参加者同士の活発な交流が見られた。
- ・新規採用職員の資質とモチベーションの向上に寄与した。



福祉職合同入職式

(3/7)

- ・福祉・介護職場における職員の定着を促進した。
- ・養成校に対する調査、及び施設職員を交えての意見交換会を実施し、ネットワーク化を図った。
また、課題となっている有料職業紹介の利用状況について実態調査を行った。

<p>(3) 福祉人材確保実践セミナーの開催 (ZOOM、2回)</p> <p>法人での人材確保・定着に向けた課題や社会情勢に対応するために必要となるテーマにより開催した。</p> <p>対象：社会福祉法人及び福祉・介護事業所の職員</p> <p>①福祉機器を用いた腰痛対策・環境整備 WEB セミナー ～職場定着に向けて～</p> <p>日時：7月22日(金) Zoom 開催</p> <p>講師：常葉大学保健医療学部作業療法学科講師 村岡 健史 氏 ほか</p> <p>参加：74台(PC接続台数)</p> <p>②介護・福祉業界の採用PR・情報発信力向上 WEB セミナー</p> <p>日時：10月17日(月) Zoom 開催</p> <p>講師：㈱Blanket 代表取締役 秋本 可愛 氏</p> <p>参加：76台(PC接続台数)</p> <p>③介護・福祉業界の採用PR・情報発信力向上研修(WEB)</p> <p>日時：1月17日(火) Zoom 開催</p> <p>講師：㈱Blanket 代表取締役 秋本 可愛 氏</p> <p>参加：32台(PC接続台数)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉人材確保・定着に関連したセミナーを開催し、採用担当者等への知識付与・啓発に努めた。
<p>3 他機関との連携による外国人福祉人材等の雇用・定着支援</p> <p>(1) 外国人介護人材サポート事業</p> <p>ア 職場訪問 (訪問目標数50か所)</p> <p>外国人介護職員を採用している介護事業所を巡回し、従事する外国人介護職員と面談して、職場への適応状況等を把握</p> <p>53事業所、75人の外国人職員を訪問</p> <p>イ 研修交流会の開催 (県内16回)</p> <p>外国人介護職員のコミュニティ形成を図り、職場定着するように研修交流会を開催する。</p> <p>9月 (ハイブリット開催)</p> <p>: 国別にて8回 参加者計72人</p> <p>2月 (ハイブリット開催)</p> <p>: 国別にて8回 参加者60人</p> <p>ウ 支援策検討会議</p> <p>事業開始から2年間の巡回訪問にて、「介護の仕事において、専門用語の日本語(漢字)の理解が困難」との訴えが多かったことから、有識者による検討会議を行い、教材作成等の支援策を検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施回数：4回 (8/10、11/8、12/13、3/6) 会議構成：6人 (大学教員2人、施設職員2人、日本語学校教職員2人) 協議内容 <p>① 研修交流会の改善 (通訳・資料の翻訳など母国語フォローの充実、国家資格の理解促進)</p> <p>②教材情報の集約を開始 (県社協 HP 内にコーナーを設置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県内の外国人職員が安心して働くことができる環境づくりを推進した。 過去2年での事業実施を踏まえ、外国人本人の職場定着に資するための支援策検討を開始した。 <div data-bbox="1082 1373 1407 1615" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1070 1626 1407 1767" data-label="Caption"> <p>研修交流会 ミャンマー国籍の会 (9/7)</p> </div>

4 保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進

(1) 保育士・保育所支援センターの運営

就職支援コーディネーターの配置 4人

ア 事業所の保育士募集、求人に関する相談対応

イ 訪問による保育所等の方針や求人の把握

ウ 潜在保育士の就労に関する相談対応、潜在保育士への情報発信の強化、LINEでの相談対応

エ 求職者のニーズに合った就職先の紹介、あっせん

オ 保育士資格の取得等に関する相談対応

カ 求人者、求職者のマッチングの強化

キ 支援対象を保育士以外の保育補助者等に拡大

ク 現職保育士に対する、就労継続に向けた相談支援の実施

ケ 【新規】現職保育士に対する、就労継続に向けた SNS を活用した社労士等による相談支援の実施（静岡県）

コ 保育現場の魅力発信（HP、SNSによるコラム配信）

HP、SNS等によるコラム毎月配信。配信回数 各12回

【新規】（静岡市）中高生向け冊子作成・配布 10,000部

区分	求人相談	求職相談	新規求人登録数	新規求職登録数	就職者数
保育士	625件	1,259件	701件 1,325人	1,070人	78人
保育補助	57件	170件	46件 186人	318人	12人
計	682件	1,429件	747件 1,511人	1,388人	90人

(2) 保育就職説明会の開催

求職者（保育士）と雇用者（保育施設）が一堂に会する機会を提供し、保育の職場に就労を希望する者の就職活動を支援

地区	会場	開催日	参加人数
中部1	グランシップ（静岡市）	7/17	73人
WEB 東部	オンラインツール REMO	10/27	60人
WEB 静岡市	オンラインツール REMO	10/31	30人
WEB 中・西部	オンラインツール REMO	11/11	25人
中部2	グランシップ（静岡市）	1/21	40人
東部	プラサヴェルデ（沼津市）	1/15	75人
西部	アクトシティ浜松（浜松市）	1/28	38人
合計			341人

- ・保育士78人、保育補助12人の就職に結びついた。
- ・活躍している保育士や保育所の取組の紹介や、「保育士のほっこりエピソード」等をSNSで発信し、保育職の魅力発信を行った。
- ・中高生向け漫画冊子を静岡市と共同で作成し、静岡市の中学校、高校へ配布し保育の魅力発信を行った。



中高生向け冊子（静岡市）

- ・コロナ禍で施設訪問などに制限がある中、対面での就職相談会を実施し、現場職員から直接話が聴ける貴重な機会を提供できた。
- ・潜在保育士等への就職支援による保育人材の確保につなげた。



就職相談会
＜グランシップ＞
(7/17)

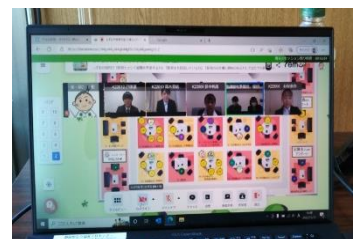
(3) 潜在保育士職場復帰支援研修の開催

潜在保育士等を対象に、復職への不安を緩和し再就職への意欲を高めるための研修を開催

※保育就職説明会と同日開催

・対面式 4回（静岡市内2回）・WEB 3回

地区	会場	開催日	参加人数
中部1	グランシップ (静岡市)	7/17	40人
講師：浜松発達相談支援センタールピロ所長 内山敏 氏 内容：「気になる子への対応について」			
WEB 東部	オンラインツール REMO	10/27	60人
WEB 静岡市	オンラインツール REMO	10/31	30人
WEB 中・西部	オンラインツール REMO	11/11	25人
講師：(合) キョウイクデザイン 教育アドバイザー 増田 実菜 氏 内容：「就活の軸」を持とう！自分に合った園選び			
中部2	グランシップ (静岡市)	1/21	52人
東部	プラサヴェルデ (沼津市)	1/15	73人
西部	アクトシティ浜松 (浜松市)	1/28	33人
講師：おくら政佳 氏 内容：“「自分」と「子ども」の未来をつくる、保育士の働きかた”			
	計		313人



保育のお仕事フェアオンライン<REMO>
(11/11)

・現場に必要な知識として活用できた。



就職応援セミナー
<グランシップ>
(7/17)



就職応援セミナー
<プラサヴェルデ>
(1/15)

(4) 出張相談会の開催

ハローワークや行政等が実施する就職相談会への出張相談会の実施（県6回 静岡市7回）

回数	地区	会場	開催日	参加人数	ミニセミナー講師
1	静岡市	HW 静岡	5/12	17人	竜南こども園 園長 太田嶋俊彦 氏
2	中部	HW 榛原	5/25	7人	菅山保育園 園長 増田 知恵 氏
3	静岡市	HW 清水	6/15	10人	ふたば保育園 園長 加藤 伸子 氏
4	中部	HW 掛川	7/6	3人	桜木こどもの森 園長 岡田 博次 氏
5	静岡市	静岡市 駿河区役所	9/7	15人	静岡市立西奈こども園 園長 海老名恭子 氏
6	静岡市	静岡市 清水区役所	9/22	15人	静岡市立興津北こども園 園長 細田 知里 氏
7	東部	HW 富士宮	10/19	10人	野中こども園 副園長 中村章啓 氏
8	静岡市	HW 静岡	11/10	11人	だきしめこども園 園長 小林かおり 氏
9	静岡市	Bivi 藤枝	11/16	2人	わかばみや保育園 園長 中原 直子 氏
10	東部	HW 沼津・ 三島	12/6	12人	こころね保育園 hagu 園長 後藤 尋子 氏
11	静岡市	HW 清水	12/14	6人	えじり保育園 園長 井出 孝太郎 氏
12	西部	i プラザ 磐田	1/19	9人	向笠幼稚園 園長 山本 裕子 氏
13	静岡市	HW 静岡	2/15	11人	城北保育園 園長 松田 剛 氏
			計	128人	

*HW=ハローワーク

(5) 保育現場体験事業

保育士及び資格取得見込者を対象に、保育所等での現場体験を実施（令和4年4月～令和5年2月末）

対象：保育士又は幼稚園教諭

保育士資格又は幼稚園教諭免許取得見込者

体験先：県内保育所及び静岡市内公立こども園等

地区	東部	中部	西部	合計
延受入施設（箇所）	40	15	2	57
体験実人数（一般）	1	6	2	9
体験実人数（学生）	39	4	0	43
延体験日数（日）	42	24	3	69
静岡市立こども園 見学人数（実人数）	0	1	0	1
延見学日数（日）	0	1	0	1
採用数	0	4	0	4

- 出張相談会では事業所と直接話ができ、活発な就職活動につながった。
採用数 10人



< 静岡市駿河区役所 >
(9/7)

- 保育現場の理解促進と人材の誘導を行った。
体験者からは「体験を通し保育者としての実感が湧いた。」「子ども達との1日がとても濃い時間となり、早く保育者になりたいと感じた。」などの意見があった。

(6) 保育士・保育所支援センター登録システム及びホームページの管理運営、離職保育士届出制度の周知

しずおか保育士・保育所支援センターホームページ

<http://shizuoka-hoiku.jp/>

<平成 29 年 3 月開設・平成 30 年 11 月リニューアル>

離職保育士届出数	213 人(令和 5 年 3 月末現在)
----------	----------------------

(7) 放課後児童支援員の人材確保支援

保育士資格を有する放課後児童支援員の人材確保について、求職者と求人者からの相談対応や勤務条件等のマッチングを実施

求人相談	求職相談	新規求人登録数	新規求職登録数	就職者数
11 件	11 件	17 件 (83 人)	15 人	1 人

(8) 保育士養成施設連絡会の開催

保育士を取り巻く状況の共有、早期離職の解消に向けた仕組みの検討や保育士の職場定着を目的に情報共有を実施

第 1 回：8 月 8 日 (月)

第 2 回：3 月 13 日 (月)

※ 1 回目：①調査の報告・意見交換

- ・県内保育所等(公立園除く)対象
「新卒採用内定後の「事前研修」現状調査」

- ・令和 4 年度新卒採用職員対象

「就職先選びのポイントアンケート」

(調査時期：令和 4 年 5 月 2 日から 6 月 13 日)

※ 2 回目：①調査の報告

- ・保育連合会主催の新任職員研修会参加者対象(中、西部)

- ・令和 5 年度新卒採用職員対象

「就職先選びのポイントアンケート」

(調査時期：令和 5 年 2 月)

②保育の不適切事例についての意見交換と県の取組報告

(9) 【新規】SNS(LINE)による相談窓口の設置、情報発信

SNS(LINE)のアカウントを開設し、求職・求人相談窓口とし、必要に応じて社会保険労務士など、専門家による助言を行う。併せて、登録者に対して、保育に関する制度や資格、就労等の情報発信を行った。

- ・登録者数 166 人

- ・相談件数 102 人

※内 7 件 社会保険労務士による助言

- ・情報発信 45 件



離職保育士届出案内チラシ



放課後児童クラブ案内チラシ

- ・保育職の魅力発信、職場定着について保育士養成施設や保育士会等と課題解決に向けて協議した。



保育 LINE 相談チラシ

- ・LINE 相談窓口設置により、匿名性の高い相談が増えた。勤務保育士から、保育現場が抱える問題や現状の相談があり、社会保険労務士や行政等の関係機関へ繋いだ。

5 保育士、介護福祉士等の資金貸付事業の実施

(1) 介護福祉士修学資金貸付事業

ア 介護福祉士修学資金

介護福祉士養成施設に在学する者及び実務者研修受講者に対し、授業料等の貸付を行った。

資金種類	貸付人数	貸付金額
修学資金(在学者)	98人	73,669,800円
実務者研修受講者	64人	11,577,225円

イ 再就職準備金

離職した介護職員が介護職員として勤務する際に、再就職準備金の貸付けを行った。

・貸付人数 54人 貸付金額 21,500,000円

ウ 障害福祉分野就職支援金

研修終了後障害福祉職員として就職する際に、就職支援金の貸付を行った。

・貸付人数 4人 貸付金額 800,000円

エ 福祉系高校修学資金

福祉系高校に在学する者に対し、介護実習費等の貸付を行った。

・貸付人数 36人 貸付金額 6,040,000円

オ 福祉系高校返還充当資金

障害福祉分野の介護職で就職した、福祉系高校修学資金の借受人に対し、福祉系高校修学資金を返還し介護福祉士修学資金貸付事業に貸付の移行を行った。

・貸付人数 6人 貸付金額 1,620,000円

(2) 保育士修学資金等貸付事業

ア 保育士修学資金

保育士養成施設に通う学生に対し、授業料等の貸付けを行った。

・貸付人数 627人 貸付金額 446,970,772円

イ 保育補助者雇上費

保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の一部について貸付けを行った。

・貸付人数 7人(7施設) 貸付金額 15,289,404円

ウ 保育料の一部

未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際、未就学児の保育施設利用料の一部について貸付けを行った。

・貸付人数 55人 貸付金額 8,738,000円

エ 就職準備金

潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際の就職準備金の貸付けを行った。


・貸付人数 41人 貸付金額 16,300,000円

オ 子どもの預かり支援事業利用料金の一部

未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際、未就学児の預かり支援に関する事業所を利用した場合の利用料金の一部について貸付けを行った。




・県内の介護施設等への有資格者の就職促進と定着

・保育人材の確保
 ・保育士の雇用管理・労働環境の改善
 ・潜在保育士の職場復帰促進

<p>(3) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業 児童養護施設等を退所し、就職または進学した児童等に対し、家賃相当額や生活費、資格取得費を貸し付けることにより、自立を支援した。</p> <table border="1" data-bbox="245 349 911 517"> <thead> <tr> <th>資金種類</th> <th>貸付人数</th> <th>貸付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活支援費</td> <td>3人</td> <td>1,800,000円</td> </tr> <tr> <td>家賃支援費</td> <td>5人</td> <td>1,692,400円</td> </tr> <tr> <td>資格取得支援費</td> <td>6人</td> <td>1,500,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) ひとり親家庭訓練促進資金貸付事業 ア 入学準備金・就職準備金 高等職業訓練促進給付金を活用し、看護師等の就職に有利な資格を取得するため養成機関に入学し卒業後その資格を利用し就労自立を目指すひとり親について、入学準備金・就職準備金の貸付を行った。 ・入学準備金 貸付人数6人 貸付金額3,000,000円 ・就職準備金 貸付人数3人 貸付金額600,000円 イ 住宅支援資金 母子父子自立支援プログラムを策定し、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対し、住宅支援資金の貸付を行った。 ・貸付人数76人 貸付金額19,179,800円</p>	資金種類	貸付人数	貸付金額	生活支援費	3人	1,800,000円	家賃支援費	5人	1,692,400円	資格取得支援費	6人	1,500,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所児童等の自立の推進 ・施設退所者等の退所後の安定した生活基盤の確立 ・ひとり親家庭の経済的自立 ・看護師等の人材確保
資金種類	貸付人数	貸付金額											
生活支援費	3人	1,800,000円											
家賃支援費	5人	1,692,400円											
資格取得支援費	6人	1,500,000円											
<p>6 県ホームヘルパー連絡協議会の事務受託</p> <p>(1) 全体研修会の開催 ①訪問介護計画書の作成 10/26～11/13 配信 30人</p> <p>(2) 一般研修会の開催 ①コロナ禍での訪問介護事業 7/1～7/18 配信 59人 ②口腔ケア 9/26～10/16 配信 22人 ② 難病の方とのコミュニケーション 12/6 (シズウエル) 8人 ④メンタルヘルス (12/9～12/27 配信) 31人</p> <p>(3) サービス提供責任者研修会の開催 ①BCP 策定フォローアップ研修 7/15～7/31 配信 51人 ②介護報酬改定事項のポイント及び運営上の留意点 8/15～8/31 配信 29人</p>  <p style="text-align: center;">第3回一般研修会 (12/6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会を実施することにより、訪問介護員の資質向上につながった。 ・訪問介護員の仕事の魅力を情報発信するなどの広報啓発活動を行い、訪問介護員の人材確保を図った。 												
<p>7 福利厚生センターの事務受託</p> <p>ア 業務推進委員会の開催 イ 会員交流事業及び地域開発メニューの実施 ウ 会員加入等促進活動の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設職員の職務に対する意欲向上につながった。 ・施設職員の定着率の向上を図った。 												

推進事項2 福祉業界・仕事の魅力発信

将来の福祉・介護従事者の確保を目的として、小、中、高校生を対象に福祉・介護職のイメージアップを図るための出前講座（セミナー）や体験ツアーを実施するとともに、一般的に持たれている福祉・介護の仕事に対する漠然とした不安やイメージを払拭できるよう、WEB高校・SNS等を利用した広報により福祉・介護職の魅力発信を行い、効果的に福祉人材の確保につなげた。

事業の実績						効果・評価	
1 福祉教育・仕事理解の講座等による若年層や教員、保護者等への浸透 (1) 福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施 (4月～2月 県内小学校・中学校・高等学校等) ア 県内の学校を訪問し、福祉・介護の仕事について興味・関心、理解を深める出前講座を実施 <実施状況>						・昨年度に引き続き、コロナ禍で福祉体験ができない代替案としてセミナーへの依頼が増えた。福祉・介護職（場）への理解促進と将来を担う世代の福祉・介護人材の安定的な参入を促進した。	
校種別	種別	申込数		実施数		キャンセル	
		校数	回数	校数	回数	校数	回数
小学校	公立	62	113	58	107	1	1
	私立	1	2	1	2	0	0
	計	63	115	59	109	1	1
中学校	公立	25	61	25	62	0	0
	私立	0	0	0	0	0	0
	計	25	61	25	62	0	0
高等学校	公立	10	14	10	12	0	0
	私立	3	8	3	8	0	0
	計	13	22	13	20	0	0
合計		101	198	97	191	1	1
イ セミナーの資質向上のための講師意見交換会 2/28 オンライン開催 セミナー講師 27人						 <p>福祉のお仕事魅力発見セミナー <浜松市立中ノ町小学校> (6/22)</p>  <p>福祉のお仕事魅力発見セミナー 講師意見交換会 (2/28)</p> 	
(2) 保護者向け啓発資料の作成、配付 ・資料作成 10,000部							

2 福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施

(1) 福祉のしごと学び体験ツアーの実施

介護ロボットや情報通信技術（ICT）活用の福祉機器の見学と体験、リモート施設見学会、現役の福祉系大学・専門学校生からのメッセージを通して、福祉の仕事の魅力や、やりがい等を発信した。

<実績>

地区 会場	日程	法人名等	参加 人数
西部 サーラシティ浜松	7/28	(福)ほなみ会、(株)レンティック 中部、(福)復泉会、 聖隷クリストファー大学	21人
東部 ブラサヴェルデ	8/2	(福)ウェルネスケア、(有)ライフ・ ケア・サービス、(医)志仁会 大原介護福祉専門学校沼津校	23人
中部 シズウェル	8/5	(福)まごころ、インフィック(株)、 (福)清承会 静岡福祉大学	19人
計			63人

- ・地元の講師や福祉用具貸与協力事業所へ依頼し、体験した福祉機器は異なるものの各会場の本事業に関する満足は高く、将来のために役立つものであったというアンケート回答が多かった。
- ・保護者の参加者も多く、福祉の仕事に対するネガティブなイメージを払拭させ、子どもの進路の一つ考える機会となった。



福祉の仕事学び体験ツアー
サーラシティ浜松
(7/28)

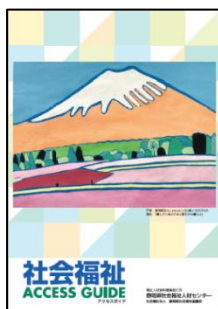
3 WEBサイトやSNSによる広報・啓発の推進

- (1) 広報（テレビCM）の実施（70本）
- (2) リーフレット（Job-note）の発行（5,000部）
- (3) 社会福祉アクセスガイドの発行（2,000部）
- (4) 利用の手引きの発行（2,000部）
- (5) 求人の手引きの発行（800部）
- (6) 社会福祉人材センター年報の発行（200部）
- (7) 福祉・介護の仕事イメージアップ冊子の発行（6,000部）
- (8) ホームページの充実
- (9) WEB広告の実施
- (10) 電車内アナウンスの実施

- ・TVCMやWEB広告等により広く県民に広報・啓発を行い、福祉の仕事に対するイメージアップや社会福祉人材センターの周知につながった。



静岡新聞社企画（WEB広告）
オトナインターシップPR写真
(7/4)



社会福祉アクセスガイド
atelierQUOKKA（富士特別支援
富士宮分校卒業生の活動）の
作品を表紙に使用



福祉・介護の仕事
イメージアップ冊子
（介護の資格について）

推進事項3 質の高い人材の育成支援

1 各種研修の実施

福祉職場の人手不足が深刻化している中、福祉サービスの担い手の確保と定着を図るため、現に福祉職場に従事する方の資質向上と併せ、就労環境の改善が急務となっている。

そこで、福祉職員を対象とした外部研修実施機関として、階層別・テーマ別の研修会を、集合研修、オンライン研修（ライブ配信に加え令和4年度から録画配信を実施）を交えて開催するとともに、人材育成の基本である職場内研修の実施を支援した。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 研修の体系化及び効率性の向上</p> <p>ア 研修体系に基づき研修を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 85本の研修（受講者3,800人）を新型コロナウイルス感染症防止に努めながら、集合（34本、1052人）・ライブ配信（52本、2,216人）・録画配信（11本、532人）により実施した（ライブ配信後に録画配信を実施した研修があるため研修形態別の本数は合計本数と異なる）。 <p>満足度98.4%（満足79.6%+やや満足18.8%）</p> <p>イ 積極的な研修広報の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修情報を希望する県内社会福祉施設等へ毎月電子メールで提供（1,450施設以上） LINE公式アカウントの運用 個人あてに研修情報を提供（220施設以上） <p>(2) 事業所内の人材育成の支援</p> <p>研修受講効果を高めるための研修受講前後の動機付けの実施（動画を作成し提供）</p> <p>(3) 研修体系の見直し</p> <p>研修ニーズ調査結果に基づいた見直しの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉職員に必要とされる組織力・専門技術力・人間力の習得を通じてサービスの質向上や職員の職場定着に寄与した。 受講者の確保に努めた。 研修内容の更なる充実や受講しやすい研修への転換を図っている。



研修風景（オンライン研修）




研修風景（集合研修）

基本目標3 災害福祉支援体制づくり

実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します

推進事項1 静岡県災害ボランティア本部・情報センターの機能強化

県内全域を対象にボランティア活動の支援を行う広域拠点として、市町災害ボランティア本部が円滑に機能するよう、人材育成、活動資機材の整備、情報発信拠点及び県行政等関係機関・団体との連携体制の強化を図った。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 本会職員の人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 職員向け研修の開催 BCP 策定検討会の実施 イ SNS等を使った情報発信トレーニングの実施 ウ 県社協災害対応マニュアルに基づく初動訓練実施 県社協災害対策本部設置訓練の実施(9/5) <p>(2) 活動資機材の配備と保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 設置資機材を活用した稼働訓練と保守点検 (年度末までに、県共同募金会へ保守点検の実施報告) イ 東部県域(富士)への設置及び新規設置拠点の検討 (8/31 芙蓉会みぎわ園に設置)【赤い羽根共同募金助成事業】 <p>(3) 県本部・情報センターの体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ア IT支援協定に基づく平時の取組の実施【再掲】 サイボウズ災害支援チーム、県内市町社協担当者との定例ズーム会議の開催(毎週月曜日) イ 支援協定の年次確認の実施 ウ 県本部・情報センターHP内の市町別サイト構築 台風8号による松崎町雲見地区災害、台風15号による市町災害VCホームページを公開し運用した。 エ 災害福祉支援センター構想の確認 オ 県域の支援団体との情報交換会の開催(3/16) <p>(4) 県本部マニュアルの更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 県、県ボランティア協会と更新内容の検討 イ マニュアルの更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・本会職員が本部運営のイメージを共有し、初動対応ができるようにした。 ・新規拠点の設置【富士市】 ・設置先関係者と資機材の定期点検と管理を実施  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>災害ボランティア活動用 機器整備事業【富士市】 【赤い羽根共同募金助成事業】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・平時から発災後を想定した訓練等を実施 ・実行性あるマニュアルの完成と随時見直し。



県災害 VC 本部・情報センター
HP・市町別サイト

推進事項2 静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化及び社会福祉事業者の防災対策支援

県・市町の災害対策本部と連携し、地域の要配慮者を支援する「静岡県災害福祉広域支援ネットワーク」の強化を図るため、「静岡 DWAT」登録員(269名/R5.4.1現在)のスキルアップ、事務局体制の強化、受援体制の構築及び他の専門職チームとの連携体制の構築を図った。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 災害派遣福祉チームの体制強化</p> <p>ア 静岡 DWAT 登録員養成研修の開催 6期生フォローアップ 10/24/39名参加 7期生養成 1/24、2/15/27名参加</p> <p>イ スキルアップ研修の開催 (東部 11/1/25名参加、中西部：11/2/14名参加)</p> <p>ウ 平常時の支援活動展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 浜松市福祉避難所開設訓練 (7/15) 2. 伊東市総合防災訓練 (9/2) 3. 県総合防災訓練@島田市 (9/4) 4. 浜松市福祉避難所開設訓練 (11/16) 5. 西豊田インクルーシブ防災訓練 (12/4) <p>エ 県内3地域(東部・中部・西部)における支部活動の推進</p> <p>オ 支部活動検討会(東部・中部・西部)の開催 (東部：6/20、47名、中部：6/14、26名、西部：6/16、36名)</p> <p>カ ネットワーク会議の開催 (3/8)</p> <p>キ 医療・保健・福祉分野における災害支援団体連絡会の開催 (6/27、10/1)</p> <p>ク 広域相互支援ネットワークの構築(近隣県事務局との意見交換)</p> <p>(2) 要配慮者支援の理解促進</p> <p>ア 静岡 DWAT 出前講座の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小鹿苑防災研修 (5/24) 2. 賀茂地区介護支援専門会陰協会災害研修 (6/2) 3. 静岡県経営青年会研修 (8/9) 4. 島田市災害ボランティア養成講座 (8/20) 5. 浜松市北区民生委員研修会 (8/25) 6. 中央特別支援学校防災訓練 (8/26) 7. 菊川市地域防災訓練 (9/4) 8. 掛川特別支援学校防災体験学習 (9/22) 9. 牧之原市防災教室 (11/9) <p>イ 職能団体、種別協等との合同研修会の開催</p> <p>ウ 静岡 DWAT 啓発用展示パネル貸し出し事業の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 浜松防災学習センター「防災フェスタ」 (6/26) 2. ふじBOUSAI (11/19) 	<p>効果・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平時から発災後を想定した訓練等の実施により、支援体制の強化につながった。 ・ 支部化の活動の実施により、登録員の横のつながり、関係づくりが図られた。 ・ 出張講座、研修等の実施により、地域住民、多職種に、災害派遣福祉チームの周知が図られた。 <div data-bbox="1066 1025 1406 1272" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1077 1279 1393 1373" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>静岡 DWAT 出前講座 (静岡市中央特別支援学校)</p> </div>

(3) 個別避難計画(災害時ケアプラン)作成事業

- ア モデル地区(富士市)における計画作成支援
(合同説明会：7/26、キックオフミーティング：8/1)
- イ 市町行政(福祉部局、防災部局)向け研修会の開催
(東部：6/2、54名、中部：6/1、22名、西部：6/3、27名)
- ウ 福祉専門職(ケアマネ、相談支援員等)向け研修会の受講/101名
- エ 個別避難計画作成事業報告会の開催(3/3、83名)



個別避難計画市町向け研修会
(中部：グランシップ)

実施目標2 災害時の市町社協を支援します

推進事項1 市町社協運営支援

「被災地に対する社協ネットワークの役割と支援の提案」(全社協作成)を進め、災害時の連絡体制の整備や社協間のネットワークを活かした効果的な支援のあり方を検討するとともに、BCP(事業継続計画)の策定など、提案に沿った体制づくりを支援した。災害時には社協ネットワークを駆使し、災害支援活動に専念できるよう、スーパーバイズ機能、コーディネート機能、代替機能を発揮した支援活動を行った。

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 災害時相互支援協定に基づく職員派遣の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風8号による松崎町雲見地区被害に係る「静岡県災害ボランティア本部・情報センター」(以下「県V本部」)の設置(8月15日～)【赤い羽根助成金事業】 <p>松崎町社協への県V本部スタッフ・市町社協の職員派遣の実施(～8月31日)</p> <p>派遣実人員56名、延べ178人日(県V本部48人日、市町社協130人日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風15号による県内中西部市町被害に係る県V本部の運営及び被災市町への県V本部スタッフ・市町社協の職員派遣の実施(静岡市、島田市、川根本町、浜松市天竜区に災害VC開設) <p>【赤い羽根助成金事業】</p> <p>(2) 県災害ボランティア本部・情報センターの体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 県本部立上げ訓練と連動した実践的な訓練の実施 イ 外部からの受援に対する検討 ウ 運営財源確保に関する要望の継続 エ 県、県ボランティア協会との検討会の実施 <p>(3) 市町社協災害ボランティア担当者研修・会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市町社協災害ボランティア担当者会議【災害対応研修会と同日開催】(5/30 47名参加)(赤い羽根共同募金助成事業) イ 市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修会(赤い羽根共同募金助成事業) <p>第1回：実践編(6/22開催 58名参加)</p> <p>第2回：12月予定</p> <p>第3回：連携・協働編(3/10開催 47名参加)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町災害VCへの適切な支援体制ができる。 ・市町支援チームの体制と運営財源の確立がされている。 <div data-bbox="1066 1146 1401 1393" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1053 1420 1404 1451" data-label="Caption"> <p>台風8号による松崎町災害支援</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時対応ができる市町社協職員の増加。実効性のあるBCPが作成され、BCPに基づいた訓練が行われている。 <div data-bbox="1059 1662 1407 1917" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1075 1944 1394 2018" data-label="Caption"> <p>台風15号による県内中西部市町災害支援</p> </div>

<p>(4) 静岡県熱海地域支え合い支援センターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱海市伊豆山ささえ逢いセンターの事業支援 ・被災者見守り・相談支援事業（国庫補助事業）の市町社協への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年7月に発生した熱海市での土石流災害に伴い実施されている「被災者見守り・相談支援事業」（通称：支え合いセンター）の事業支援を行った。
--	--

推進事項2 被災者への生活支援

事業の実績	効果・評価
<p>(1) 円滑な生活福祉資金(特例貸付)の実施 災害時等の貸付けの特例措置に関する協定に基づく協定機関連絡会の実施及び実施体制・方法の検討</p> <p>(2) 日常生活自立支援事業の利用者への支援の検討 ア 運営マニュアルに基づいた訓練の実施（1回） ・9/5 県社協部内で平成28年発行の運営マニュアルの内容を確認。今後、市町社協への再周知を行っていく。 イ 災害VCと他事業との連携検証（随時）</p> <p>(3) 生活支援相談員の体制整備の検討 生活支援相談員の設置想定と体制整備に向けた検討</p> <p>(4) 介護保険サービス利用者への支援の検討 サービス利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全市町社協で災害時の事業運営が円滑に展開できる体制構築 ・県市町社協の担当職員が共通認識のもと行動できるようにする。 ・市町社協で運営が円滑にできるよう体制整備を行った。

基本目標4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標1 組織・経営強化を図ります


推進事項1 組織体制の強化

会員サービスの充実に向けた検討を引き続き行うとともに、未加入の県内事業所等に対し、加入促進を行った。

また、制度改正や社会の動向に対応した組織体制を整備するとともに、法令順守が徹底されるよう取り組んだ。

災害に対しては、地震災害以外の様々なリスクに対応できるよう、災害対策実施計画を包含した形で、新たに「社会福祉法人静岡県社会福祉協議会事業継続計画」を策定した。

なお、平成31年度から5年間指定管理者の指定を受けている静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理・運営については、静岡県と締結する協定書を遵守し、入居団体や利用者の安心と満足を確保する管理と運営に努めた。

事業の実績	効果・評価
<p>1 会員サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画戦略会議（組織強化委員会）において、会員サービスを引き続き検討した。 ・ハラスメント対策講座の開催（10/24） 参加者数：当日 Zoom 配信接続数 71 台、 アーカイブ配信再生回数 122 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員制度の理解促進による会員増につながった。
<p>2 未加入事業所、賛助会員の加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員の加入促進のため、8月を「賛助会員加入促進強化月間」とし、業務上関係のある会社・団体等に対して、賛助会員の募集活動を各課で行った。 ・企画戦略会議（組織強化委員会）における検討結果等をもとに、計画的に情報発信や加入促進策を実施した。 ・未加入事業所に働きかけを行った結果、新たに保育所 14 件と放課後等デイサービス 18 件の事業所が、令和 4 年度中に会員加入した。また、賛助会員は新たに 8 件加入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員は、8 件、17 口の新規加入を得た。 
<p>3 連絡協議会、部会、委員会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協連絡協議会、社会福祉団体連絡協議会の運営（再掲） ・部会（介護保険・広報啓発・総務部会）、事業別委員会の開催(再掲) ・企画調査委員会の開催（第 1 回 9/26※書面審議に変更、第 2 回 3/2） 第五次活動推進計画の中間年評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会、部会、委員会での意見を中間年評価、年度計画に反映させた。
<p>4 事務組織体制、ガバナンスの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉企画部長、総務課長、課員による新規採用職員向けの導入研修（4/4 15 人、6/1 1 人） ・生活福祉資金（特例貸付）の償還（免除）事務等に対応するため、引き続き派遣職員を配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に新規採用職員の法令順守意識の醸成につながっている。 ・業務の増加に対応し、負担の軽減と事務円滑化を図った。

5 理事会・評議員会の運営

(1) 理事会の開催 (5/13)

【書面】みなし決議

1 議題

- ① 理事候補者選定案
- ② 評議員候補者選定案
- ③ 重要な役割を担う職員の選任及び解任
- ④ 評議員選定委員会委員選任案
- ⑤ R 4 5月生活福祉資金会計資金収支補正予算
- ⑥ 評議員会の招集

【第 221 回】6/10

1 議題

- ① 理事候補者選定案
 - ② R 3 事業報告
 - ③ R 3 一般会計・生活福祉資金会計収支決算
 - ④ R 4 6月一般会計収支補正予算
 - ⑤ 第 181 回評議員会の招集
- #### 2 報告事項
- ① 外部監査の実施結果
 - ② 評議員の選任結果
 - ③ 県監査委員の実施する財政的援助団体等監査の結果
 - ④ R 3 会長及び常務理事の職務執行状況
 - ⑤ R 3 決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果
 - ⑥ R 3 県社協に対する寄附金等
 - ⑦ 生活福祉資金特例貸付の実施状況
 - ⑧ 本会のウクライナ支援

【書面】9/26 みなし決議

1 議題

- ① 評議員候補者選定案

【第 222 回】10/25～

1 議題

- ① R 4 11月一般会計・生活福祉資金会計 資金収支補正予算
 - ② 第 182 回評議員会の招集
- #### 2 報告事項
- ① 評議員の選任結果
 - ② R 4 上半期 主要事業執行状況報告
 - ③ 台風第 8 号による被害への対応
 - ④ 台風第 15 号による被害への対応
 - ⑤ R 4 上半期 会長・常務理事の職務執行状況
 - ⑥ 生活福祉資金特例貸付の実施状況

【書面】12/12 みなし決議

- ① 職員給与規程の一部改正

- ・ 県社協や地域が抱える課題や重要事項等を審議し、県社協事業の円滑な遂行と的確な地域福祉施策の推進を図っている。
- ・ 新規事業の実施による補正予算の編成や、役員等の選任など、理事会・評議員会の審議や状況報告を速やかに行った。

② 役員等報酬規程の一部改正

③ 評議員会の招集

【書面】 2/14 みなし決議

① 理事候補者選定案

② 評議員会の招集

【第 223 回】 3/8

1 議題

① 副会長の選定

② 諸規程の一部改正

③ R 4 3月一般会計・生活福祉資金会計 資金収支補正予算

④ R 5 事業計画

⑤ R 5 一般会計・生活福祉資金会計収支予算

⑥ 第 183 回評議員会の招集

2 報告事項

① 第 5 次活動推進計画中間評価の結果

② R 4 社会福祉法人指導監査の実施結果

③ 生活福祉資金特例貸付の実施状況

④ R 5 理事会・評議員会等の日程

(2) 評議員会の開催

【書面】 5/24 みなし決議

1 議題

① 理事の選任

② R 4 5月生活福祉資金会計資金収支補正予算

【第 181 回】 6/27～

1 議題

① 理事の選任

② R 3 事業報告

③ R 3 一般会計・生活福祉資金会計 収支決算

④ R 4 6月一般会計資金収支補正予算

2 報告事項

① 外部監査の実施結果

② R 3 決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果

③ R 3 県社協に対する寄附金等

④ 生活福祉資金特例貸付の状況

⑤ ウクライナからの避難者への支援

【第 182 回】 11/8

1 議題

① R 4 11月一般会計・生活福祉資金会計 資金収支補正予算

2 報告事項

① R 4 上半期 主要事業執行状況報告

② 台風第 8 号による被害への対応

③ 台風第 15 号による被害への対応

④ 生活福祉資金特例貸付の実施状況

<p>【書面】12/23 みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 役員等報酬規程の一部改正</p> <p>【書面】2/28 みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事の選任</p> <p>【第183回3/23</p> <p>1 議題</p> <p>① R4 3月一般会計・生活福祉資金会計 資金収支補正予算</p> <p>② R5事業計画</p> <p>③ R5一般会計・生活福祉資金会計 資金収支補正予算</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 第5次活動推進計画中間評価の結果</p> <p>② R4社会福祉法人指導監査の実施結果</p> <p>③ 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>R5理事会・評議員会等の日程</p> <p>(3) 監事による監査 R4.5.25(水)</p> <p>(4) 評議員選定委員会の開催</p> <p>【書面】5/23 みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 評議員の選任 2名</p> <p>【書面】10/4 みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 評議員の選任 2名</p>	
<p>6 政策提言の実施</p> <p>(1) 県知事との面談 8/18</p> <p>出席者 知事・健康福祉部長他 会長・3副会長</p> <p>内容 地域福祉に関する提案 3項目を説明</p> <p>(2) 県健康福祉部長との懇談会 9/6</p> <p>出席者 県健康福祉部長、部理事、各局長 会長、各地域福祉団体(約30団体)</p> <p>内容 県内各社会福祉団体から、取組・課題を説明</p>	<p>・社会福祉に関する県への要望活動や、県幹部との懇談により、地域福祉に係る行政側の理解を求める機会ができた。</p>
<p>7 県社協災害対策実施計画、各業務班の活動マニュアル作成と随時見直し</p> <p>・災害対策実施計画を全面的に見直し、事業継続計画(BCP)として策定(8月)</p> <p>また、業務班別の緊急・応急業務を整理し、防災訓練等に反映させた。</p>	<p>・地震災害以外のリスクに対応できるよう、災害対策実施計画を包含し、事業継続計画として再構成できた。</p>
<p>8 県社協災害対策本部の立ち上げ訓練の実施</p> <p>・事業継続計画を策定後、初となる立ち上げ訓練を実施し、初動体制を確認 9/5</p>	<p>・災害発生後、速やかに県社協災害対策本部の体制が整った。</p>

<p>9 県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 館内における新型コロナウイルス感染防止に配慮 指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日 <p>ア 指定管理業務</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 会議室等の使用承認等 ② 利用料金の設定及び収受 ③ 会館の維持管理 ④ 会館入居団体、利用者の調整 ⑤ 来館者への食事提供に関する業務 <p>イ 利用実績（3月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 有料会議室（10室のうち1室は、展示ギャラリー兼用） 4,780件利用、利用料金収入12,536,100円 その他の施設（7施設、32入居団体） 累計 3,166件、95,561人利用 <p>ウ 接遇研修</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 7/1「知らないと恥をかく接遇の基本」16人 ② 7/6「さすが！と言われる接遇のコツ」11人 <p>エ 普通救命講習Ⅰの開催（9/5） 15人 心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）の取扱等</p> <p>オ フェスタシズウエル2022（中止）</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催チラシを近隣小学校等に配布した後であったが、新型コロナウイルス感染者の増加を踏まえ、中止 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者として、会館の管理運営業務を着実に遂行し、入居団体や利用者が安心して、満足が得られる運営に努めた。 新型コロナウイルスの感染防止のため、会館内でのマスク着用、玄関や会議室へのアルコール消毒液の設置、受付の飛沫防止パネル設置などの対策を引き続き徹底した。
<p>10 防災訓練の実施</p> <p>(1) 情報伝達訓練の実施 (4月、県社協職員、会館入居団体職員)</p> <p>(2) 総合社会福祉会館防災訓練の実施 第1回：8/31実施(参加者206人) 図上訓練、避難訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の急拡大のため実働参加人数を限定し、災害対策本部を中心とした。 防火扉を閉鎖して行った避難誘導訓練では、階段側に階数表示が無い問題点を認識し、改善。 階段避難器具（EVAC+CHAIR）等動作確認の必要な機器類の訓練は、改めて実施予定。 <p>第2回：2/16実施(参加者128人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の急拡大のため実働参加人数を限定し、災害対策本部を中心とした。 階段避難器具（EVAC+CHAIR）の訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 新年度の職員入替後でも、情報伝達が円滑に行われるか検証できた。 避難訓練の実施により避難経路の理解に努めるとともに、問題点の把握と改善を行った。 図上訓練の内容を、各団体職員が上手くイメージできるような見直しができるようになった。 安全に階段避難器具を操作するには複数の補助員が必要なことが分かった。
<p>11 任意監査の実施</p> <p>(1) 決算書類に関する任意監査の実施（5/17、18）</p> <p>(2) 出納業務に関する任意監査の実施（11/16、17）</p> <p>(3) 会計業務及び予算執行に関する任意監査の実施（2/13、14）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 会計経理の適正な手続を確認し、事業運営の透明性の確保を図った。 いずれも、重大な指導事項はなかった。

推進事項2 経営基盤の強化

限られた財源を有効活用するため、財政の効率化と改善を推進し、財政基盤の強化に取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
1 新たな自主財源収入の検討・獲得 ・県共同募金会と連携した寄付金の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の確保や自主財源事業の新たな展開のための財源確保を図った。 ・限られた財源の中で、新たな自主財源の捻出や有効活用することによる財源基盤の強化を進めた。 ・計画的な財政執行の促進に努めた。
2 各種基金の運用方法の継続的な見直し ・財政調整基金を活用した新規債券の購入 ・投資有価証券について、一定の安定性を保ちつつ、より有利な債券へと入替を実施	
3 経常経費の見直しによる支出削減 ・事務機器等契約の見直し 利用状況を踏まえた印刷機の入れ替えを実施 ・事業検証、決算分析の実施 令和3年度の決算分析を、理事会・評議員会に報告 ・支出削減の積極的取組（エコジョブ運動の推進）	
4 ICT活用による業務効率化 ・勤怠管理システムの稼働により、書面での勤怠関係申請を廃止（令和4年度をもって原則廃止） ・オンラインサービス事業者との協議を通じた運用の改善	

推進事項3 広報力の強化

県内の地域共生づくりに向けた先駆的な取組みや地域特性を反映した取組みなどの最新情報を収集し、職員一人一人が高い意識を持ち、様々な媒体を活用した広報・情報提供の取組みを進めた。

また、本会の事業理念を積極的に広報し、本会の認知度の向上に努めた。

事業の実績	効果・評価
1 福祉情報の発信強化するための取組 (1) ホームページの充実及び積極的な活用促進 ・新着情報等を活用した情報発信を実施 (2) 広報力強化を検討する場を設置 ・広報戦略委員会及びSNS運用ミーティングを定期的で開催 (3) 県社協パンフレットによる広報 (4) 機関紙「むすぶつなぐ」（社会福祉しずおか）の発行 ・年間8回（奇数月及び4月、10月） ・各11,300部発行	<ul style="list-style-type: none"> ・県社協ホームページの1か月平均訪問回数は4万回を超え、地域共生社会づくりのポータルサイトとして機能している。 ・ビジョン、ガイドラインに基づいた広報が行われている。 ・社会福祉協議会の認知度向上

実施目標2 「人財」育成を図ります

推進事項1 安心して働ける職場づくり

安心して長く働くことのできる職場づくりのため、長時間労働の是正や年次有給休暇の取得推進のための取組を行った。

また、本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合った働き方ができるよう働きやすい職場環境を整備した。

併せて、県社協職員として目指すべき職員像や具体的な行動目標について、役職、階層、雇用形態ごとに明文化し、知識や技術の向上に取り組んだ。

事業の実績	効果・評価
<p>1 働きやすい職場環境づくり</p> <p>(1) 長時間労働の是正や年次有給休暇・夏季休暇等の取得推進のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応による職員の夏季休暇取得の遅れを考慮し、取得期限を9月末から11月末に延長した。 <p>(2) テレワークなど、育児・介護等のライフスタイルに合わせた多様な働き方の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の状況を考慮しながら、各部各課において時差出勤・テレワークを実施 <p>(3) 職員福利厚生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断（年1回実施） ・人間ドック助成（35歳以上65歳未満） ・県派遣職員人間ドック事業 ・予防接種助成 ・衛生委員会（3/15）（根拠：労働安全衛生法） ・ストレスチェックの実施（11月） ・面接指導の実施（希望者無し） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のワーク・ライフ・バランスの向上 ・仕事の効率化による生産性の向上 ・安定的な人材の確保 ・職員が安心して長く働ける職場環境の実現 ・職員のストレスの軽減 ・職員の健康保持
<p>2 計画的な職員採用と人材育成の仕組みづくり</p> <p>(1) 職員採用の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月採用予定者を対象として、模擬面接会（6/3：ペガサート）、新卒者説明会（6/6：103会議室）を新たに実施した。 ・職員採用にあたり、本会の「求める人材像」を検討・策定した。 <p>(2) 教育体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修制度の創設 <p>本会研修課で実施する研修のうち、社協職員として特に受講して欲しい17研修を推奨研修として指定し、1人1研修の受講を推奨した。</p> <p>(3) 外部研修の受講管理の仕組みづくり（新採、中堅、管理職員等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町社会福祉協議会新任職員研修会 7人 ・キャリアパス対応生涯研修課程 （初任者）2人（チームリーダー）1人 （管理職員）1人 	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒者説明会の参加者から、採用試験の受験者が出るなど、職員確保の一助とできた。 ・職員個々が目的を意識して受講する仕組ができた。

<p>(4) 専門研修（テーマ別）への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国社会福祉協議会会計実務講座（入門・初級） 3人 <p>(5) 職員に対する資格取得奨励研修（希望選考制）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期研修受講者 1人 <p>(6) 外部からの依頼による講師の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議運営支援者研修(全社協) ・災害福祉支援ネットワークブロック会議(事例報告) ・名古屋市教育委員会講座 ・徳島県社協研修 ・生協連研修会 ・岐阜県災害V C運営支援者研修 ・高知D W A T研修会 ・山梨県経営協講演会 ・静岡大学講義 ・牧之原市市民後見人養成講座事前説明会 ・福岡D W A T研修会 ・施設長・管理者等研修会(小山町社協) など <p>(7) 業務マニュアル等の整備と継続的な見直し</p>	
--	--

事業報告の附属明細書

役員・評議員・事務局職員・受託団体の状況

令和5年4月1日現在

1 役員、評議員 (単位：人)

理事 (定数16)	会 長	1
	副 会 長	3
	常務理事	1
	その他理事	11
	計	16
監 事 (定数 3)		3
評議員 (定数 26)		26

2 職員 (単位：人)

区 分	令和3年度		令和4年度						令和5年度	
	年度末 現在	年度末 退任	当初 採用	年度当 初現在	中途 退任	中途 採用	年度末 現在	年度末 退任等	当初 採用	年度当 初現在
職 員	26 (1)	△2 (0)	+ 4 (0)	28 (1)	0 (0)	0 (0)	28 (2)	△2 (0)	+ 4 (0)	30 (2)
専任職員	11 (0)	△2 (0)	+ 2 (0)	11 (0)	△1 (0)	0 (0)	10 (0)	0 (0)	+ 2 (0)	12 (0)
嘱 託 員	4 (0)	△2 (0)	+ 2 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	△1 (0)	0 (0)	3 (0)
嘱託事務員	15 (0)	△6 (0)	+ 7 (0)	16 (0)	△1 (0)	+ 3 (0)	18 (0)	△6 (0)	+ 3 (0)	15 (0)
嘱託事務員 [再雇用]	3 (0)	0 (0)	+ 1 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
臨時事務 員	2 (0)	△1 (0)	+ 1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
合 計	61 (1)	△13 (0)	+17 (0)	65 (1)	△2 (0)	+ 3 (0)	66 (2)	△9 (0)	+ 9 (0)	66 (2)

※1 職員数は、本会が採用している実数（育児休業者を含み、町社協からの派遣職員除く）

※2 ()は産休・育休者数で内数

※3 区分の項目における「職員」は、プロパー職員と県派遣職員の合計

※4 令和4年度(令和5年4月1日付け)に職種転換した職員2人

嘱託事務員→専任職員2人

事務受託団体一覧

団体名	担当課
静岡県社会福祉法人経営者協議会	経営支援課
福利厚生センター静岡事務局	経営支援課
静岡県里親連合会	経営支援課
静岡県肢体不自由児協会	経営支援課
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	経営支援課
静岡県民生委員児童委員協議会	地域福祉課

会員状況一覧（令和5年3月末現在）

分類	種別	会員数	分類	種別	会員数
生活保護施設	救護施設	7	障害者福祉施設	就労移行支援	3
	医療保護施設	1		就労継続支援	106
	計	8		障害者支援施設	69
児童福祉施設	児童発達支援事業所	8		共同生活援助	35
	放課後等デイサービス	32		計画相談支援	1
	保育所	308		地域活動支援センター	9
	へき地保育所	2		福祉ホーム	2
	小規模保育所	7		身体障害者福祉センター	3
	認定こども園	165		障害者就業・生活支援センター	1
	事業所内保育所	1		計	229
	乳児院	4	婦人保護施設	婦人保護施設	1
	母子生活支援施設	3		計	1
	児童養護施設	12	社会福祉一般施設	無料低額宿泊所	2
	児童心理治療施設	1		無料低額診療施設	1
	児童自立支援施設	1		計	3
	福祉型障害児入所支援	10	社会福祉協議会・団体	市町社会福祉協議会	35
	医療型障害児入所支援	4		福祉関係団体等	95
	福祉型児童発達支援センター	11		計	130
	児童相談所	2	介護保険等関係事業所	介護保険・障害福祉サービス	195
	計	571		計	195
老人福祉施設	老人デイサービスセンター	210	老健・療養病床	介護老人保健施設	60
	小規模多機能型居宅介護事業所	15		介護療養型医療施設	12
	複合型サービス事業所	6		介護療養院	3
	特別養護老人ホーム	237		病院	2
	養護老人ホーム	23		計	77
	軽費老人ホーム	37	個人会員	民生委員・児童委員等	6,939
	有料老人ホーム	34		計	6,939
	サービス付き高齢者向け住宅	2	賛助会員	首長・議長	44
	老人福祉センター	15		団体	5
	老人介護支援センター	5		企業	63
	認知症高齢者グループホーム	59		個人	25
	地域包括支援センター	8		計	137
	計	651	合計		8,941

令和4年度静岡県社会福祉協議会ふれあい基金

地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業

<地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	三島市	静岡CAPにじ	200,000	安心・安全な街づくり事業
2	南伊豆町	伊浜花の会	25,000	伊浜地区美化活動
3	静岡市 葵区	やまねこくらぶ	190,000	こころとからだの根っこづくり事業
4	静岡市 駿河区	富士見地区社会福祉協議会	194,000	富士見地区こどもボランティア隊事業
5	静岡市 清水区	録音ボランティアやまびこ	175,000	視覚障がい者が必要とする各種情報の音訳活動
6	静岡市 清水区	パソコン点訳グループぱそぴあ清水	189,000	点訳に必要なパソコン編集ソフト及び製本用紙の購入
7	焼津市	焼津市認知症家族会ひまわりの会	200,000	小冊子「認知症だっていいじゃないか」第三弾
8	藤枝市	前島子ども見守り隊	35,000	雨合羽やクリーンのキャップ、上着等の購入
9	藤枝市	高洲地区地域支え合い生活支援サービス事業運営委員会	178,000	高洲手んだい隊支援活動の充実事業
10	島田市	ココミラ島田～ココからはじまるミライ～	197,000	ガイド・映画・ココミラ活動周知事業
11	島田市	しろやま読み聞かせクラブ	175,915	コロナ禍でも「地域や子供たちに、絵本の読み聞かせを！」
12	菊川市	たけのこ音楽隊	199,000	ダウン症児の未来を考える交流会
13	掛川市	M方式グループ	45,000	「健康寿命を伸ばすための脳トレ」の内とくに「創造性」に関する事業
14	袋井市	いのちの神秘を伝える助産師の会	195,362	いのちの神秘を伝える助産師の会

15	袋井市	あそびば もこ・あ・もこ	200,000	あそびば もこ・あ・もこ
16	浜松市 東区	静岡トラブルシューターネット トワーク	200,000	トラブルシューター養成研修 の開催事業
17	浜松市 浜北区	地域防災を考える会	198,000	高齢者の避難所宿泊体験
18	静岡市 清水区	地域密着活動団体 Laugh (ラ フ)	31,424	地域密着活動団体 Laugh
計			2,827,701	

<セルフヘルプ活動支援事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	焼津市	家族介護者の会 日々草の会	200,000	自立生活写真集「できる」の 作成
2	沼津市	hoccorila ほっこりら	118,430	hoccorila ほっこりら
計			318,430	

<しずおかの居場所助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	沼津市	おとなりサロン	132,950	コロナ禍でも「おとなりサロ ン」で健康づくり
2	富士宮市	さとうさんち	70,000	さとうさんち
3	富士宮市	吉日食堂	123,845	吉日食堂（地域食堂）
4	藤枝市	下当間ふれあいサロン 一五 の会	150,000	高齢者ふれあいサロン
5	島田市	金谷地区社会福祉協議会	150,000	みんなの居場所「駄菓子屋ぽれ ぽれ堂」
6	島田市	特定非営利活動法人まんまあ る	150,000	不登校児童生徒への学習支援 事業「まなび庵」

7	菊川市	特定非営利活動法人ハートあんどハート菊川	150,000	居場所カフェこくる
8	掛川市	ひだまりのぼしょ	150,000	ひだまりのぼしょ
9	掛川市	三井高齢者サロン：三寿会	30,000	三井高齢者サロン：三寿会
10	掛川市	こどもみらい掛川	146,000	様々な子供たちの居場所づくりふれあい会
11	湖西市	しあわせカフェ 日和	147,000	居場所「しあわせカフェ日和」
12	森町	周智子ども食堂モリモリキッチン	145,084	感染症対策の強化と学習支援の準備
計			1,544,879	

<広域的な防災活動推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	西伊豆町	社会福祉法人西伊豆町社会福祉協議会	200,000	松崎町・西伊豆町災害ボランティアセンター本部合同立上げ訓練
2	袋井市	社会福祉法人袋井市社会福祉協議会	59,000	西部市町社協災害ボランティア担当者会議
3	菊川市	社会福祉法人菊川市社会福祉協議会	200,000	近隣連携による大規模災害時対応訓練と災害ボランティアコーディネーター育成講座
4	藤枝市	社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会	200,000	災害時志太榛原地区社協広域連携推進事業
計			659,000	

<令和4年度ふじのくに「地域共生」大賞 受賞一覧>

(単位：円)

NO	グループ・団体名	活動テーマ	受賞の内容	贈呈額
1	KURURA 制作実行委員会	子どもたちの郷土愛を育み、将来共に地域で活躍できる人づくり	最優秀賞	100,000
2	掛川プロジェクションマッピング実行委員会	高校生と地域活性化のために掛川城でプロジェクションマッピング	優秀賞	100,000
3	茶ちゃ処	地域みんなが楽しくいきいき暮らせる居場所づくり	優秀賞	100,000
4	県立田方農業高等学校ライフデザイン科セラピーコース	植物で人をつなぐ地域をつなぐ認知症カフェ「ふる～るカフェ」	優秀賞	100,000
計				400,000

令和4年度みんなで支える地域福祉促進事業一覧

事業区分	名称	事業名	事業費	県費補助額
実施事業 県社協	県社協	小地域福祉活動等の担い手養成研修事業	円 2,250,000	円 1,125,000
	小計		2,250,000	1,125,000
市町社協 実施事業	裾野市	QRコード見守りシステム事業	300,000	150,000
	藤枝市	地域で「誰ひとりも見逃さない」まちづくり事業	1,410,000	675,000
	菊川市	孤立を防ぎ、多様な相談支援＋活躍の場づくり事業	1,350,000	675,000
	長泉町	地域共生社会をめざした地域資源との繋がり与人づくり	800,000	400,000
	函南町	地域における住民同士の交流および多様な活躍のしくみづくり	1,350,000	675,000
	小計		5,210,000	2,575,000
合計			7,460,000	3,700,000

令和4年度運営適正化委員会苦情受付合計、解決結果

(単位:件)

サービス種別	区分	苦情受付件数	苦情解決結果					
			助言	当事者間の 話し合い 解決推奨	紹介・伝達 専門機関等の	あつせん	(うち行政への 通知)	その他
高齢者福祉	①サービス内容(職員の接遇)	5	3		2			
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	2			2			
	③利用料	3	2	1				
	④被害・損害、権利侵害	9	3	2	3		1	1
	⑤その他(介護保険料、職員の処遇)							
	小計	19	8	3	7		1	1
障害者福祉	①サービス内容(職員の接遇)	15	3	5	6			1
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	28	10	12	6			
	③利用料							
	④被害・損害、権利侵害	7	2	1	3		1	1
	⑤その他(事業報告の開示)	3			2		1	1
	小計	53	15	18	17			3
児童福祉	①サービス内容(職員の接遇)	3	2		1			
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	4	2	1				1
	③利用料							
	④被害・損害、権利侵害	6	4	1	1		1	0
	⑤その他	4	1		1			2
	小計	17	9	2	3		1	3
その他	①サービス内容(職員の接遇)	3	1		2			
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	1	1					
	③利用料							
	④被害・損害、権利侵害							
	⑤その他	4	2		2			
	小計	8	4	0	4			0
合計	①サービス内容(職員の接遇)	26(△1)	9	5	11			1
	②サービス内容(サービスの質や量、説明・情報提供)	35(+8)	13	13	8			1
	③利用料	3(+2)	2	1	0			0
	④被害・損害、権利侵害	22(+9)	9	4	7		3	2
	⑤その他	11(+4)	3	0	5			3
	合計	97(+22)	36	23	31	0	3	7

(注) 苦情対応の分類は、(社福) 全国社会福祉協議会の基準に準拠
合計欄の()は対前年増減件数

令和4年度静岡県民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業

区分	助成事業名	概 要		件数	助成額
1	社会福祉事業振興のための助成	(区分1) 第三者評価受審助成事業	福祉サービス第三者評価事業において、良質かつ安心・安全なサービス提供実現のために推進する事業に対して助成する。	19	(千円) 2,397
2		(区分2) 地域との連携協働推進助成事業	地域との連携を図り、施設の有する資源を活用した地域課題の解決や、住民の福祉に対する理解を促進する取り組みに対して助成する。	5	708
3		(区分3) 職場内OJT助成事業	人材確保、定着のための法人内研修の実施に対して助成する。	11	1,885
4		(区分4) 法人間連携推進事業	複数法人間の連携による、住民の福祉に対する理解に向けた取り組みや、人材の育成を図る事業などに対して助成する。	7	1,048
5		(区分5) 法人の経営適正化のための助成事業	外部の専門家（公認会計士・社会保険労務士、社会福祉士等）の指導による法人経営の適正化に向けた取組に対して助成する。	10	1,716
6		(区分6) 防災減災対策・福祉避難所設置助成事業	福祉避難所に指定された事業所において、地域と連携した防災・減災の取り組みに対して助成する。	2	392
7		(区分7) 移動支援助成事業	地域のニーズに合わせた移動支援の取り組みに対して助成する。	2	600
8		(区分8) 法人後見立ち上げ支援事業	社会福祉法人の法人後見受任のための準備や実施体制整備に向けた研修に係る費用、法人後見実施初年度の活動報酬等を助成する。	0	0
特		(特別助成) 先駆的・研究事業に対する助成	地域福祉や職員の資質向上等を目的とした先駆的な取り組みで、実施に2年を要する事業又は2年継続することで効果や成果が発揮される事業に対して助成する。ただし、プレゼンテーションによって、その成果や効果が他の模範となるような事業であると認められるものに限る。	0	0
小 計				56	8,746
経	経営協への助成	各種別協への運営費、研修費助成			2,085
合 計					10,831

令和4年度福祉サービス・社会的養護関係施設第三者評価事業実施一覧

	経営主体	施設名	種別
1	(福) 信愛会	特別養護老人ホーム土肥ホーム	特別養護老人ホーム
2	(福) 伊豆つくし会	伊豆つくし学園	障害者支援施設
3	(福) コーディングコミュニティ	ごうでいんぐ岩世ヶ原	多機能型事業所
4	(福) 十字の園	御殿場十字の園	特別養護老人ホーム
5	(福) 草部の会	だいたいとう作業所	就労継続支援 B 型事業所
6	(福) 青風会	バディ保育園	保育所
7	(福) 明和会	明和第二保育園	保育所
8	(福) デンマーク牧場福祉会	まきばの家	児童養護施設
9	(福) 恩賜財団済生会支部 静岡県済生会	静岡市中心身障害者ケアセンター	自立訓練
10	(福) 恩賜財団済生会支部 静岡県済生会	川奈臨海学園	児童養護施設

令和4年度民間社会福祉団体運営費助成事業

(単位:円)

No.	団 体 名	団体決算額	補助決算額	補助事業の内容
		円	円	
1	(福)静岡県社会福祉協議会	1,419,779	810,000	運営に要する経費
2	(福)静岡県身体障害者福祉会	3,840,000	3,735,000	〃
3	静岡県民生委員児童委員協議会	1,702,898	560,000	〃
4	静岡県社会福祉法人経営者協議会	4,638,060	3,160,000	〃
5	静岡県保育連合会	1,323,737	610,000	〃
6	静岡県里親連合会	2,185,009	2,070,000	〃
7	静岡県知的障害者福祉協会	426,943	410,000	〃
8	静岡県保育士会	1,032,347	290,000	〃
9	静岡県肢体不自由児協会	276,223	130,000	〃
10	(一社)静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	2,657,571	500,000	〃
11	(公社)静岡県母子寡婦福祉連合会	4,421,554	390,000	〃
12	静岡県筋ジストロフィー協会	450,493	360,000	〃
13	静岡県手をつなぐ育成会	10,554,612	7,400,000	〃
14	静岡県自閉症協会	385,493	250,000	〃
15	(一社)静岡県子ども会連合会	5,839,855	3,340,000	〃
16	静岡県聴覚障害者親の会	135,370	110,000	〃
17	(一財)静岡県老人クラブ連合会	10,521,589	4,380,000	〃
18	静岡県ホームヘルパー連絡協議会	940,405	540,000	〃
19	(N)静岡県作業所連合会・わ	717,511	410,000	〃
	計	53,469,449	29,455,000	

令和4年度民間社会福祉活動促進事業費助成事業(民間団体育成強化事業)

(単位:円)

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
社会福祉法人 静岡県社会 福祉協議会	1	継	広報事業	6,419,922	847,000
	2	継	市町社会福祉協議会職員研修事業	1,485,002	428,000
	3	継	研修会(県社協団体助成)	315,000	315,000
	計			8,219,924	1,590,000
社会福祉法人静岡県身 体障害者 福祉会	1	継	身体障害者福祉事業推進費	1,600,000	1,600,000
	2	継	身体障害者相談活動事業費	1,125,000	900,000
	3	継	身体障害者機能回復促進事業	3,450,000	2,760,000
	4	継	身体障害者文化作品展開催事業	360,000	288,000
	5	継	身体障害者自動車安全教室開催事業	281,000	224,000
	6	継	心臓障害者相談指導事業	180,000	144,000
	7	継	静岡県身体障害者福祉大会開催事業	450,000	270,000
計			7,446,000	6,186,000	
(静岡県視覚 障害者協会)	1	継	町づくり情報提供事業	620,000	620,000
	2	継	視覚障害者社会参加促進事業	1,080,000	1,080,000
	3	継	視覚障害者リーダー養成事業	250,000	150,000
	計			1,950,000	1,850,000
(静岡県聴覚 障害者協会)	1	継	聴覚障害者研修事業	400,000	228,000
	2	継	聴覚障害者スポーツ大会開催事業	1,053,000	828,000
	3	継	聴覚障害者健康増進事業	580,000	400,000
	4	継	聴力・言語障害者生活相談事業	400,000	320,000
	計			2,433,000	1,776,000
(3団体合 計)	総合計			11,829,000	11,402,000
静岡県民生 委員児童委 員協議会	1	継	単位民児協会長研修事業	1,668,776	1,335,000
	2	継	主任児童委員研修事業	449,354	359,000
	3	継	相談技法に関する研修事業	696,332	500,000
	計			2,814,462	2,194,000
静岡県経営 者協議会	1	継	児童福祉施設スポーツ大会開催事業	96,000	57,000
	2	継	施設利用者作品奨励事業	339,000	150,000
	計			435,000	207,000
静岡県保育 連合会	2	継	静岡県保育研究大会	3,860,240	900,000
	3	継	新規採用予定職員研修会	3,083,926	675,000
	計			6,944,166	1,575,000

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
静岡県里親 連合会	1	継	里親促進事業	584,168	460,000
	2	継	里親月間事業	520,398	520,000
	3	継	里親賠償責任保険事業	524,520	520,000
	4	継	里親研修事業	238,790	165,000
	計			1,867,876	1,665,000
静岡県知的 障害者福祉 協会	1	継	職員研究集会開催事業	1,518,275	750,000
	2	継	職員研修所開設事業	1,160,314	550,000
	3	継	口腔衛生指導等委託事業	375,000	300,000
	計			3,053,586	1,600,000
静岡県保育 士会	1	継	保育実務研修事業	730,562	300,000
	2	継	委託研究事業	1,929,180	355,000
	3	継	実践研修事業	813,546	300,000
	4	継	地域保育啓発事業	548,330	180,000
	計			4,021,618	1,135,000
静岡県肢体 不自由児協 会	1	継	療育図書等刊行事業	396,515	197,000
	2	継	肢体不自由児社会参加理解啓発事業	383,706	304,000
	計			780,221	501,000
静岡県肢体 不自由児者 父母の会連 合会	1	継	肢体不自由児者集団療育事業	1,628,211	1,260,000
	計			1,628,211	1,260,000
社団法人静 岡県母子寡 婦福祉連合 会	1	継	若年母子家庭研修会	903,084	390,000
	2	継	母子家庭支援研修会	633,000	478,000
	3	継	母子指導者研修会	534,272	132,000
	4	継	家庭生活支援員講習会	450,743	360,000
	5	継	母子父子家庭啓発事業	287,001	100,000
	計			2,808,100	1,460,000
静岡県筋ジ ストロフィ ー協会	1	継	集団検診・療育相談	400,019	320,000
	計			400,019	320,000
静岡県手をつなぐ育成 会	1	継	知的障害者相談員等研修会事業	1,457,252	1,160,000
	2	継	心身障害児者地域活動促進事業	1,120,000	672,000
	3	継	重症心身障害児者事業	200,000	160,000
	計			2,777,252	1,992,000

静岡県自閉症協会	1	継	保護者・指導者研修会	386,076	300,000
	2	継	自閉症児者療育訓練	783,522	626,817
	計			1,169,598	926,817
静岡県子ども会連合会	1	継	育成研修事業	1,600,076	793,000
	2	継	モデル子ども会開催事業	303,000	151,500
	3	継	子ども会活動振興研究事業	88,824	44,412
	4	継	子ども会活動作文募集及び表彰事業	682,000	682,000
	5	継	児童館構成員研修事業	208,754	104,377
	計			2,882,654	1,775,289
団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
静岡県聴覚障害者親の会	1	継	生活相談事業	200,000	160,000
	2	継	役員研修事業	201,174	160,000
	3	継	聴覚障害理解啓発事業	402,489	320,000
	4	継	盲ろう者社会参加理解啓発事業	400,000	320,000
	計			1,203,663	960,000
財団法人静岡県老人クラブ連合会	1	継	地域福祉人材養成事業	2,196,595	1,309,000
	2	継	活動推進相談員育成指導事業	1,797,030	1,071,000
	3	継	地域クラブ活性化推進事業	3,252,084	1,942,000
	計			7,245,709	4,322,000
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	1	継	ホームヘルパー研修事業	1,579,723	1,235,000
	2	継	サービス提供責任者研修事業	627,230	500,000
	計			2,206,953	1,735,000
特定非営利活動法人静岡県作業所連合会・わ	1	継	事業所職員研修事業	842,333	669,000
	計			842,333	669,000
総合計				63,130,345	35,699,106

令和4年度民間社会福祉活動促進事業費助成事業(地域福祉促進事業)

(単位:円)

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
社会福祉法人 静岡県 社会福祉協議会	1	継	市町社協地域福祉等支援事業	2,181,250	1,745,000
	2	継	地域包括ケア推進に関わる啓発事業	696,037	545,000
	計			2,877,287	2,290,000
社会福祉法人 静岡県 身体障害者 福祉会	1	継	身体障害者スポーツ活動等健康増進事業	2,250,000	1,800,000
	2	継	身体障害者地域ふれあい奉仕活動事業	900,000	720,000
	3	継	身体障害者地域防災対策連携強化事業	1,125,000	900,000
	4	継	障害者福祉啓発事業	1,800,000	1,800,000
	計			6,075,000	5,220,000
(静岡県 視覚障害者 協会)	1	継	視覚障害者地域ふれあい促進事業	1,000,000	800,000
	計			1,000,000	800,000
(静岡県 聴覚障害者 協会)	1	継	みみの日大会開催事業	1,100,000	600,000
	2	継	手話活動研究事業	840,000	640,000
	3	継	手話通訳者健康障害予防事業	1,450,000	1,450,000
	計			3,390,000	2,690,000
(3団体 合計)	総合計			10,465,000	8,710,000
静岡県 里親連 合会	1	継	里親専用サポート事業	845,000	675,000
	2	継	里親地区研修事業	535,507	420,000
	計			1,380,507	1,095,000
静岡県 知的障 害者福 祉協会	1	継	障害者体力増進事業	1,006,106	800,000
	2	継	障害者創作作品展示事業	1,701,879	1,060,000
	計			2,707,985	1,860,000
静岡県 肢体不 自由児 者父母 の会連 合会	1	継	肢体不自由児者ふれあい体験研修事業	1,623,223	1,200,000
	2	継	地域のふれあい事業	1,000,000	800,000
	計			2,504,864	2,300,000

社団法人静岡県母子寡婦福祉連合会	1	継	親と子の心身健全育成推進事業	1,504,864	1,500,000
	2	継	地域ふれあい事業	1,000,799	800,000
	計			2,504,864	2,300,000
静岡県筋ジストロフィー協会	1	継	筋ジストロフィー介護者研修事業	1,501,614	1,200,000
	2	継	筋ジストロフィー相談窓口事業	1,000,799	800,000
	3	継	筋ジストロフィーアビリティ探索事業	707,070	320,000
	計			2,909,483	2,320,000
静岡県手をつなぐ育成会	1	継	知的障害者職業自立啓発セミナー	500,802	400,000
	2	継	地域交流・自立促進事業	2,975,000	2,380,000
	計			3,475,802	2,780,000
静岡県自閉症協会	1	継	自閉症児者野外ワークショップ	763,577	610,000
	2	継	支援者育成事業	2,114,733	1,691,786
	計			2,878,310	2,301,786
静岡県子ども会連合会	1	継	チャレンジ冒険遊び事業	3,150,000	2,520,000
	計			3,150,000	2,520,000
財団法人静岡県老人クラブ連合会	1	継	シニアスポーツ普及推進事業	1,313,999	1,050,000
	2	継	クラブ解散・休会等再興支援事業	1,314,017	1,050,000
	計			2,628,016	2,100,000
特定非営利活動法人静岡県作業所連合会・わ	1	継	地域交流ふれあいスポーツ・レクリエーション	1,228,546	980,000
	2	継	障害者福祉普及強化事業	1,938,589	1,540,000
	計			3,167,135	2,520,000
総合計				43,892,604	35,196,786

令和4年度研修評価表

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容	
組織力を高める	組織力強化	1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース(中部)	35 38-25	7/14 8/4,5	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	・サービス提供者、チームの一員としての基本の習得 ・初任者が自らのキャリアデザインを描く
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース(賀茂)	35 -	中止	-	-	
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース(東部)	35 29-28	9/20 10/5,6	3	三島商工会議所	
			福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース(西部)	35 21-18	10/21 11/16,17	3	浜松市Uホール(勤労会館)	
		2	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(中部1)	35 30-28	4/27 5/18,19	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	・中堅職員としての役割を遂行するための基本の習得 ・中堅職員が自らのキャリアデザインを描く
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(中部2)	35 13-9	1/16 2/6,7	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)		
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(東部)	35 8-6	8/8,30,31	3	三島商工会議所		
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(西部)	35 28-28	6/28 7/20,21	3	アクションシティ浜松		
		3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース(中部1)	35 28-27	4/20 5/11,12	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	・チームリーダーの役割を遂行するための基本の習得 ・チームリーダーが自らのキャリアデザインを描く
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース(中部2)	35 29-21	11/29 12/13,14	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)		
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース(東部)	35 22-22	6/23 7/5,6	3	三島商工会議所		
	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース(西部)	35 28-22	2/24 3/15,16	3	浜松市福祉交流センター			
	4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	35 23-20	12/8,9	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	・管理職としての役割を遂行するための基本の習得 ・管理者等が自らのキャリアデザインを描く	
	5	ガッテン流！人を惹きつける広報力向上講座	130 70-62	4/19	1	ライブ配信	人を惹きつける広報について学ぶ	
	6	イマドキ世代の育て方研修	90 56-53	5/30	1	ライブ配信	世代間の相互理解を通じて、適切で効果的な指導方法を学ぶ	
	7	ベテラン世代の活かし方研修 ～年上の部下への関わり方を学ぶ～	90 48-46	7/25	1	ライブ配信	ベテラン世代の仕事観を理解しつつ、そこに響くような指導を学ぶ	
	8	人が育つ組織づくり講座 ～主任・管理者のリーダーシップ～	120 118-118	6/6	1	ライブ配信	組織やチームの発展に貢献できるリーダーになるための心構えやスキル、実践ポイントを学ぶ	
	9	セルフリーダーシップのススメ ～自分自身を良い方向に導こう～	90 111-106	11/2	1	ライブ配信	利用者本位サービスを担う実践リーダー像について学ぶ	
	10	人手不足を正しく分析しよう ～何人雇っても足りない理由～	90 27-25	12/7	1	ライブ配信	人材が定着するための環境とチーム作りの方法を学ぶ	
	11	新人育成 ～やめない・育つ・元気に笑う プリセプターシップ～	90 28-26	2/8	1	ライブ配信	人を育てる仕組みと環境づくりについて学ぶ	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
(一社)静岡県社会福祉士会 安藤千晶 氏 (福)誠信会 障害者支援施設富士本学園 課長 小林拓 氏 (福)牧ノ原やまばと学園 特別養護老人ホーム 聖ルカホーム 中邑愛 氏	初任者 (概ね入職後1~2年程度の職員)	テキスト 代等	23 92.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
-			-	-	-	-	-	
(福)炉暖会 特別養護老人ホーム炉暖の郷 相談員兼介護支援員 土屋博昭 氏 (福)誠信会 障害者支援施設富士本学園 課長 小林拓 氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美 氏			25 96.2%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(福)桂 カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏 (福)天竜厚生会 総務課 森川正志 氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美 氏			15 93.8%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(福)牧之原やまばと学園 障害者支援施設 垂穂奈 施設長 大畑彰弘 氏 (福)炉暖会 特別養護老人ホーム炉暖の郷 相談員兼介護支援員 土屋博昭 氏 (福)あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 鶴田安弘 氏	中堅職員 (概ね入職後3~5年程度の職員)	テキスト 代等	23 82.1%	5 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(福)炉暖会 特別養護老人ホーム炉暖の郷 相談員兼介護支援員 土屋博昭 氏 (福)天竜厚生会 総務課 森川正志 氏 (福)あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 鶴田安弘 氏			9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(福)桂 カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏 (福)炉暖会 特別養護老人ホーム炉暖の郷 相談員兼介護支援員 土屋博昭 氏			6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(福)天竜厚生会 総務課 森川正志 氏(1,2日目) 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美 氏(3日目)			23 95.8%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏 (福)牧ノ原やまばと学園 特別養護老人ホーム 聖ルカホーム 中邑愛 氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美 氏	チームリーダー(主任、係長等)	テキスト 代等	24 85.7%	3 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	1	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏 (福)静岡県社会福祉協議会 曾根允 氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美 氏			20 90.9%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(福)桂 カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏 (福)十字の園 伊豆高原十字の園 施設長 宮島克利 氏 (福)あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 鶴田安弘 氏			18 85.7%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏 (福)桂 カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原寛美 氏			18 85.7%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(福)牧之原やまばと学園 障害者支援施設 垂穂奈 施設長 大畑彰弘 氏 (福)桂 カリタス21 管理者・主任介護支援専門員 飯塚哲男 氏	管理者、施設長等	テキスト 代等	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
元ためしてガッテンディレクター 北折一 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	31 67.4%	14 30.4%	1 2.2%	0 0.0%	0	
株式会社インソース 高橋百代 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	32 78.0%	8 19.5%	1 2.4%	0 0.0%	0	
株式会社インソース 出島宏美 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	20 71.4%	8 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0	
日本女子大学 人間社会学部 教授 久田則夫 氏	介護保険施設・事業所に勤務する主任及び管理者向け	5,000 (3,000)	47 81.0%	11 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
日本女子大学 人間社会学部 教授 久田則夫 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	54 85.7%	9 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
元気がでる介護研究所 代表 高口光子 氏	介護保険施設・事業所に勤務する主に中堅クラス以上の方	5,000 (3,000)	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
元気がでる介護研究所 代表 高口光子 氏	介護保険施設・事業所に勤務する主に中堅クラス以上の方	6,000 (4,000)	17 81.0%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
組織力強化	12	研修活用入門講座 ～「研修前後の動機付け」で 受講効果を高めよう～	90 14-10	5/20	1	ライブ配信	研修を活用した人材育成手法を学ぶ
			90 67-84	6/20 ～7/4	-	録画配信	
	13	業務の定着化を図る教え方講座	60 37-37	10/28	1	ライブ配信	理解しやすい業務マニュアル・業務手順書のつくり方、 教え方を学ぶ
	14	コーチング研修	60 75-75	6/10	1	ライブ配信	コーチングに対する意識を深め、部下の自発的意欲を 引き出すための指導法を習得する
	15	ファンリテーション講座 ～話し合いの進め方を学び、 「自分事」の会議にしよう～	60 52-46	5/25	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	会議でチームが本来持っている力を引き出し、大きく育てる 「ファンリテーション」を学ぶ
	16	意思決定支援セミナー	60 32-31	12/16	1	ライブ配信	意思決定支援に関する各種ガイドラインをもとに、 意思決定における権利擁護を学ぶ
	17	働きやすい保育職場づくり	60 32-32	2/7	1	ライブ配信	保育の現場における職場づくりのヒントを学ぶ
組織力を高める	17	市町社協 トップセミナー(会長会議)	50 54-54	3/6	1	音楽館AOI	県内各市町の地域でどのような変化が起きつつあるのか、地 域の「これまで」と「これから」を国勢調査等の統計値から学ぶ また、地域共生社会の実現を目指して各市町が取り組んでいる 包括的支援体制の構築に向けて、来年度重点事業の共有 と課題について協議を行う
	18	社会福祉法人 経営セミナー [前期] (県社会福祉法人経営者協議会)	100 50-41	8/29	1	静岡商工会議所会館 5階ホール	「徹底解説！ 経営基盤を強くする経営協メソッド」
	19	社会福祉法人 経営セミナー [後期] (県社会福祉法人経営者協議会)	100 54-48	3/6	1	静岡商工会議所会館 5階ホール	「コロナにも物価高にも負けない！ 未来に続く法人経営の ヒント」
	20	社会福祉法人 監事監査研修会	- 250-250	4/22 ～5/10	-	録画配信	監事の役割や業務、会計監査のポイントを学ぶ
	21	社会福祉法人 運営管理研修会	- 85-85	3/16	1	ライブ配信	福祉施設における事業継続計画(BCP)の考え方、 策定手順について学ぶ
	22	新設社会福祉法人 運営管理説明会	20 11-11	2/21	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉法人の会計処理及び指導監査、各種運営支援 制度、福利厚生等について情報提供する
	23	社会福祉施設 人事・労務管理研修会	- 142-142	8/22 ～9/30	-	録画配信	社会福祉施設における人事、労務管理の具体的なノウハウを 学ぶ
	24	福祉・介護人材確保実践セミナー① (介護・福祉業界の採用PR・情報発信力 向上セミナー)	100 94-76	10/17	1	ライブ配信	採用に活きる情報発信・PR方法のコツ
			100 42-32	1/17	1	ライブ配信	
	財務・経理	25	社会福祉法人 簿記入門講座	- 74-74	6/18 ～6/30	-	録画配信
26		社会福祉法人・施設事務職員 経理基礎講座	- 97-97	7/14 ～7/31	-	録画配信	帳簿組織と財務諸表、仕分の考え方、勘定科目、 伝票起票に関する基本的知識を学ぶ
27		社会福祉法人・施設事務職員 経理応用講座	- 129-129	8/17 ～9/7	-	録画配信	社会福祉法人の会計制度や施設・事業種別に即した、 日々の応用的な会計処理を、実戦的事例を通じ、 個別具体的に学ぶ

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
(福)静岡県社会福祉協議会 曾根允 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	無料	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
			35 85.4%	6 14.6%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(株)はあもにい 代表取締役 大野晴己 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	15 51.7%	13 44.8%	0 0.0%	0 0.0%	1	研修課
コーチングアカデミー静岡校 校長 酒井美保 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	41 93.2%	3 6.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(特非)日本ファシリテーション協会 フェロー 鈴木まり子 氏	介護保険施設・事業所に勤務する主に中堅クラス以上の方	6,000 (4,000)	44 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	17 85.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
ウメハナチャイルドケアコミュニケーションズ 代表 松原美里 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	21 84.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
人と組織と地球のための国際研究所 代表 川北秀人 氏	(市町社協) 会長・役員・事務局長等	無料	16 57.1%	11 39.3%	1 3.6%	0 0.0%	0	地域福祉課
全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 委員長 宮田裕司 氏	社会福祉法人の役員等	5,000 (無料)	12 37.5%	19 59.4%	0 0.0%	1 3.1%	0	経営支援課
全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 委員長 宮田裕司 氏	社会福祉法人の役員等	5,000 (無料)	13 37.1%	21 60.0%	1 2.9%	0 0.0%	0	
公認会計士 杉山明喜雄 氏 他	社会福祉法人の監事、役員等	10,000 (5,000)	29 11.6%	22 8.8%	1 0.4%	0 0.0%	198	
静岡県BCPコンサルティング協同組合 加藤恒雄 氏 特別養護老人ホーム 有度の里 所長 栗田健三 氏	社会福祉法人の役員	5,000 (3,000)	43 54.4%	36 45.6%	0 0.0%	0 0.0%	0	
公認会計士 杉山明喜雄 氏 他	新設社会福祉法人関係者等	テキスト代等	8 72.7%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1	
社会保険労務士 赤堀久士 氏	社会福祉施設の役員	5,000 (3,000)	64 55.7%	51 44.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
株式会社Blanket 代表取締役 秋本可愛 氏	福祉・介護事業所経営者・管理者・採用担当者等	無料	47 61.8%	10 13.2%	0 0.0%	0 0.0%	19	
			29 90.6%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	1	
公認会計士 杉山明喜雄 氏	新任会計実務担当者等	10,000 (5,000)	19 25.7%	10 13.5%	1 1.4%	0 0.0%	44	経営支援課
公認会計士 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等 (簿記入門修程度)	15,000 (10,000)	22 22.7%	12 12.4%	2 2.1%	0 0.0%	61	
公認会計士 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等 (経理基礎修程度)	15,000 (10,000)	9 7.0%	7 5.4%	1 0.8%	0 0.0%	112	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
組織力を高める 財務・経理	28	社会福祉法人 予算管理講座	- 123-123	9/16 ~9/29	-	録画配信	社会福祉法人の制度上の予算や予算管理に関する知識、 予算積算方法等について学ぶ
	29	社会福祉法人・施設事務職員 会計実務専門講座	- 87-87	10/18 ~10/30	-	録画配信	会計実務に関する特定テーマを必要に応じてとりあげ、 会計実務に必要な専門的知識を深める
	30	社会福祉法人・施設事務職員 税務実務講座(所得税)	- 83-83	11/15 ~11/28	-	録画配信	社会福祉法人の特性に応じた税務に必要な、 実務的な税務知識を学ぶ ※消費税と所得税等を隔年で実施
	31	社会福祉法人 財務管理講座	- 93-93	12/14 ~12/25	-	録画配信	経営状況を把握するための手法等、財務管理の基礎的 知識を学ぶ
	32	社会福祉法人 決算実務講座	- 152-152	2/8 ~2/28	-	録画配信	各種決算整理事項や財務諸表の作成等に必要な知識を学ぶ
	33	市町社協 会計実務研修会	70 134-134	8/5 ~11/30	-	Web配信(限定公開)	社会福祉協議会における会計実務を学ぶ
	34	市町社協 決算実務研修会	70 77-77	2/20 ~6/30	-	Web配信(限定公開)	社会福祉協議会における決算実務処理等を学ぶ
組織力を高める			2,245 2,895-2,793				
専門技術力を身につける 利用者の日常生活支援	35	「動き出しは本人から」の介護実践 (基礎編)	90 74-67	7/22	1	ライブ配信	利用者主体の関りとは何かに係る介護技術の習得
	36	「動き出しは本人から」の介護実践 (実践編)	60 21-18	8/23	1	ライブ配信	生活場面に即した実践的介護技術の習得
	37	口腔のケア講座	60 34-32	2/1	1	ライブ配信	高齢者や障害のある方への口腔のケアに必要な知識・ 技術の習得
	38	褥瘡予防の基本 ~体圧分散管理と ポジショニングを学ぼう~	90 52-51	7/7	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	介護職が実践に活かせるベッド上、坐位でのポジショニング、 適切な除圧方法等を学ぶ
	39	排泄ケアWebセミナー	90 34-32	6/1	1	ライブ配信	介護職に必要な排泄ケアの基礎的知識の習得
	40	快適なおむつの使い方講座	60 15-15	10/25	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	介護現場等におけるおむつ装着に関する知識や技術の習得
	41	車いすメンテナンスセミナー	60 14-10	12/2	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	車いすを利用する方が快適に過ごせるよう、車いすの調整と メンテナンスを学ぶ
	42	フットケア講座 ~足は全身の情報の宝庫~	90 25-22	11/9	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	高齢者への支援方法としてフットケアの知識・技術の習得
	43	高齢者、障害者施設のための感染症講座 (初級編)	90 35-28	4/21	1	ライブ配信	感染症の基礎的知識と標準予防策、発生時の対応の仕方を 学ぶ
			90 71-69	5/16 ~5/30	-	録画配信	
44	高齢者、障害者施設のための感染症講座 (中級編)	90 35-33	9/29	1	ライブ配信	感染症の実践的知識と予防方法の習得、発生時の対応の 仕方を学ぶ	
		90 54-53	10/13 ~10/27	-	録画配信		

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
公認会計士 杉山明喜雄 氏	予算管理担当者等	10,000 (5,000)	15 12.2%	14 11.4%	1 0.8%	0 0.0%	93	経営支援課
公認会計士 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等	10,000 (5,000)	11 12.6%	8 9.2%	0 0.0%	0 0.0%	68	
公認会計士 杉山明喜雄 氏	税務実務担当者等	10,000 (5,000)	18 21.7%	12 14.5%	1 1.2%	0 0.0%	52	
公認会計士 杉山明喜雄 氏	社会福祉法人の役員等	10,000 (5,000)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	93	
公認会計士 杉山明喜雄 氏	会計実務担当者等	15,000 (10,000)	19 12.5%	6 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	127	
公認会計士 杉山明喜雄 氏	(市町社協) 総務・会計担当者	無料	4 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	130	地域福祉課
公認会計士 杉山明喜雄 氏	(市町社協) 総務・会計責任者	無料	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	77	
			987 44.4%	348 15.7%	11 0.5%	1 0.0%	1,079	
日本医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科 教授 大堀具視 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	35 77.8%	10 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
日本医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科 教授 大堀具視 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等で介護技術の基礎的知識がある方	6,000 (4,000)	14 87.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
デンタルサポート 代表 認定歯科衛生士(老年) 小宮山ひろみ 氏 さくらばし歯科医院 認定歯科衛生士 佐藤美紀 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	26 89.7%	3 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
市立島田市民病院 看護部 看護師長 皮膚排泄ケア認定看護師 奈木志津子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	43 86.0%	7 14.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
順天堂大学 保健看護学部 先任准教授 藤尾祐子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	6,000 (4,000)	15 71.4%	6 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0	
花王プロフェッショナル・サービス株式会社 中部支社	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	5,000 (3,000)	8 61.5%	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%	0	
井出商会 代表 井出容敬 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	6,000 (4,000)	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(合)SANUA 湯河原接骨院グループ 代表 青柳博 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	6,000 (4,000)	19 90.5%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	18 81.8%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			32 80.0%	7 17.5%	1 2.5%	0 0.0%	0	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	18 75.0%	6 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容
専門技術力を身につける 利用者の日常生活支援	45	子どもがいる現場のための感染症講座	90 29-27	5/23	1	ライブ配信	児童によく見られる感染症の知識と予防方法、家庭や医療機関との連携等について学ぶ
			90 28-28	6/13 ~6/27	-	録画配信	
	46	子どものための心と体を癒すタッチケア	90 41-40	5/16	1	ライブ配信	子どもとの愛着を育むスキンシップ、発達障害や思春期の子どもとの触れ合いなどの知識を深め、現場での活用方法を学ぶ
	47	現場職員のための薬の基礎知識 (基礎編)	90 53-50	9/6	1	ライブ配信	薬の正しい使い方と保存・副作用と観察力・服薬介助の手順など、これだけは知っておきたい薬の基礎について学ぶ
	48	現場職員のための薬の基礎知識 (応用編)	90 43-40	10/14	1	ライブ配信	病気、症状別の薬についての知識や症状からみる薬の副作用について学ぶ
	49	急変を見逃さないための救急講座	90 24-24	2/20	1	ライブ配信	利用者の容体の変化を見逃さずに対応するために必要な知識の習得
			90 40-39	3/6 ~3/20	-	録画配信	
	50	ターミナルケア ~生き抜く人を見届ける~	90 57-55	10/26	1	ライブ配信	生活の場でのターミナルケアについて、職員が自身の役割を理解し、終末期の対応や、家族へのケア方法を学ぶ
	51	精神疾患の理解	90 67-63	1/27	1	ライブ配信	精神疾患、うつ、統合失調症などの知識を習得するとともに、症状に応じた支援方法の基礎を学ぶ
	52	介護職員が知っておきたい 利用者の身体観察のポイント講座	90 43-41	2/22	1	ライブ配信	高齢者の食事、排泄、入浴などそれぞれの生活場面に 応じた観察ポイントを学ぶ
	53	現場職員が知っておきたい皮膚・褥瘡ケア	90 51-51	10/20	1	ライブ配信	高齢者の皮膚障害の早期発見と褥瘡予防のために、 皮膚観察やケアについて知識と技術を学ぶ
	121	施設利用者主体の支援を考える モンテッソーリ教育講座	90 35-34	7/29	1	ライブ配信	モンテッソーリ教育への理解を通して、施設利用者本位の 支援につながる知識を学ぶ
	122	知的障害や発達障害がある方との コミュニケーション講座	90 23-21	11/8	1	ライブ配信	知的障害や発達障害のある方が抱えるコミュニケーションの 困難について理解を深め、支援者として大切にしたい視点や 関わり方のポイントを学ぶ
			90 53-51	11/22 ~12/6	-	録画配信	
	123	気になる子の「できる」を増やす 発達障害支援講座【学童編】	90 11-10	11/21	1	ライブ配信	発達障害への理解を深めるために、障害特性や支援の ポイントを学ぶ
90 31-29			12/5 ~12/19	-	録画配信		
124	強度行動障害を学ぶセミナー	90 18-17	1/23	1	ライブ配信	強度行動障害への理解を深めるために、障害特性や支援の ポイントについて学ぶ	
		90 32-32	2/6 ~2/20	-	録画配信		
125	気になる子の「できる」を増やす 発達障害支援講座【幼児編】	90 16-14	11/14	1	ライブ配信	発達障害への理解を深めるために、障害特性や支援の ポイントを学ぶ	
		90 27-27	11/28 ~12/12	-	録画配信		

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
静岡済生会総合病院 TQRMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木のぞみ 氏	保育所、児童福祉施設等に 勤務する方	5,000 (3,000)	15 60.0%	10 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			12 85.7%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授 山口創 氏	保育所、児童福祉施設等に 勤務する方	5,000 (3,000)	26 76.5%	8 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
ドレッドノート㈱ 薬剤師・元主任介護支援専門員 藤澤節子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	21 60.0%	13 37.1%	1 2.9%	0 0.0%	0	
ドレッドノート㈱ 薬剤師・元主任介護支援専門員 藤澤節子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	11 39.3%	16 57.1%	1 3.6%	0 0.0%	0	
水戸済生会総合病院 救命センターICU所属 特定看護師 高木優樹 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	16 88.9%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			17 85.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
元気がでる介護研究所 代表 高口光子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	23 85.2%	4 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	
公益財団法人 復康会 沼津中央病院 社会復帰部長補佐 澤野文彦 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	6,000 (4,000)	43 87.8%	6 12.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	
公益財団法人 静岡県看護協会 訪問看護ステーションいわた所長 訪問看護認定看護師 長瀬由美 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	23 88.5%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
市立島田市民病院 看護部 看護師長 皮膚排泄ケア認定看護師 奈木志津子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所 等に勤務する方	5,000 (3,000)	26 74.3%	9 25.7%	0 0.0%	0 0.0%	0	
松浦学園モンテッソーリこどもの家 園長 松浦公紀 氏	社会福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	17 65.4%	9 34.6%	0 0.0%	0 0.0%	0	
香川大学 教育学部 特別支援教育領域 教授 坂井聡 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	10 66.7%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			13 54.2%	10 41.7%	1 4.2%	0 0.0%	0	
静岡済生会総合病院 静岡済生会療育センター令和 療育小児科 医師 前田獅子 氏	社会福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			6 60.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 総務企画局研究部 高橋理恵 氏 施設事業局生活支援部 中曽根隆 氏	社会福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	12 70.6%	5 29.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			18 85.7%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
静岡済生会総合病院 静岡済生会療育センター令和 療育小児科 医師 前田獅子 氏	社会福祉施設等に勤務する方	5,000 (3,000)	11 84.6%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			15 93.8%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	

研修課

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
利用者 の 日 常 生 活 支 援	54	成年後見制度 市町長申立研修	500 482-482	6/7,22	2	ライブ配信/録画配信	成年後見制度 市町長申立に係る実務を学ぶ
	55	福祉職員のための 成年後見制度理解促進研修会(基礎編)	150 -	1/6	1	ライブ配信/録画配信	成年後見制度の基礎知識を学ぶ
			150 -	1/24	1		
	56	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー	90 66-63	6/8	1	ライブ配信	認知症ケアの基本的考え方を整理し、問題のあるケアとは何か、チームで取り組むプロの認知症ケアとは何かを学ぶ
	57	認知症の人とのコミュニケーションと レク作りのポイント講座	90 73-72	11/22	1	ライブ配信	レクリエーションの役割と可能性を理解し、効果的で楽しいレクの作り方と、介護者も利用者も笑顔になるコミュニケーション術を学ぶ
	58	三好春樹の人間学に基づく認知症介護講座	30 8-7	3/1	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	認知症の方の行動や心理症状を理解し、利用者へのより良い関わり方について考える
			90 18-18	3/1	1	ライブ配信	
	59	直伝！現役OT安藤祐介の 利用者心地よく介護者に優しい介護技術	90 46-43	6/24	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	お金や時間や人手をかけずに、現場ですぐに取り組める利用者への心地よい「関わり方」「動きの手伝い方」の工夫を学ぶ
	61	認知症介護実践者研修(浜松)	60 82-60	6/3,17,30 7/7,27 9/9	6	(福)天竜厚生会研修センター	認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族のQOL向上を図る対応や技術を修得(全6日+実習)
		認知症介護実践者研修(掛川)	60 41-56	8/3,19,26 9/2,15 10/28	6	掛川市生涯学習センター 県総合教育センターあすなろ	
		認知症介護実践者研修(静岡)	60 116-60	6/29 7/13,20,26 8/9 9/27	6	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		認知症介護実践者研修(富士)	60 50-51	8/2,17,25 9/1,14 10/26	6	ふじさんめつせ	
		認知症介護実践者研修(三島)	60 76-60	6/2,16,22 7/4,19 9/7	6	三島商工会議所	
	62	認知症介護実践リーダー研修	40 42-41	11/11,24,25 12/6,7,20,21 1/12,13 2/28	10	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識・技術・態度を指導する能力及びチームリーダーとしてのチームマネジメント能力を修得(全10日+実習)
	63	認知症対応型サービス事業管理者研修(西部)	60 33-32	2/16,17	2	浜松市福祉交流センター	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)
		認知症対応型サービス事業管理者研修(中部)	60 51-47	3/2,3	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		認知症対応型サービス事業管理者研修(東部)	60 39-37	3/7,8	2	三島商工会議所	
	64	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修(中部)	35 36-36	1/24,25	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)
		小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修(西部)	35 13-13	2/2,3	2	浜松市福祉交流センター	
	65	認知症対応型サービス事業開設者研修	45 21-21	10/18	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)

専門技術力を身につける
認知症ケア

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏	市町行政担当職員、地域包括支援センター職員、市町社協職員	無料	81 59.1%	55 40.1%	1 0.7%	0 0.0%	0	権利擁護課
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方、市町行政担当職員、市町社協職員	無料	95 73.6%	33 25.6%	1 0.8%	0 0.0%	0	
司法書士法人カラー 司法書士 山竹葉子 氏								
元気がでる介護研究所 代表 高口光子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	39 92.9%	3 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
医療法人中村会 老健あさひな 認知症介護レクリエーション実践研究会 尾渡順子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	38 71.7%	15 28.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
生活とリハビリ研究所 代表 三好春樹 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			7 63.6%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
介護老人保健施設 ケアセンターゆうゆう 認知症フロア専属作業療法士 安藤祐介 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	35 87.5%	4 10.0%	1 2.5%	0 0.0%	0	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者	高齢者介護の実務経験が概ね2年以上の方	43,000	42 76.4%	6 10.9%	3 5.5%	0 0.0%	4	
			41 75.9%	11 20.4%	0 0.0%	0 0.0%	2	
			42 87.5%	6 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			46 88.5%	2 3.8%	0 0.0%	1 1.9%	3	
			53 91.4%	3 5.2%	0 0.0%	0 0.0%	2	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者	高齢者介護の実務経験が概ね5年以上で、認知症介護実践者研修修了後1年経過している者	80,000	27 69.2%	10 25.6%	0 0.0%	1 2.6%	1	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者 他	認知症対応型通所介護事業所・(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の管理者	4,500	26 86.7%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
			39 81.3%	9 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			29 76.3%	8 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	1	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者 他	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者であって認知症介護実践研修修了者	6,000	30 85.7%	4 11.4%	0 0.0%	0 0.0%	1	
			9 64.3%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	1	
静岡県認知症介護指導者の会 指導者 他	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の代表者	5,000	18 85.7%	3 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容	
リスク管理	66	福祉サービス苦情解決研修会	- 91-87	11/11 11/29 12/14	3	・静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル) ・沼津市商工会議所 ・浜松アクトコンgresセンター	福祉サービスを提供する施設等における利用者からの苦情対応及び解決能力の向上にむけたスキルを身に着けるとともに、日頃からの苦情の未然防止に向けた取組を学ぶ	
	67	介護記録の書き方・活かし方講座	90 46-46	12/19	1	ライブ配信	介護職に必要な介護記録の書き方・活かし方の基礎的知識の習得	
	68	高齢者施設のリスクマネジメント講座	90 29-25	2/13	1	ライブ配信	高齢者施設・事業所の危機管理・安全管理に必要な基礎的知識・技術の習得	
	69	災害時のリスクマネジメント講座	90 30-28	2/27	1	ライブ配信	高齢者施設・事業所の危機管理・安全管理に必要な基礎的知識・技術の習得	
	70	子どもがいる現場のリスクマネジメント講座	90 34-32	1/28	1	ライブ配信	子どもがいる現場での危機管理・安全管理に必要な知識・技術の習得	
	71	高齢者の転倒予防講座	70 57-52	9/13	1	ライブ配信	高齢者の転倒予防について、必要な知識・技能の習得	
	72	高齢者虐待の予防と対応	60 34-34	12/12	1	ライブ配信	虐待防止への取り組みと発生時の対応方法等、管理者等に必要知識を習得する	
			60 67-65	1/13~1/27	-	録画配信		
	73	身体拘束は廃止できます ～私たちは縛りたくない～	90 81-75	8/10	1	ライブ配信	身体拘束について理解を深め、責任の所在やチームケアのあり方を学ぶ	
	職種別研修	74	全体研修会 (県ホームヘルパー連絡協議会)	- 30-30	10/26~ 11/13	-	録画配信	自立に向けた訪問介護計画書の作成
		75	ホームヘルパー一般研修① (県ホームヘルパー連絡協議会)	-	7/1~7/18	-	録画配信	コロナ禍での訪問介護事業 ①コロナ禍での流山市の歩み ②感染対策、事前の備え、スタッフ感染時の人員調整 ③流山市相互応援システム
				-	9/26~ 10/16	-	録画配信	在宅介護の口腔ケア ～お口は命の入口・心の出口～
				35 8-8	12/6	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	難病患者や重度の障がいのある方とのコミュニケーション
				-	12/9~ 12/27	-	録画配信	ホームヘルパーのためのメンタルヘルス
76		サービス提供責任者研修① (県ホームヘルパー連絡協議会)	-	7/15~7/31	-	録画配信	事業継続計画(BCP)策定 フォローアップ研修	
			-	8/15~8/31	-	録画配信	令和3年度介護報酬改定事項のポイント及び運営上の留意点 (運営指導対策)	
77		肢体不自由児療育指導者講習①-1 (県肢体不自由児協会)	30 -	中止	-	-	肢体不自由児の総論(入門講座)について学ぶ	
	30 -		中止	-	-	訓練の基本(実技を含む)について学ぶ		
78	肢体不自由児療育指導者講習②-1 (県肢体不自由児協会)	30 -	中止	-	-	脳性麻痺の概論について学ぶ		
		30 -	中止	-	-	脳性麻痺の訓練入門(実技を含む)について学ぶ		

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
ツクイスタッフ講師 アンガーマネジメントファシリテーター 喜山志津香 氏	苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員等	6,000 (4,000)	60 69.0%	23 26.4%	1 1.1%	0 0.0%	3	運営適正化 委員会
健康科学大学 健康科学部 准教授 梅沢佳裕 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	20 76.9%	6 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
株式会社 安全な介護 代表取締役 山田滋 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	8 66.7%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
株式会社 安全な介護 代表取締役 山田滋 氏	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	6,000 (4,000)	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
社会福祉法人八越会 ちどり保育園 副園長 吉岡敦志 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	22 84.6%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
静岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法科 主任 田中幸平 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	23 60.5%	15 39.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(一社)権利擁護支援プロジェクトもす 社会福祉士・主任介護専門員 小川久美子 氏	高齢者福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	17 77.3%	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			20 55.6%	16 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口光子 氏	介護保険施設・事業所に勤務する方	6,000 (4,000)	32 76.2%	8 19.0%	1 2.4%	0 0.0%	1	
全国ホームヘルパー協議会 副会長, 石川県ホームヘルパー協議会 会長 鍋谷晴子 氏	ヘルパー協会員	5,000 (2,000)	14 87.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	経営支援課
①訪問介護事業所 ハートケア流山 管理者 雨澤慎悟 氏 ②流山市社会福祉協議会 訪問介護事業所管理者 森明子 氏 ③流山市社会福祉協議会 事務局長, 前流山市健康福祉部長 早川仁 氏	ヘルパー協会員	5,000 (2,000)	26 60.5%	17 39.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会 歯科衛生士 矢部高子 氏 歯科衛生士 西藤美穂 氏			14 93.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0	
特定非営利活動法人 ICT救助隊 理事長 今井啓二 氏 理事 仁科恵美子 氏 吉野内科・神経内科医院 言語聴覚士 山本直史 氏			8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
横浜市立大学 医学部看護学科 講師 田辺有理子 氏			15 78.9%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
びわこ学院大学 教育福祉学部 教授 株式会社福祉リスクマネジメント研究所 所長 一般財団法人鳥野財団 代表理事 鳥野猛 氏	ヘルパー協会員 (主にサービス提供責任者)	5,000 (2,000)	13 68.4%	6 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0	
株式会社ケアファクトリー 代表取締役 一般社団法人日本介護支援専門員協会 常任理事 茨城県訪問介護協議会 会長 能本守康 氏			14 77.8%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	
-	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-	
-			-	-	-	-	-	
-	肢体不自由児の療育に携わる特別支援学校・社会福祉施設職員等	4,500	-	-	-	-	-	
-			-	-	-	-	-	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
専門技術力を身につける 職種別研修	79	肢体不自由児療育指導者講習③-1 (県肢体不自由児協会)	30 -	中止	-	-	脳性麻痺の各論について学ぶ
		肢体不自由児療育指導者講習③-2 (県肢体不自由児協会)	30 -	中止	-	-	脳性麻痺の訓練(実技を含む)
	80	肢体不自由児療育指導者講習④-1 (県肢体不自由児協会)	30 -	中止	-	-	成人脳性麻痺について学ぶ
		肢体不自由児療育指導者講習④-2 (県肢体不自由児協会)	30 -	中止	-	-	成人脳性麻痺者のリハビリテーションについて学ぶ
	81	看護職員研修 ～施設看護師に求められる役割とは～	70 28-26	12/9	1	ライブ配信	社会福祉施設等に勤務する看護職員に必要な知識・技術の習得
			70 55-55	1/10～1/24	-	録画配信	
	82	相談員のための支援力アップ講座	60 52-51	8/26	1	ライブ配信	生活相談員の役割と業務について正しい理解と更なる支援力アップのための知識、技術の習得
	83	相談員のための支援力アップ講座 (実践編)	90 22-22	2/10	1	ライブ配信	利用者・家族との連携におけるトラブル解決力アップのポイントを学ぶ
	84	日常生活自立支援事業 新任専門員研修会	50 -	中止 (システム 説明会に 変更)	-	-	専門員としての心構え、基礎的知識を習得する
	85	日常生活自立支援事業 専門員研修会	100 49-49	3/1	1	ライブ配信/録画配信	専門員としての知識、相談援助技法の向上を図る テーマ「知的障害や精神障害のある利用者の日常的な 金銭管理について」
	86	日常生活自立支援事業 新任生活支援員研修会	80 76-76	1/23	-	DVD配布	日常生活自立支援事業の業務について学ぶ テーマ「利用者理解と支援方法 先輩生活支援員の 生きた声をきこう～支援のコツとは?～」
	87	日常生活自立支援事業 現任生活支援員研修会	300 272-272	2/1	1	ライブ配信/DVD配布	日常生活自立支援事業における相談援助技法について学ぶ テーマ「精神障害の利用者に対する日常生活自立支援事業 ～生活支援員としての支援方法とは?～」
	88	生活困窮者自立支援事業 従事者養成研修	50 -	4/22.5/19 7/15.9/16 1/20.2/3	6	ライブ配信	生活困窮者自立支援法の理念、業務理解を深める (ケース検討、グループワーク等)
	90	コミュニティワーク研修会	30 19-19	12/16	1	オンライン	「住民主体」の根底となる、住民間の合意形成や地域課題を 明確にすること等、コミュニティワークについての理解を 深める
			30 36-33	2/14	1	もくせい会館	
			30 25-25	2/20	1	オンライン	
	91	ボランティア関係者研修	30 20-20	2/27	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	県内のボランティア活動に取り組む団体や学生ボランティア 等に向けて、必要な知識と技術の習得を図るとともに、 ボランティア活動団体のつながりの強化を目指す
	92	生活支援コーディネーター養成研修	60 153-153	7/12	1	オンライン	地域支援事業における生活支援体制整備事業の生活支援 コーディネーターに必要な知識と技術の習得を図る
	93	生活支援コーディネータースキルアップ研修	60 158-158	12/5	1	オンライン	生活支援コーディネーターのスキルアップを図るために必要な 知識と技術の習得を図る
	94	市町社協 監事研修	50 143-143	4/11～6/17	-	Web配信(限定公開)	監事の役割と必要な知識について学ぶ

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
-	肢体不自由児の療育に携わる 特別支援学校・社会福祉施設職員 等	4,500	-	-	-	-	-	経営 支援課
-			-	-	-	-	-	
-	肢体不自由児の療育に携わる 特別支援学校・社会福祉施設職員 等	4,500	-	-	-	-	-	
-			-	-	-	-	-	
日本赤十字社 静岡赤十字病院 クリティカルケア特定認定看護師 池田朋美 氏	社会福祉施設等に勤務する 看護職員	6,000 (4,000)	18 78.3%	5 21.7%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
健康科学大学 健康科学部 准教授 梅沢佳裕 氏	社会福祉施設・介護保険事業所に 勤務する方(相談員)	5,000 (3,000)	19 59.4%	12 37.5%	1 3.1%	0 0.0%	0	
健康科学大学 健康科学部 准教授 梅沢佳裕 氏	社会福祉施設・介護保険事業所に 勤務する方(相談員)	5,000 (3,000)	15 88.2%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	
-	市町村協専門員	無料	-	-	-	-	-	権利擁護課
東京家政学院大学 現代生活学部 現代家政学科 准教授 一般社団法人消費生活総合サポートセンター(Cサポ) 会長 小野由美子氏	市町村協専門員	無料	-	-	-	-	-	
県社協職員 下田市社会福祉協議会専門員, 生活支援員	市町村協新任生活支援員	無料	-	-	-	-	-	
一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 中村倫也 氏	市町村協現任生活支援員	無料	55 61.8%	31 34.8%	3 3.4%	0 0.0%	0	
(一社)静岡市清水医師会 在宅医療介護相談室長 安藤千晶 氏	自立相談支援員、 市町行政担当職員	無料	71 51.4%	59 42.8%	5 3.6%	1 0.7%	2	
駒澤大学文学部社会学科 教授 川上富雄 氏	市町村協職員、市町行政職員、 生活支援コーディネーター	無料	13 68.4%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	5	
兵庫県社会福祉協議会 高橋俊行 氏			19 57.6%	6 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	8	
株式会社わたしたち 中野あゆみ 氏			6 24.0%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	14	
オフィス園崎 代表 園崎秀治 氏	県内のボランティア活動に取り組む 団体や学生ボランティア等	無料	18 90.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2	地域福祉課
公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業 担当リーダー 澤美杉 氏	第1層及び第2層を活動対象とする 生活支援コーディネーターと その候補者	無料	41 61.2%	25 37.3%	1 1.5%	0 0.0%	0	
一般社団法人 コミュニティネットハピネス 代表理事 土屋幸己 氏 NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 田所英賢 氏 公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業 担当リーダー 澤美杉 氏	第1層及び第2層を活動対象とする 生活支援コーディネーターと その候補者	無料	89 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
公認会計士 杉山明喜雄 氏	市町村協監事	無料	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	143	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容	
専門技術力を身につける	職種別研修	95	市町社協 新任事務局長研修	10 6-6	4/21	1	オンライン	社協組織の特性、基本理念、法的な位置付け(設立経過)等について学ぶ
		96	社協災害対応研修会	50 44-44	5/30	1	もくせい会館	社協における災害対応力の向上を図る
		97	CSW実践者養成研修 <地域福祉コーディネーター>	30 29-29	前期 7/15~16 後期 2/17~18	4	前期: オンライン 後期: 静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	具体的な事例を通して、コミュニティソーシャルワーク技法を講義と演習形式により習得する
		98	CSW実践者スキルアップ研修	50 25-25	8/17	1	オンライン	コミュニティソーシャルワーカーの実践に必要な理論・アプローチをテーマ別に学ぶ
専門技術力を身につける			6,800 4,390-4,202					
人間力(社会・対人関係力)を高める	99	福祉職が知っておきたいコンプライアンス講座	60 56-56	5/27	1	ライブ配信	福祉サービス事業者が最低限備えておくべき、コンプライアンスと職業倫理の基礎的知識の習得	
	100	接遇・マナー・コミュニケーション講座 (第1回)	60 55-54	5/12	1	ライブ配信	接遇の心理学、ビジネスマナー、利用者・家族・スタッフ同士の連携を取るコミュニケーション、自分自身のこころのケアについて学ぶ	
		接遇・マナー・コミュニケーション講座 (第2回)	60 51-48	5/24	1	ライブ配信		
	101	アンガーマネジメントを学ぶ講座	60 37-33	2/14	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	介護の現場等で怒りの感情を上手にコントロールしながら相手と接するためのスキルを学ぶ	
	102	スーパービジョン講座	60 27-24	12/23	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	福祉専門職を養成するためのスーパービジョンを学ぶ	
	103	利用者家族とのより良い関係づくり講座	60 31-27	2/21	1	ライブ配信	入居者家族が抱える想いを理解し、より良い関係づくりのためのポイントやアプローチ方法を学ぶ	
	104	共感を得る「ことば」講座	60 87-84	10/7	1	ライブ配信	DJボリスも学んだスピーチロックとは！？「相手を制限する言葉」から「相手を受け入れる言葉」を旨とし、「言葉選び」の重要性を考える	
	105	福祉職のためのストレスマネジメント講座	60 32-32	3/6	1	ライブ配信	介護職・福祉職が抱えがちなストレスについて認識し、ストレスを上手にコントロールする方法を学び、心身共に安定した状態になることで、サービスの質の向上を図る	
	106	管理者・管理職のためのメンタルヘルズ講座	60 35-33	7/2	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	メンタルヘルズ不調を防止し、職員が生き生きと働ける活気ある職場づくりのための手法や管理者・管理職に求められる役割について学ぶ	
107	ガッテン流！「人を動かす」伝え方の極意	90 56-53	1/18	1	ライブ配信	「つい行動したくなる」で話題の「仕掛学」とは！人を動かす「仕掛け」のアイデアづくりの考え方を事例を通して学び、課題解決につなげられるようになることを目指す		
人間力(社会・対人関係力)を高める			630 467-444					
地域福祉を支える力	108	静岡DWAT登録員養成研修	50 27-27	1/24	2	1日目: ZOOM研修	静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)として活動するための基礎知識を学ぶ	
			50 27-27	2/15		2日目: 札の辻クロスホール		

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
静岡県社会福祉協議会職員	市町村協新任事務局長	無料	-	-	-	-	-	地域福祉課
NPO法人災害救援レスキューアシスト 代表 中島武志 氏	市町村協職員	無料	14 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30	
日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男 氏 他	地域福祉関係職員、地域包括支援センター関係職員	15,000	14 58.3%	6 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4	
日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男 氏	CSW養成研修修了者	無料	14 58.3%	5 20.8%	0 0.0%	0 0.0%	5	
			2,058 73.4%	635 22.6%	23 0.8%	3 0.1%	233	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	23 76.7%	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
コミュニケーションハウス 代表 坂倉裕子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	44 88.0%	5 10.0%	1 2.0%	0 0.0%	0	
			31 86.1%	5 13.9%	0 0.0%	0 0.0%	0	
横浜国立大学 医学部 看護学科 講師 田辺有理子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する中堅職員以上の方	6,000 (4,000)	21 67.7%	9 29.0%	1 3.2%	0 0.0%	0	
静岡県立大学 短期大学部 社会福祉学科 准教授 鈴木俊文 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	14 70.0%	6 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 准教授 井上修一 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	10 52.6%	9 47.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(株)はあもにい 代表取締役 大野晴己 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	39 69.6%	14 25.0%	3 5.4%	0 0.0%	0	
産業カウンセラー 横山美弥子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	17 77.3%	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%	0	
横浜国立大学 医学部看護学科 講師 田辺有理子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する中堅職員以上の方	6,000 (4,000)	24 82.8%	5 17.2%	0 0.0%	0 0.0%	0	
元ためしてガッテン！ディレクター 北折一 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	22 75.9%	3 10.3%	4 13.8%	0 0.0%	0	
			245 76.1%	68 21.1%	9 2.8%	0 0.0%	0	
富士市防災機器管理課 太田智久 氏 静岡県立大学短期大学部 鈴木俊文 氏 伊東市高齢福祉課中央地域包括支援センター 保健師 麻生みよ子 氏 主任保健師兼主任心理士 櫻田理恵子 氏	静岡DWAT登録員支援協力申出書を提出している法人・施設の所属職員	無料	18 90.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	0	経営支援課

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日数	会場	内容
地域福祉を支える力を身につける	109	静岡DWAT登録員スキルアップ研修(東部)	50 25-25	11/1	1	ブラサヴェルデ	静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)として活動するために必要な知識やスキルを学ぶ
		静岡DWAT登録員スキルアップ研修(中部,西部)	50 14-14	11/2	1	レイアップ御幸町ビル	
	110	静岡DWAT登録員エリア別情報交換会(東部)	30 31-31	6/20	1	社会福祉法人蒼樹会さつき園	静岡DWAT登録員どうしの顔の見える関係づくりを進めるとともに、平時の取組の活性化を図る
		静岡DWAT登録員エリア別情報交換会(中部)	30 16-16	6/14	1	社会福祉法人三愛会愛華の郷	
		静岡DWAT登録員エリア別情報交換会(西部)	30 21-21	6/16	1	社会福祉法人七恵会浜松中央長上苑	
	111	福祉・介護の職場体験	1,000 979-558	4月~2月	-	県内	福祉・介護現場での体験機会を提供し、福祉・介護の仕事の「魅力」や「やりがい」の理解を図る
	112	介護のシゴト復職応援セミナー	各20~30 774-774	4月~3月	30	県内 30か所	・介護に関する基本的な知識や技術の再確認及び、最新の知識及び技術を習得する ・介護現場の現状 など
	113	保育士さん就職応援セミナー(中部1)	100 49-40	7/17	1	グランシップ	「気になる子への対応について」
		保育士さん就職応援セミナー(東部)	90 84-73	1/15	1	ブラサヴェルデ	“「自分」と「子ども」の未来をつくる、保育士の働きかた”
		保育士さん就職応援セミナー(中部2)	90 60-52	1/21	1	グランシップ	
		保育士さん就職応援セミナー(西部)	70 44-33	1/28	1	アクトシティ浜松	
		保育士さん就職応援セミナー(オンライン・東部)	- 64-60	10/27	1	オンライン	『就活の軸』を持とう！自分に合った園選び
		保育士さん就職応援セミナー(オンライン・静岡市)	- 31-30	10/31	1		
		保育士さん就職応援セミナー(オンライン・中西部※静岡市以外)	- 26-25	11/11	1		
	114	フォローアップセミナー(入職3年目までの職員対象)	- 91-76	11/17 11/24 12/15	3	・ブラサヴェルデ ・静岡県総合社会福祉会館(シズウエル) ・サラーシティ浜松	仕事のやりがいや魅力を再確認すると共に、事業所を越えた仲間づくりを支援し、職場への定着を図る
	115	外国人介護職員研修交流会	各30 75-72	9/1,2,7,8,14, 29,30AM, 30PM	8	県内(3か所)／ライブ配信	介護の仕事や将来に対する思いや悩みの共有
			各30 64-60	2/2,6,13,14, 20,22AM, 22PM,27	8	県内(3か所)／ライブ配信	「将来設計の第一歩 first step of career design)」 ～介護の資格をとるには 在留資格の仕組みは
	116	法定地区民児協会長研修会(県民生委員児童委員協議会)	168 143-141	9/28	1	ホテルアソシア静岡	単位民児協会長の基本的資質の向上、並びに民児協リーダーとしての自覚と地域福祉の充実を図る 本年度は、地域の防災活動に活かすため、洪水・土砂災害について学ぶ
	117	主任児童委員研修会(県民生委員児童委員協議会)	各40 113-113	1/25,26	2	オンライン	主任児童委員の役割について協議し、地域における児童委員活動の推進を図る
	118	民生委員・児童委員のための相談技法に関する研修会(県民生委員児童委員協議会)	各40程度 71-66	8/9,10	2	中部,西部:掛川グランドホテル 東部:ブラサヴェルデ	民生委員活動の基本となる相談面接スキル等の習得を図る

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
(特非)日本ファシリテーション協会 鈴木まり子 氏	静岡DWAT登録員	無料	21 91.3%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0	経営支援課
			13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
熱海派遣活動リレー報告 登録員各6名 平時の活動報告 登録員各1名	静岡DWAT登録員	無料	上段: 9 52.9%	リレー 報告 7 41.2%	下段: 1 5.9%	意見 交換 0 0.0%	0	経営支援課
			11 64.7%	4 23.5%	2 11.8%	0 0.0%	0	
	福祉職に関心のある方、 福祉職場に就労を希望する方	無料	-	-	-	-	-	人材課
社会福祉法人八生会 特別養護老人ホーム豊田一空園 松岡福代 氏 他	介護施設等の離職者で 介護職に復帰を希望する方	無料	537 69.4%	166 21.4%	15 1.9%	3 0.4%	53	
小児発達学博士、臨床心理士、公認心理師、 浜松市発達相談支援センタールピロ 所長 内山敏 氏	保育所等への就業を 希望している方	無料	34 89.5%	4 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	人材課
元RAGFAIR ボイスパーカッションist、気象予報士、防災士、保育士、幼稚園教諭 おくむら政佳 氏			54 74.0%	16 21.9%	0 0.0%	0 0.0%	3	
			33 94.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2	
			29 87.9%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	2	
合同会社キョウイクデザイン 教育アドバイザー 増田実菜 氏			27 46.6%	26 44.8%	5 8.6%	0 0.0%	0	
			8 44.4%	9 50.0%	1 5.6%	0 0.0%	0	
			17 89.5%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
植草学園大学 副学長 野澤和弘 氏	令和2年・令和3年及び 令和4年開催の合同入職式参加者	無料	48 63.2%	25 32.9%	2 2.6%	0 0.0%	1	地域福祉課
静岡大学国際連携推進機構 特任准教授 比留間洋一 氏 静岡県立大学経営情報学部 講師 天野ゆかり 氏 (福)秀生会 佐野光司 氏 聖隷クリストファー大学社会福祉学部 教授 野田由佳里 氏 静岡県立大学国際関係学部 教授 高畑幸 氏	県内の外国人介護職員、留学生	無料	32 44.4%	29 40.3%	0 0.0%	0 0.0%	11	
			29 48.3%	15 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	16	
静岡大学防災総合センター 教授 牛山素行 氏	県民児協会員 (法定地区民児協会長)	無料	93 67.4%	32 23.2%	9 6.5%	0 0.0%	4	地域福祉課
KT福祉研究所 代表 松藤和生 氏	県民児協会員(主任児童委員)	無料	51 52.6%	22 22.7%	22 22.7%	0 0.0%	2	
駒澤大学 文学部 社会学科 教授 川上富雄 氏	県民児協会員	無料	38 60.3%	20 31.7%	5 7.9%	0 0.0%	0	

分野	番号	研修名	定員 申込-受講	実施日	日 数	会場	内容
地域福祉を身につける力	119	地域福祉教育推進セミナー	50 64-64	2/10	1	オンライン	実践事例から福祉教育の実践方法や福祉教育の在り方を学ぶ
	120	包括的相談支援体制構築事業 人材養成研修	35 70-70	前期 8/1~20 後期 10/5,11/8, 12/7,1/20	-	ライブ配信 等	包括的支援体制やその意義を学び、実践を踏まえた事例検討を行う
地域福祉を支える力を身につける			1,893 2,963-2,468				
合計			11,568 10,715-9,907				

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
静岡福祉大学 学長 増田樹郎 氏 長泉スポーツクラブ 代表 松永智教 氏 裾野市立南小学校 スクールコーディネーター 三ツ石純子 氏	学校教諭、教育委員会職員、 地区社協役員・関係者、 社会福祉施設職員、社協職員	無料	43 67.2%	6 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	15	地域福祉課
一般社団法人 コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋幸己 氏 他	市町行政担当、社協職員等	無料	15 68.2%	7 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	0	権利擁護課
			1,160 67.1%	395 22.8%	63 3.6%	3 0.2%	109	
			4,450 62.8%	1,446 20.4%	106 1.5%	7 0.1%	1,421	

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670

静岡市葵区駿府町 1-70

TEL 054-254-5248 FAX 054-251-7508

令和5年6月